

# 静岡県立こども病院本館リニューアル工事

■ 給排水衛生設備工事



2019 年 3月

株式会社 日立建設設計






## INDEX

[illegible]

計 72 枚

# 静岡県立こども病院本館リニューアル工事 (給排水衛生設備工事)

<b>株式会社 日立建設設計</b> <small>Copyright Hitachi Architects &amp; Engineers Co., Ltd. All rights reserved.</small>	製図日 2001.09.01 改訂日 2017.04.01 文書番号 F02-004-1704	REVISION  :	竣工図 (責任者)	APPD.  CHKD.  DWN. 	DATE 2019.03.29 SCALE N.S. N.S.	JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事 TITLE 表紙・図面リスト	Dwg.NO. M-01
	作製日付 年 月 日 作製者 印						



章	項	目	特記事項	■14) 検査	本工事の施工にあたって、監理者の検査を受け、承諾を得なければならない項目は下記のものとする。 ■指示された材料、製品および機器の検査 ■指示された工程完了時点での中間検査 ■竣工検査		□一般の施設におけるKS 設置場所 地階及び1階 中間階 上層階、屋上及び塔屋 重要機器 0.6 / 1.0 / 1.0 1.0 / 1.5 / 1.0 1.5 / 2.0 / 1.5 重要以外 0.4 / 0.6 / 0.6 0.6 / 1.0 / 0.6 1.0 / 1.5 / 1.0 ※特定・一般の判別に關しては、（建築大臣官庁官庁営繕部監修 官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説）にて確認する。 4) 重要機器は次のものを示す ■給水装置 ■排水装置 ■換気機器 ■空調機器 ■熱源機器（火を使用するもの） ■防災設備 ■危険物貯蔵装置 □火を使用する設備 □避難経路上に設置する機器 □ 5) 各種吊金物 ■鋼材に固定する金物は、挟み込形状のものとし、振動により脱落しない構造とする。 ■振止め材は固定状況により適正な位置に設けること。 ■振止め金具はボルト固定タイプとし、繰り返しの振動に対し、必要十分な耐力を持つこと。 6) 東日本大震災による耐震対策報告書（一般社団法人建築設備技術者協会）の以下によること。 ■標準的対策 □機能的対策	■5. 病院改修の留意点	■1) 騒音・振動対策 医療を行っている箇所に隣接している工事範囲では十分な騒音対応を行う。 ■工事範囲全域・（ ） ■騒音発生工事は土日工事とする。 ■工事範囲では不要な音を立てない。特に下階への振動発生に留意する。 ■金属の切断などは改修工事範囲で行わない。外部の指定された場所で行う。 ■解体時などに床に解体材を投げない。すべて手渡しとする。 ■7カ-等の施工は事前に設備と調整し施工計画を作成する。その後病院の了承を得、施工する。 ■7カ-はすべて7インチ700無振動工法とする。 ■2) 臭気対策 騒音と同じく十分な臭気対策を行う。 ■現場塗装は原則行わない。 ■木G工は原則工場塗装とする。 ■3) 工事中の環境汚染管理 粉塵の拡散防止を考慮した工事中の環境汚染管理を行う。 1) 工事区域外への塵あいの侵入の防止、2) 患者区域への塵あい拡散の防止、3) 工事エリア内の空気管理を主要な項目とする。 1 防護壁の設置 ■適合範囲：工事範囲全域 工事区域から患者ケア区域への塵あいの進入を防止するため防護壁を設ける。（詳細図参照） 床～天井面： ・LGS65下地石膏ボード二重貼り（片面） ・LGS下地は床・天井面に両面テープ貼り ・床・壁・天井との取り付け部はテープ貼り（塵あい拡散防止） ・工事に用いる二重貼り ・床・壁・天井との取り付け部はテープ貼り（塵あい拡散防止） ・原則設けない。設ける場合は鋼製W800x H2,000程度。 2 工事区域内の空気管理 ■適合範囲：工事範囲全域 a. 工事区域内は常に陰圧を保つ。工事区域内の窓は原則密閉とし、工事区域内の排気ダクトを患者ケア区域から離れた場所で開放する。 b. ダクト開放場所を決定するために患者ケア区域の空気取り入れ口が近辺にないか確認する。 c. 工事区域内のダクト解放口には必要に応じHEPAフィルタ－を設置する。 d. 工事区域内に外部から入室する場合、患者ケア区域の窓が開放され塵あいが流入しないようにする。 ■4) 工事中の作業時間 7月中旬～8月末（夏休み期間中）は、外来患者数が増加するため、原則平日昼間の作業を禁止する。
■2. 給排水衛生設備概要	■1) 給水設備 ■2) 給湯設備 ■3) 排水設備 ■4) ガス設備 ■5) 消火設備 □6) 浄化槽設備 □7) 厨房設備 ■8) その他	( ■ 印の付いたものを適用する) (概要を示すもので仕様を特定するものではない) 飲料水 ( ■ 市水 □ 井水 ) 雑用水 ( ■ 市水 □ 井水 □ 中水 □ 雨水 □ 工事用水 ) □水道直結式 □高置タンク式 □圧力タンク式 □ポンプ圧送式 □個別式 -- 熱源 ( □ 電気 □ ガス □ 蒸気 ) □貯湯式 □瞬間式 □ヒートポンプ式 ■中央式 -- 熱源 ( □ 電気 ■ ガス □ 蒸気 □ 油 ) □ヒートポンプ式 ■室内の汚水と雑排水 ( ■ 分流式 □ 合流式 ) ■再利用装置 ( □ 有 ■ 無 ) ■汚水 ( □ 公共下水道 ■ 浄化槽 ) ■雑排水 ( □ 公共下水道 ■ 浄化槽 □ 側溝 ) ■雨水 ( □ 公共下水道 □ 浄化槽 ■ 側溝 ) ■都市ガス □ LPG □屋内消火栓 □屋外消火栓 □連結給水管 ■スプリンクラー □連結給水 □水噴霧消火 □泡消火 □炭酸ガス消火 □粉末消火 □フード用簡易自動消火 □防火水槽（建築工事） ■消火器 □N2 □新ガス □大臣認定品 □産業型（個別認定品） □電気 □ガス ■医療ガス設備 ※危険物や毒物などの保管はなし	( ■ 印の付いたものを適用する) (概要を示すもので仕様を特定するものではない) ■1) 給水設備 ■2) 給湯設備 ■3) 排水設備 ■4) ガス設備 ■5) 消火設備 □6) 浄化槽設備 □7) 厨房設備 ■8) その他	■14) 検査 ■15) 工事区分 ■16) 提出書類 ■着工時 ■工事中 ■竣工時	■8) 構造安全性 建築物に設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして以下の構造方法による。 ■建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐食のおそれがないものとする。 ■屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。 □煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。 □煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、 ■風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。 ■建築物の部分を通過して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等、有効な等の損傷防止のための措置を講ずること。 ■管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。 ■管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。 ■法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。 ■給湯設備は、支持構造部及び緊結金物を腐食又は腐食のおそれがないものとするほか、風圧土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。	■9) 保温 (1) 「確仕」によるほか下記による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。 又、保温材は原則としてグラスウールとする。 (2) ダクトの保温外装は下記による。 屋 倉庫・書庫 ■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー＋カラー金網 内 各階機械室 ■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー＋カラー金網 露 主 機 械 室 ■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー＋カラー金網 出 居室・廊下など ■カラー亜鉛鉄板 □アルミニウム板 屋内隠ぺい、DS内 □アルミホイルペーパー＋カラー金網 ■アルミガラスクロス 屋外露出、多湿箇所 ■ステンレス鋼板 □カラー亜鉛鉄板 ( ) □ガルバリウム鋼板 (3) 配管の保温外装は下記による。（冷媒管は除く） 屋 倉庫・書庫 ■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー＋カラー金網 内 各階機械室 ■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー＋カラー金網 露 主 機 械 室 ■アルミガラスクロス □アルミホイルペーパー＋カラー金網 出 居室・廊下など ■絹布 □アルミガラスクロス 屋内隠ぺい、DS内 □アルミホイルペーパー＋カラー金網 ■アルミガラスクロス 屋外露出、多湿箇所 ■ステンレス鋼板 □カラー亜鉛鉄板 ( ) □樹脂製タクト板 □ガルバリウム鋼板 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。構造上影響を及ぼさないよう適切に処理を行うこと。 スリーブ、箱入りその他工事との取り合いは、別紙工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明記し、監理者と打ち合わせる。 原則として製造者標準品とするが、下記の機器については塗装色の指定を行う。 □有圧廊フード □空調屋外機 ■換気用ベントキャップ □消火栓ボックス ■屋外露出部の機器・配管等取付のための支持架台・金物は、溶融亜鉛メッキとする。同用ボルト・ナット等は、ステンレス製とする。取付に際しては、異種金属接触を確実にすること。 ■機械室及び屋上の床上配管には、点検が容易に出来るように監理者の指示により部分的にデッキ等を取付けること。 □蓄熱槽の清掃、水張り試験後、満水状態で水質測定を行い、基準値を満足していることを確認すること。 □蓄熱槽系の配管フラッシングは、蓄熱槽以外フレッシュな用水を確保し、又、蓄熱槽以外の排水先を確保して行うこと。 天井点検口裏面に点検用途の表示を行う（関連用途をまとめること） ■15) その他	■6. 改修工事のステップ 新設配管について STEP 1 様ごとのメイン配管を施工。 廊下部分の各分岐枝配管を施工、バルブ止めとする。 STEP 2 各工事エリアの該当部分のバルブ以降を施工。 衛生器具等へ配管接続。 既設配管について STEP 1 工事エリアごとにバルブ設置。 STEP 2 各工事エリアの配管撤去。		
■3. 一般共通事項	■1) 適用 ■2) 定義 ■3) 仕様の指示 ■4) 優先順位 ■5) 疑義に対する協議と記録 ■6) 官公署等への手続き ■7) 別契約の関連工事 □8) 支給材料 ■9) 発生材の処理 ■10) 第三者損害に対する配慮 ■11) 材料 ■12) 材料試験 ■13) 立会い	1) 特記事項のうちで選択する事項は、■印を適用する。 1) この特記仕様書は本工事の仕様についての特記である。 2) ここで述べる設計図書とは質疑回答書、現場説明書・特記仕様書・設計図書の総称である。 1) 本工事の仕様について設計図書に記載（指示）のない場合は下記仕様書の最新版による。 ■ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（（社）公共建築協会 発行） ■ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（（社）公共建築協会 発行） （以下、「確仕」という。） ■ 建築工事標準仕様書・同解説（（社）日本建築学会 発行）（以下、JASSという。） 本工事の仕様適用に対する優先順位は下記の通りとする。 ① 質疑回答書 ② 現場説明書 ③ 特記仕様書 ④ 設計図書 ⑤ 確仕およびその他の仕様書 設計図書に不備・不明の箇所を発見し、または疑義が生じたときは直ちに監理者と協議し、その協議の結果について監理者の認証付の記録書を作成しておくものとする。 本工事に関連ある法令、（条例等を含む広義の法を指す。以下、同じ）を遵守し、必要ある届出、手続きはすべて請負者が行う（但し、建築確認申請は除く）。 その手続きに関する費用は請負者負担とする。 別契約の関連工事については、監理者の指示により、当該工事関係者と協力し、工事全体の円滑な進捗を図る。 支給材料・機器および貨品は、下記リストによる。 □ □ 指示された場所に整理（残材調書を添えて引渡す。） ■ 産業廃棄物として、関係法令に従い、かつ行政庁の指導をうけ承諾をうけた場所に搬出適切に処理。 本工事の施工により騒音、振動、塵、地盤沈下、道路損傷、通行障害等近隣に及ぼす公害が発生しないよう、各種法令を遵守し関連官公庁の指導をうけて進めること、万一損傷その他の危害が発生した場合は、請負者の負担により速やかに補修および補償をすること。 使用する材料および寸法等はJISおよびJASSの規格品とし本特記仕様書で指定されたメーカーおよび材料以外を使用する場合は同等とし、予め監理者に申し出て承諾をうける。 1) 本工事に使用する建材は、原則として「ゼロアス」の製品・資材とすること。 「ゼロアス」：アスベスト含有0％ 2) 代替品が無い等の理由により、1) 以外の製品・資材を使用する場合には、監理者の承諾を得ること。 3) 竣工引渡し書類の「環境配慮事項まとめファイル」にゼロアスも含めてMSDS（製品安全データシート）を入れ、監理者に内容確認の上、施工へ提出・報告する。 工事に使用する材料のうち、設計図書に定められたもの、または監理者の指示のあるものは、公的試験所または監理者の認める試験所で試験を行い、その試験成績書を監理者に提出して、確認を受けなくてはならない。なお、これに要する費用は請負者の負担とする。 本工事の施工にあたって、監理者の立会いを受けなければならない項目は下記のものとする。 ■ 指示された施工または試験 ■ 各法令に基づく諸官庁の検査	■4. 共通工事仕様	□1) 案内板 					



[illegible]

項 目		特 記 事 項	
■ 設備機器耐震仕様	1) 設備機器耐震仕様適合フロー図	<div>設備機器耐震仕様</div> <div><div><div>標準的な対策</div><div>機器タイプ</div><div>天井カセット型</div><div>仕様 A-1</div></div><div><div>機能確保を図る対策</div><div>機器タイプ</div><div>天井カセット型</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ</div><div>1.0m未満</div><div>1.0m以上</div><div>機器重量</div><div>10~30kg未満</div><div>30~100kg</div><div>仕様 A-2</div><div>仕様 D</div><div>仕様 E</div></div></div> <div>X状斜材で一段を超える場合</div> <div>X状斜材で一段を超える場合</div>	
	2) 仕様A	<div>仕様 A-1</div> <ul style="list-style-type: none"><li>標準的な対策</li><li>天井カセット型</li><li>機器重量10~100kg</li></ul> <div><math>a+b</math>が25cm以下は斜材不要</div> <div><math>a+b</math>が25~30cmは鉛直吊り長さが25cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトをφ12にする</div> <div><math>a+b</math>が30cmを超える場合は鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材が必要</div> <div>仕様 A-2</div> <ul style="list-style-type: none"><li>機能確保を図る対策</li><li>天井カセット型</li><li>機器重量10~100kg</li><li>吊り長さ1.5m未満</li></ul> <div><math>a+b</math>が20cm以下は斜材不要</div> <div><math>a+b</math>が20~25cmは鉛直吊り長さが20cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトをφ12にする</div> <div><math>a+b</math>が25cmを超える場合は鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材が必要</div> <div>仕様 A-1, A-2共通</div> <ul style="list-style-type: none"><li>全ネジボルト 形状: X状 or 放射状</li><li>斜材取付け角度: 全ての斜材は45±15度に取付ける</li><li>斜材の種類: 全ネジボルト</li></ul> <div><div><div>＜X状＞4面</div><div>※X状斜材は一段までとし、それを超える場合は仕様Cとすること</div></div><div><div>＜放射状＞4方向</div></div></div>	
3) 仕様B		<div>標準的な対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>天井埋め込み型</li><li>吊り長さ1.0m未満で重量10~100kgもしくは1.0m以上で機器重量10~30kg未満</li></ul> <div><math>a+b</math>が25cm以下は斜材不要</div> <div><math>a+b</math>が25~30cmは鉛直吊り長さが25cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトをφ12にする</div> <div><math>a+b</math>が30cmを超える場合は鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材が必要</div> <div>全ネジボルト 形状: X状 or 放射状</div> <div>斜材取付け角度: 全ての斜材は45±15度に取付ける</div> <div>斜材の種類: 全ネジボルト</div> <div><div>＜X状＞4面</div><div>※X状斜材は一段までとし、それを超える場合は仕様Cとすること</div></div> <div><div>＜放射状＞4方向</div></div>	
4) 仕様C-1		<div>標準的な対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>天井埋め込み型</li><li>吊り長さ1.0m以上</li><li>機器重量30~100kg</li></ul> <div><math>b</math>が25cm以下は斜材不要</div> <div><math>b</math>が25~30cmは鉛直吊り長さが25cm以下になる斜材か、鉛直吊りボルトをφ12にする</div> <div><math>b</math>が30cmを超える場合は鉛直吊り長さが25cm以内になる斜材が必要</div> <div>斜材の種類: 全ネジボルト</div> <div>鋼製架台のボルト貫通部はその上部にダブルナットを設ける</div> <div>鋼製架台の部材サイズは「建築設備の耐震設計・施工法」によること</div> <div>7) 共通</div> <div>耐震用吊りボルト振れ止めシステム (参考: ネグロス)</div> <div>固定部材はクリップタイプは使用不可。ボルトナット固定タイプとする。</div>	
5) 仕様D		<div>機能確保を図る対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>天井カセット型</li><li>吊り長さ1.5m以上</li><li>機器重量10~100kg</li></ul> <div><math>b</math>が20cm以下は斜材不要</div> <div><math>b</math>が20~25cmは鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材か、鉛直吊りボルトをφ12にする</div> <div><math>b</math>が25cmを超える場合は鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材が必要</div> <div>斜材の種類: 全ネジボルト</div> <div>鋼製架台のボルト貫通部はその上部にダブルナットを設ける</div> <div>鋼製架台の部材サイズは「建築設備の耐震設計・施工法」によること</div> <div>8) 制気口</div> <div>在来天井に密付けられている制気口の落下防止</div> <div>標準的対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>制気口とダクトやチャンパとを落下防止ワイヤで接続し、制気口が床2m以下には落下しない構造とする</li></ul> <div></div>	
6) 仕様E		<div>機能確保を図る対策</div> <ul style="list-style-type: none"><li>天井埋め込み型</li><li>機器重量10~100kg</li></ul> <div><math>b</math>が20cm以下は斜材不要</div> <div><math>b</math>が20~25cmは鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材か、鉛直吊りボルトをφ12にする</div> <div><math>b</math>が25cmを超える場合は鉛直吊り長さが20cm以内になる斜材が必要</div> <div>斜材の種類: 全ネジボルト</div> <div>鋼製架台のボルト貫通部はその上部にダブルナットを設ける</div> <div>鋼製架台の部材サイズは「建築設備の耐震設計・施工法」によること</div> <div>9) 排煙口</div> <div>排煙口の設置例</div> <ul style="list-style-type: none"><li>押さえアングルを設け、ダクトの浮き上がりを防止し、天井の破損を防ぐ</li><li>鋼線を広くして、排煙口と天井のクリアランスを大きくする</li></ul> <div></div>	
株式会社 日立建設設計		禁 複 写 無 断 転 載 禁 止	
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.		制定日 2001.09.01 REVISION 1	
改訂日 2017.04.01		改訂日 2017.04.01	
文書番号 T02-G04-1704		文書番号 T02-G04-1704	
竣工図 (責任者)		APPD. CHKD. DWN.	
DATE 2019.03.29		JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事	
SCALE N.S. (A3)		TITLE 天井吊り設備機器耐震固定標準仕様	
DWG.NO. M-04		DWG.NO.	



## M -05

工 事 区 分 表

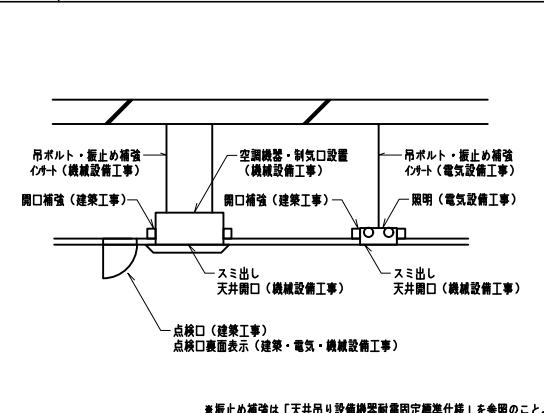
■は本工事該当項目  
○は本工事該当区分  
\* 取合詳細区分は工事区分図（１）（２）による

項 目	建 築 構 造	電 気	機 械	配 管	施 工 主 体	備 考
A 躯体及び付属						
<input type="checkbox"/> 高架水適用コンクリート基礎	○					鉄骨架台は衛生工事
<input type="checkbox"/> 屋上設置の冷凍機、冷却塔、排煙機のコンクリート基礎	○					鉄骨架台は空調工事
<input type="checkbox"/> 屋上設置の変電キュービクル、発電機のコンクリート基礎	○					鉄骨架台は電気工事
<input type="checkbox"/> 広告塔、ネオン、看板の基礎及びアンカー	○					
<input type="checkbox"/> 上記以外の機器の基礎及び仕上げ			○	○	○	図示以外は 必要部所が担当
<input type="checkbox"/> 屋上機械基礎の防水及びシーリング	○					防水にからむ基礎のみ
<input type="checkbox"/> 機械室、電気室等の床軽量コンクリート	○					
<input type="checkbox"/> 配線配管ビットのフタ、緑金物及び仕上げ	○					
<input type="checkbox"/> 防油堤	○					
<input type="checkbox"/> 埋設オイルタンクの基礎、隔壁及び充填砂				○		
<input type="checkbox"/> 煙突（煙道を除く）のライニング及び掃除口	○					
<input type="checkbox"/> 重量機器の搬入・搬出用フック	○					
<input type="checkbox"/> 重量機器の床等の補強	○					
<input type="checkbox"/> 発電機点検用！ビーム及びチェーンブロック				○		
<input type="checkbox"/> 屋外設置の受水槽基礎				○		
<input type="checkbox"/> 屋外設置のキュービクル基礎				○		
<input type="checkbox"/> 屋外設置のキュービクル基礎廻りネットフェンス	○					
<input type="checkbox"/> 屋上設備架台床組み（メンテナンスデッキ）	○					
<input type="checkbox"/> 屋上設置のソーラーパネル用基礎	○					
<input type="checkbox"/> ソーラーパネル設置架台・機器取付調整・ ソーラーパネル本体・制御装置・盤本体				○		
<input type="checkbox"/>						
<input checked="" type="checkbox"/>						
B 穴明け及び補強						
<input type="checkbox"/> 鉄骨梁の貫通スリーブ及び同補強	○					
<input type="checkbox"/> R/C梁の貫通スリーブ及び取付	○			○	○	人通口は建築工事
<input checked="" type="checkbox"/> R/C床、壁の設備関係穴明け、穴埋め及び仕上げ	○	○		○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
<input type="checkbox"/> 同上の防水層を貫通する場合の防水処理	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 同上の外壁等を貫通する場合の開口部枠外側シーリング処理	○	○		○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
<input checked="" type="checkbox"/> R/C床梁、壁の開口補強	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 金属板、ALC、ボード、PC板等の 設備関係切り込み穴明け及び補強		○		○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
<input checked="" type="checkbox"/> 天井の埋込設備器具用の穴明け、天井下地枠及び下地補強	○	○		○	○	（必要部所が担当） 下地補強は建築
<input checked="" type="checkbox"/> 空調ダクト下の天井吊り金具同補強	○					
<input type="checkbox"/> 防火区画上の未使用スリーブ塞ぎ	○					
<input type="checkbox"/> O/Aフロアの空調吹出し口穴明け加工	○					タイルカーベット穴明け共
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
C 化粧仕上げ						
<input type="checkbox"/> 光天井等建築化照明の枠組、内部反射板及び仕上げ	○					
<input type="checkbox"/> システム天井、複合天井等の関係 下地枠組、T・Yバー、見切板、天井板	○					
<input type="checkbox"/> システム天井、複合天井、及び 複合照明器具のアネモ・エアコネクター					○	
<input type="checkbox"/> システム天井、複合天井の照明器具設備プレート	○					
<input type="checkbox"/> 電話交換室のフローリング・ビット	○					
<input type="checkbox"/> フロアダクト用ジャンクションプレートのタイル貼り	○					
<input type="checkbox"/> 排水群、ハンドホール等化粧フタの仕上りタイル貼り	○	○				
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						

項 目	建 築 構 造	電 気	機 械	配 管	施 工 主 体	備 考
D 断熱・防音						
<input type="checkbox"/> 耐火被覆の加工箇所の補強工事	○	○	○	○	○	（各加工業者が担当）
<input type="checkbox"/> 機械室等の遮音、吸音工事（扉、吸音壁共）	○					宿泊室含む
<input type="checkbox"/> 地下水槽、蓄熱槽関係断熱工事	○					
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
E 点検口						
<input type="checkbox"/> ビット関係マンホールフタ、タラップ	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 床、壁及び天井の点検口	○					
<input checked="" type="checkbox"/> トレンチ、シャフトの点検口及び扉	○					
<input type="checkbox"/> EVシャフト感知器の点検口及び扉	○					
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
F 出入口						
<input checked="" type="checkbox"/> 防火扉のリリース、煙感知器、制御盤及びその配線				○		
<input type="checkbox"/> 防煙垂壁及びシャッターの開閉装置	○					
<input type="checkbox"/> 電動シャッターの駆動スイッチ、制御盤 押しボタン及びその二次側配管、配線	○					
<input type="checkbox"/> オートドア-電源ボックス以後の二次側配管、配線 （センサーも含む）	○					一次配線は電気工事
<input checked="" type="checkbox"/> 電気錠システムの錠、制御盤及び相互配線	○					制御システムは別途工事
<input type="checkbox"/> 入退室、管理システムのセンサー-錠、制御盤及び相互配線				○		制御盤、管理システムは 別途工事
<input type="checkbox"/> 防犯センサー					○	器具に組込むものの取付は 建築工事
<input checked="" type="checkbox"/> エアカーテン、吹出口及び運転スイッチ					○	
<input type="checkbox"/> シャッター 水圧開放装置	○					
<input checked="" type="checkbox"/> セキュリティーシステム電気錠、電源	○			○		制御システムは別途工事
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
G 水槽						
<input type="checkbox"/> 湧水、排水、消火、冷却水槽等地下水槽の躯体、 及び内外仕上げ	○					
<input type="checkbox"/> 地下水槽の連通管	○					
<input type="checkbox"/> 各種水槽内点検用タラップ（SUS）	○					
<input type="checkbox"/> 各種水槽の通気管	○					
<input type="checkbox"/> 防火水槽				○		
<input type="checkbox"/> 雨水貯留槽・浸透槽				○		
<input type="checkbox"/>						
H 水廻り						
<input checked="" type="checkbox"/> 造付け流し台、既製品の流し台、防水パン、ガス台、 バスユニット、洗面ユニット	○					着付、化粧カバーも建築工事
<input checked="" type="checkbox"/> 既製品の鏡及び既製品の化粧棚	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 既製品以外の鏡及び化粧棚	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 衛生設備付属品（ペーパーホルダー、石鹸入れ）					○	
<input type="checkbox"/> 便所手摺り、ストレッチャーガード	○					補強共 建築工事
<input type="checkbox"/> 身障者便所の鏡	○					既製品以外は建築工事
<input checked="" type="checkbox"/> ステンレス流し台取付のトラップ	○					オーバーフロー共設置のこと
<input checked="" type="checkbox"/> 衛生設備取付壁下地	○					
<input type="checkbox"/> ハンドドライヤー					○	
<input type="checkbox"/> 洗濯防水パン	○					排水トラップ付
<input type="checkbox"/>						

項 目	建 築 構 造	電 気	機 械	配 管	施 工 主 体	備 考
I 排水						
<input type="checkbox"/> 軒樋、堅樋、屋内雨水管（防露共）、ルーフドレイン	○					樋受群・U字溝等接続迄 建築工事
<input type="checkbox"/> 堅樋受群			○			
<input type="checkbox"/> 屋外雨水排水溝（フタ共、流末接続迄）			○			
<input type="checkbox"/> 屋外排水群（フタ共）及び排水管				○		雨水以外
<input type="checkbox"/> 屋内排水溝の緑金物、内部仕上げ及びフタ	○					
<input type="checkbox"/> 樋の電気ヒーター				○		
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
J 換気						
<input checked="" type="checkbox"/> 吸排気用外部ガラリ（壁付）	○					
<input checked="" type="checkbox"/> ダクト接続型外部ガラリ（フランジ共）（壁付）	○					
<input type="checkbox"/> 給排気用内部ガラリ、ドアガラリ（防火シャッター付）	○					ドアガラリのみ建築工事
<input checked="" type="checkbox"/> 換気扇等の取付枠	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 換気扇等のウェザーカバー					○	
<input checked="" type="checkbox"/> SFD本体の取付及び閉鎖装置					○	
<input checked="" type="checkbox"/> 同上煙感連動制御及び配線				○		
<input checked="" type="checkbox"/> ダクト接続型外部換気孔					○	
<input checked="" type="checkbox"/> 排気用ファン					○	
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
K 排煙						
<input type="checkbox"/> 排煙トップライト、防煙垂壁の開放装置	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 排煙口連動用制御盤、煙感知器及び相互配線				○		
<input checked="" type="checkbox"/> ダクト内、防煙、防火ダンパー及び閉鎖装置				○		
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
L 昇降機・クレーン等						
<input type="checkbox"/> 中間ビームの設置工事	○					
<input type="checkbox"/> レールプラケット固定用ファスナー設置工事			○			
<input type="checkbox"/> 機械室の軽量コンクリート打設、穴明け及び仕上げ	○					
<input type="checkbox"/> 敷居コンクリート持出し及び乗場、 機器取付後の出入口廻り仕上げ	○					
<input type="checkbox"/> 三方枠、敷居取付用下地及び三方枠取付後の裏埋め	○					
<input type="checkbox"/> 各階押ボタン及び乗場表示灯の取付用穴開け、 下地及び穴埋め	○					
<input type="checkbox"/> 機械室内の手元スイッチ及び エレベーター制御盤一次端子迄の電源配線				○		
<input type="checkbox"/> エレベーター機械室の機械換気					○	
<input type="checkbox"/> エレベーター機械の基礎	○					
<input type="checkbox"/> エレベーター機械室の断熱	○					
<input type="checkbox"/> インターホンの昇降路外の配線				○		建家外は別途電気工事 （本館事務室まで）
<input type="checkbox"/> クレーン用トローリー・安全カバー						クレーン工事
<input type="checkbox"/> クレーン用レール・ストッパー	○					
<input type="checkbox"/> クレーン用レールガーダー	○					ウレタン車輪用精度確保、 緊ぎ目溶接
<input type="checkbox"/> クレーン用点検台・点検階段・親綱	○					
<input type="checkbox"/> クレーン用一次側電源				○		
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input checked="" type="checkbox"/>						

項 目	建 築 構 造	電 気	機 械	配 管	施 工 主 体	備 考
M 監視・制御						
<input type="checkbox"/> 合弁浄化槽の制御盤及び二次側の電動機端子迄の配線					○	
<input type="checkbox"/> 消火ポンプユニット、給水ユニット等の 制御盤及び二次側配線					○	
<input checked="" type="checkbox"/> 監視盤に組込む空調用の計測記録、機器類					○	
<input checked="" type="checkbox"/> 電気計測用検出器具、その交換器					○	
<input checked="" type="checkbox"/> 同上交換器（盤）より監視盤迄の配線					○	
<input type="checkbox"/> 冷凍機、冷水ポンプ、冷却水ポンプ、冷却塔 循環ポンプ等のインターロック連動系統配線					○	
<input checked="" type="checkbox"/> 空調動力制御盤より空調自動制御盤への電源供給						○
<input type="checkbox"/> ボイラーの感震装置、緊急遮断及びその配線						○
<input type="checkbox"/> オイルサーピスタタンク及び液面感知器						○
<input type="checkbox"/> 煙導の煙濃度監視装置の表示盤 （運方表示接点付）感知器及びその記録						○
<input type="checkbox"/> 各種水槽の液面感知器及び配線					○	
<input checked="" type="checkbox"/> 火災発信機併設型の消火栓（架台、穴空け、加工共）					○	
<input type="checkbox"/> 屋根、樋、床の凍結防止ヒーター-制御盤及び二次側配線					○	
<input type="checkbox"/> 配管類の凍結防止ヒーター、制御盤及び二次側配線					○	（必要部所が担当）
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
N 撤去						
<input type="checkbox"/> 既存樹木の伐採					○	
<input type="checkbox"/> 既存樹木の伐根					○	
<input type="checkbox"/> 既存建築物・工作物の解体処分	○	○				外構図記載の範囲
<input type="checkbox"/> 舗装・給排水等インフラ関連の撤去・処分					○	
<input type="checkbox"/> 上記に対する切り直し工事						○
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
O その他						
<input checked="" type="checkbox"/> 正規メーター取付後の電気・水の基本料金						○ 施主負担
<input checked="" type="checkbox"/> 正規メーター取付後の電気・水の使用料金	○	○	○	○	○	関係業者の共同負担
<input checked="" type="checkbox"/> 消火器ボックス（埋込型）	○					
<input checked="" type="checkbox"/> 消火器ボックス（スタンド型）						○
<input checked="" type="checkbox"/> 消火器本体						○
<input checked="" type="checkbox"/> 各種負担金						○
<input type="checkbox"/> 地中障害対策						○
<input type="checkbox"/> セキュリティ設備					○	配管は本工事 （その他は別途工事）
<input type="checkbox"/> サイン	○					
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>						

■01	天井開口設置機器（空調機器・制気口・照明他）	■02	外壁ガラリ	□03	ミニキッチン	■04	流し台（造作）	■05	カウンター式洗面器
 <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p>									









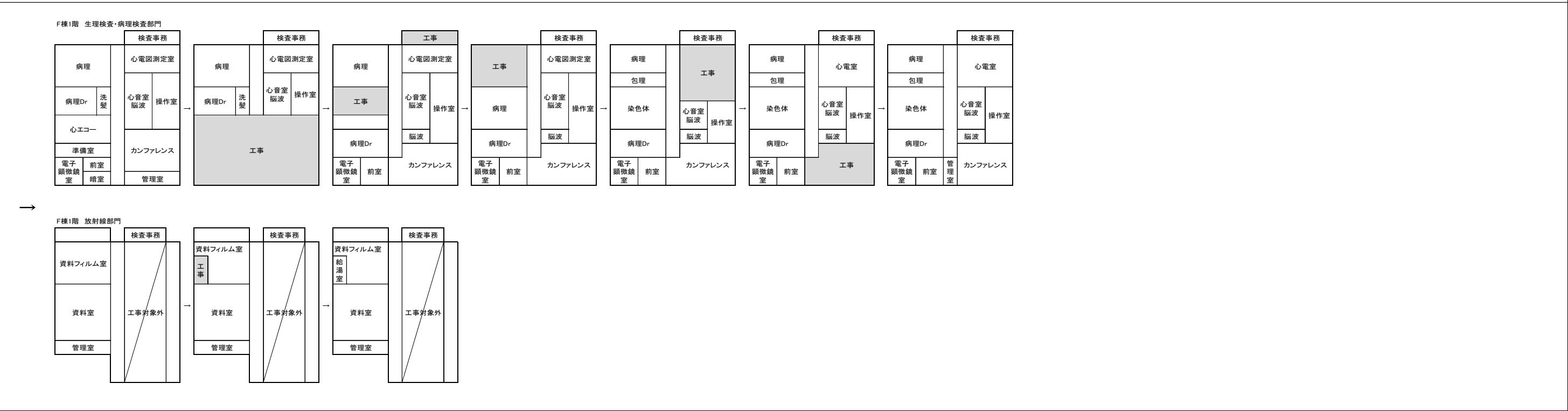
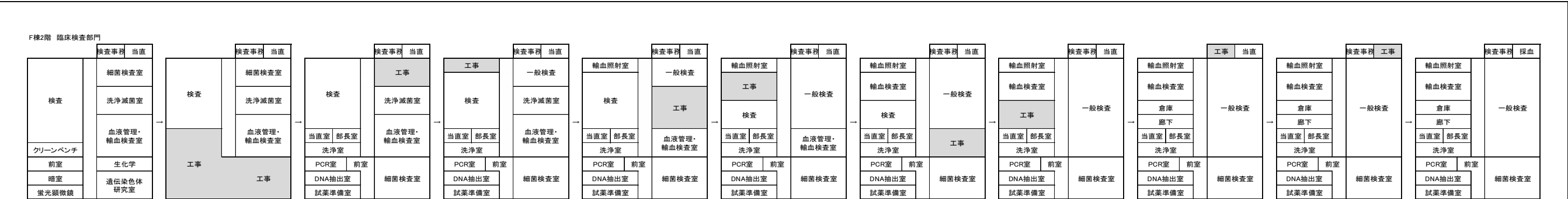
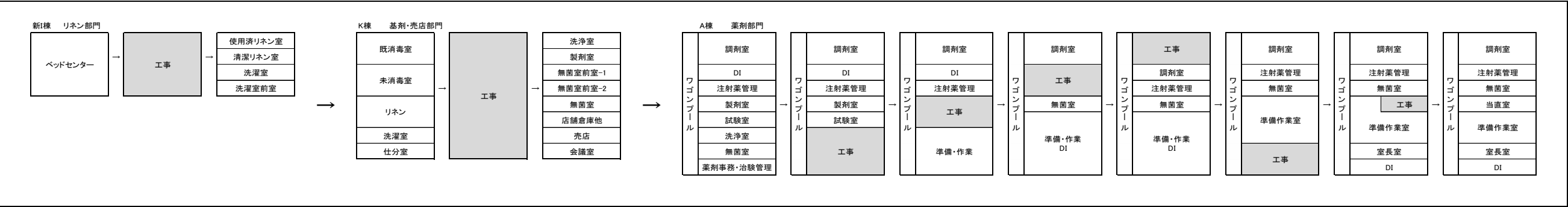
工事ステップ案

①と②を並行して工事を行う。

各工事エリアには、感染症(アスペルギルス)対策として、排風機を設置する。4,000CMH×5台(プレ+HEPAフィルター設置)※空調換気設備工事

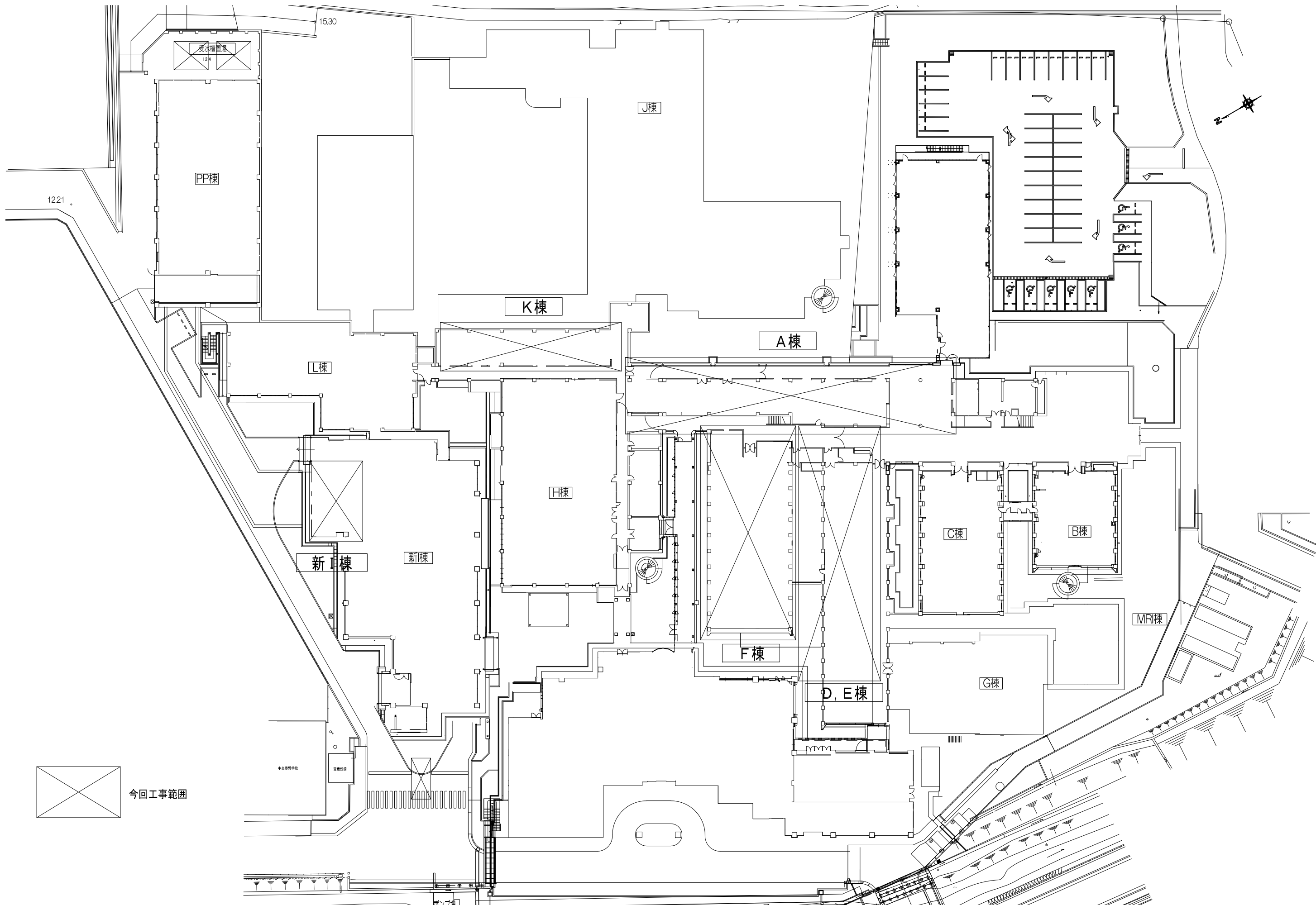
仮移動時に必要な給排水、空調については建築工事仮設計画図を参照のこと。

：工事エリアを示す ：土日工事エリアを示す



工事中は工事範囲外の機能を損なわないように工事を行うこと。





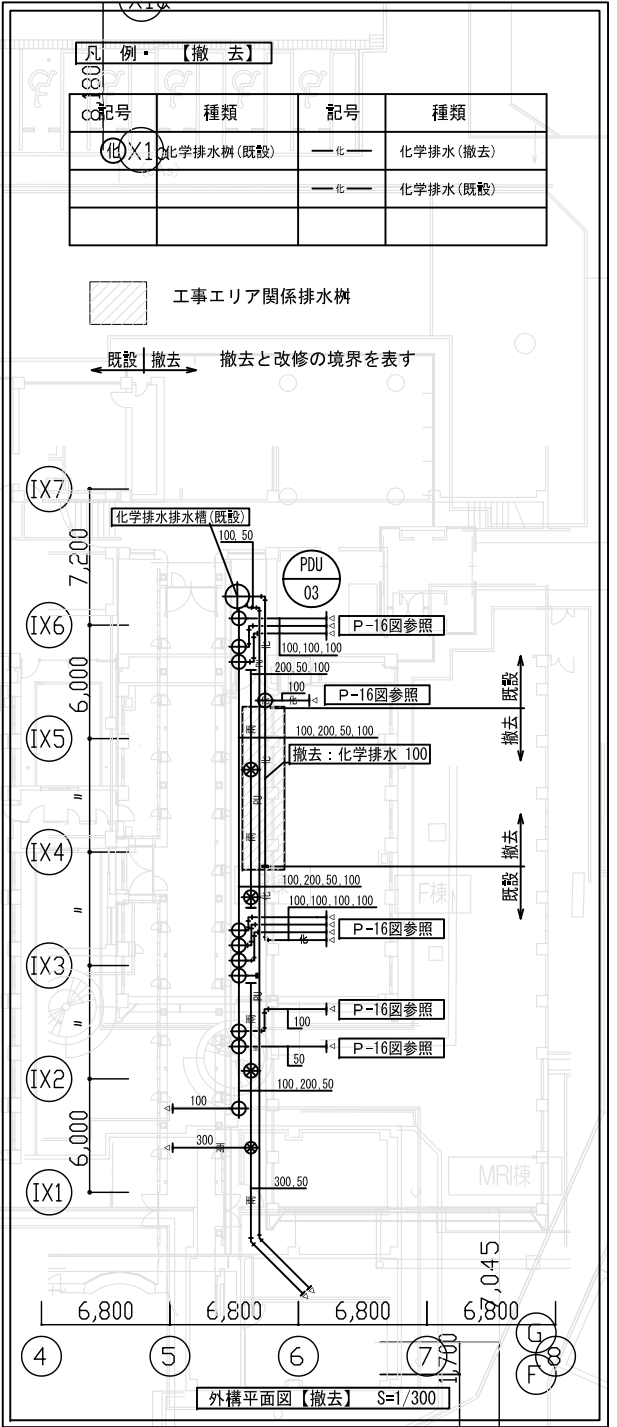
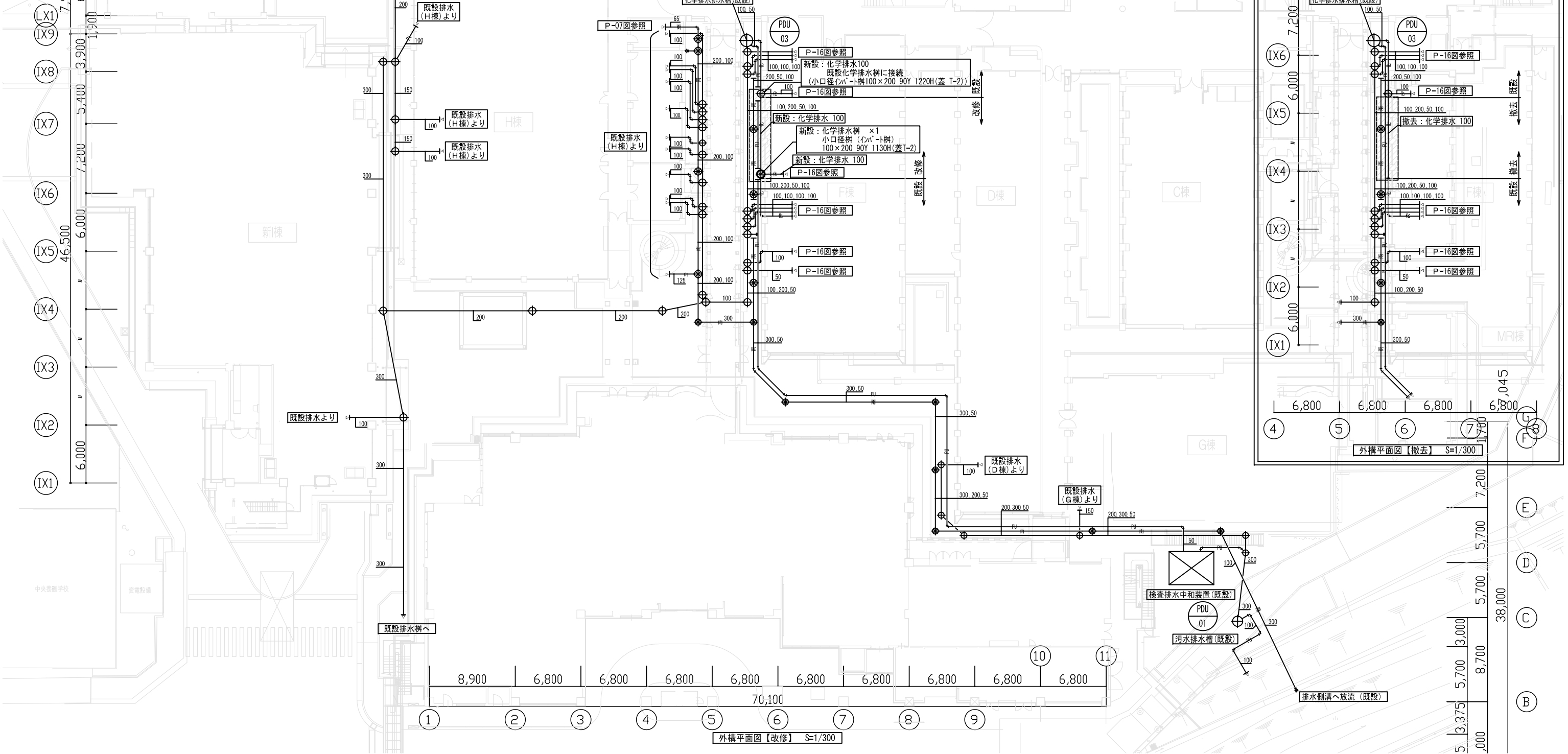
凡例【改修】

記号	種類	記号	種類
化X1	化学排水樹(新設)	—	汚水(新設)
化X1	化学排水樹(既設)	—化—	化学排水(新設)
化X1	化学排水樹(既設)	—化—	R I 排水(新設)
化X4	雨水樹(既設)	—	汚水(既設)
		—化—	化学排水(既設)
		—雨—	ポンプアップ排水(既設)
		—雨—	雨水(既設)

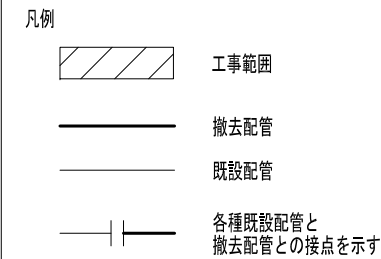
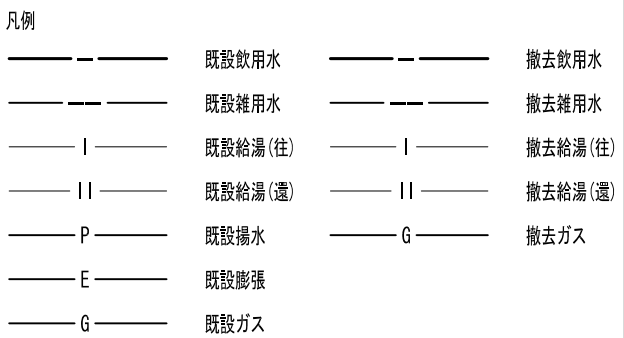
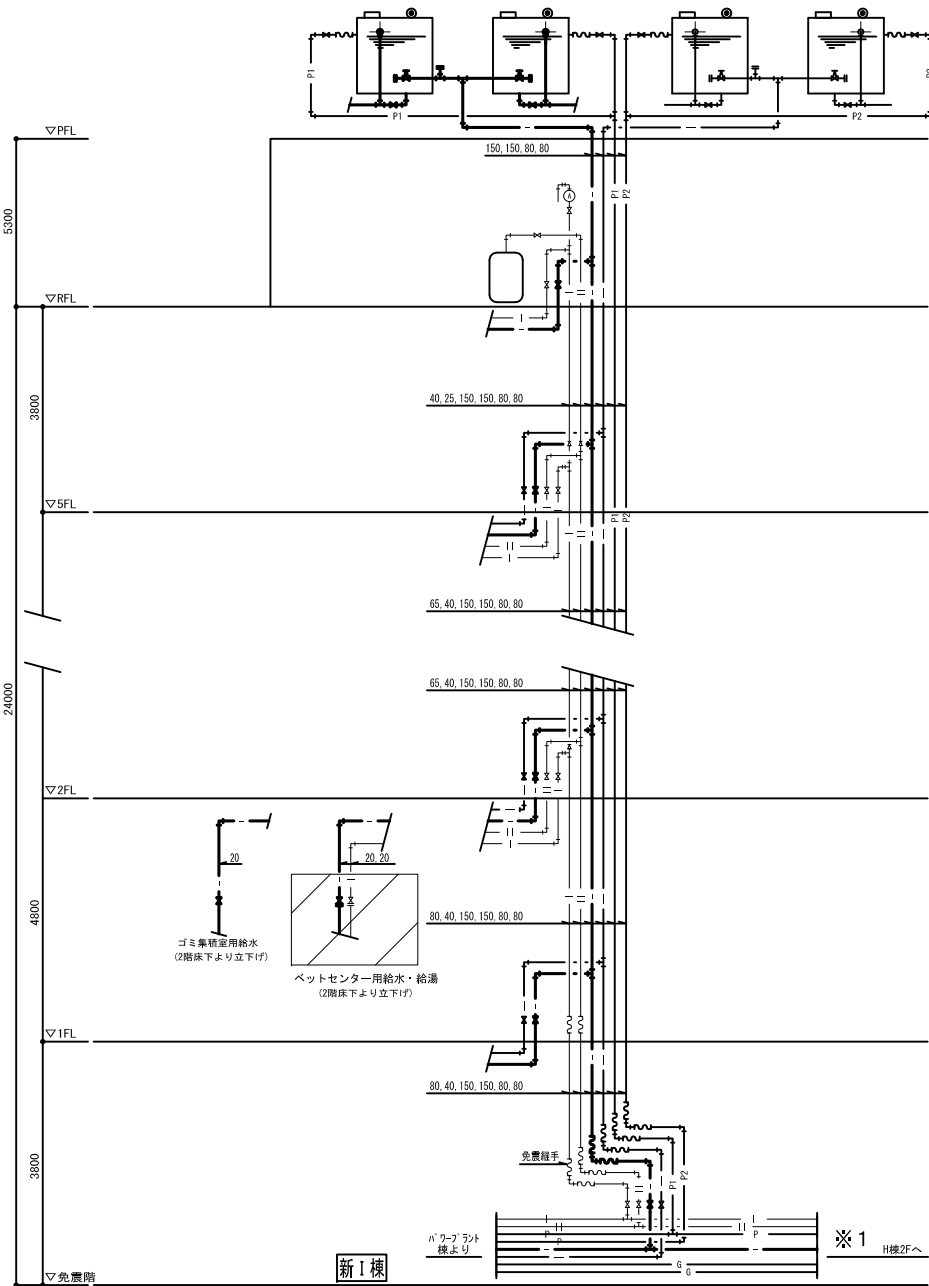
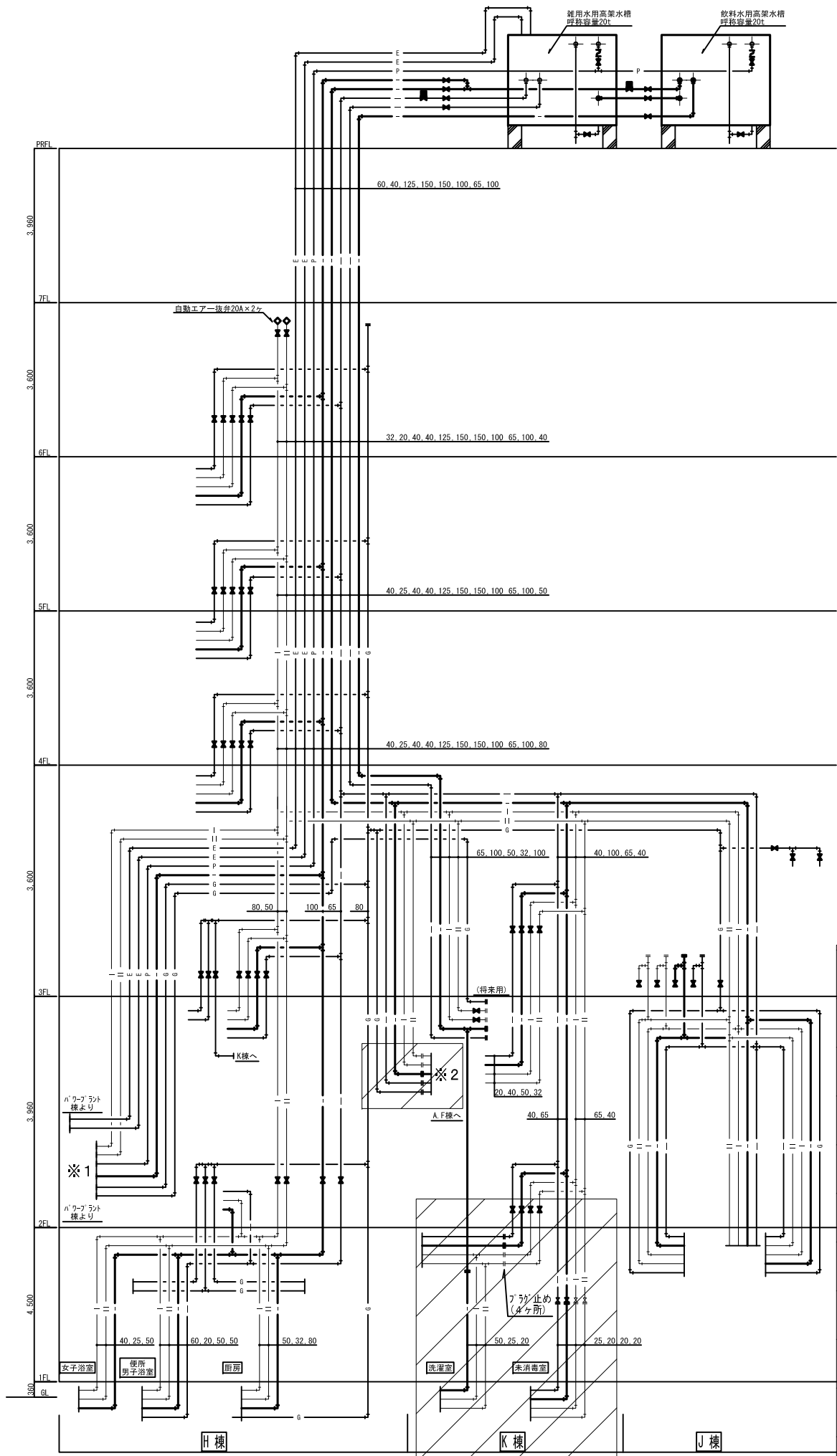
工事エリア関係排水樹

既設 | 改修

既設と改修の境界を表す

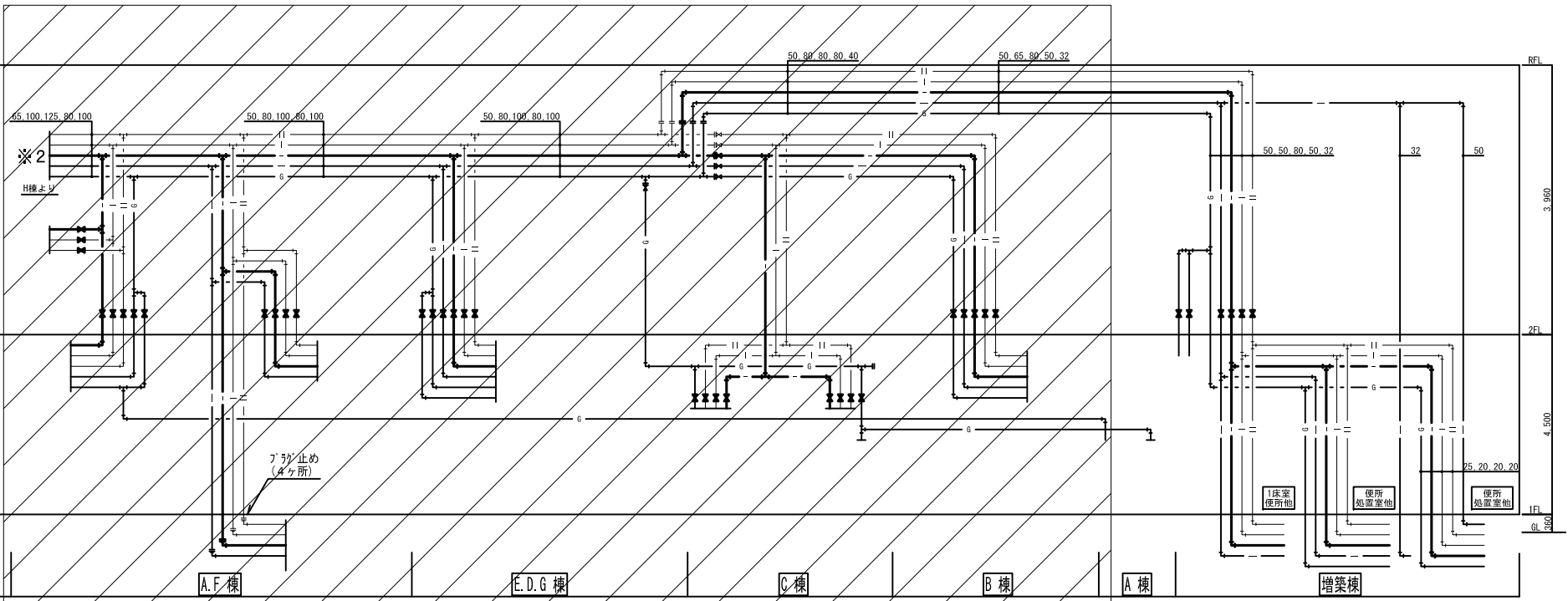


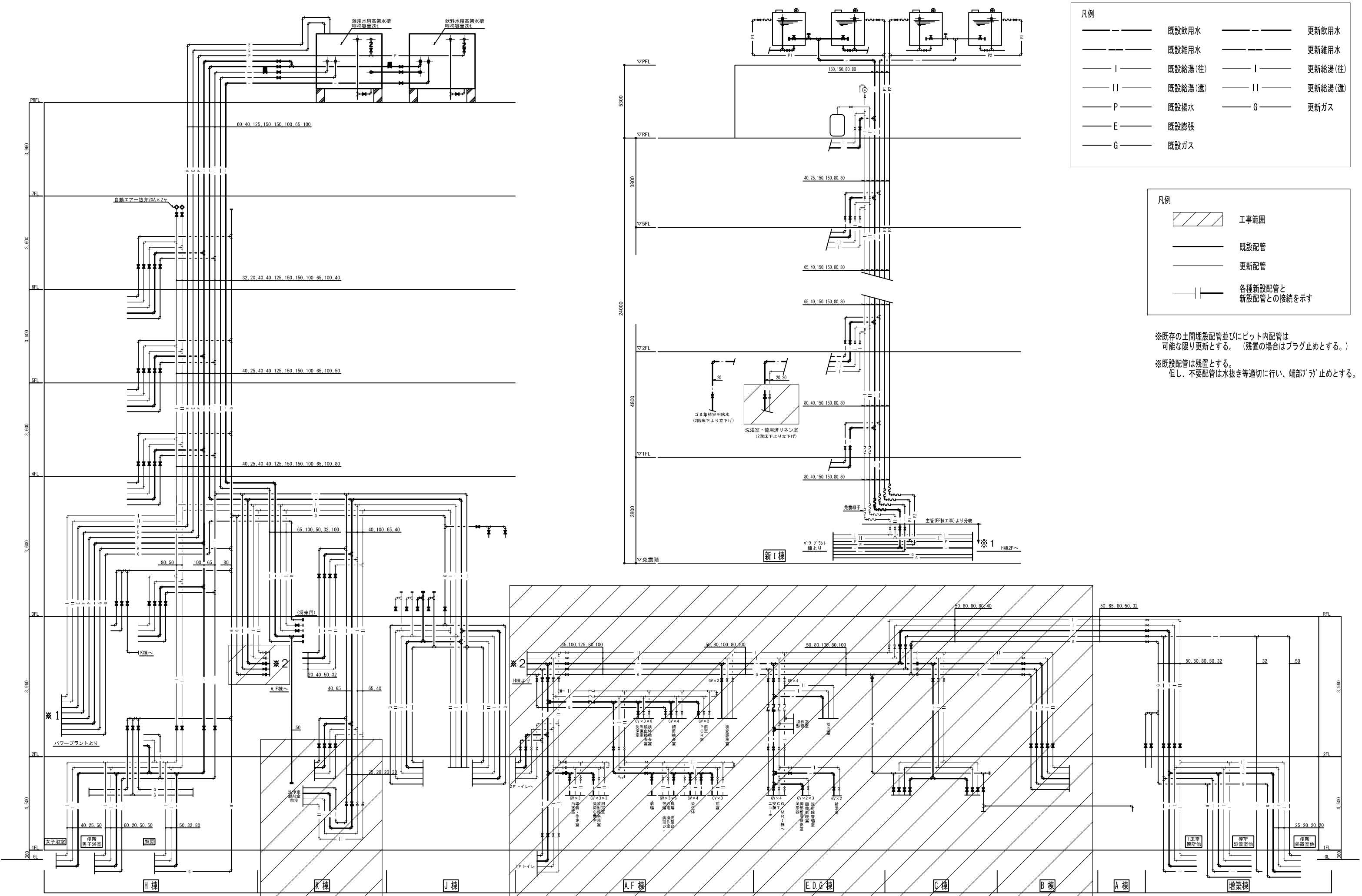




※既存の土間埋設配管並びにビット内配管は可能な限り更新とする。(残置の場合はプラグ止めとする。)

※既設配管は残置とする。但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。





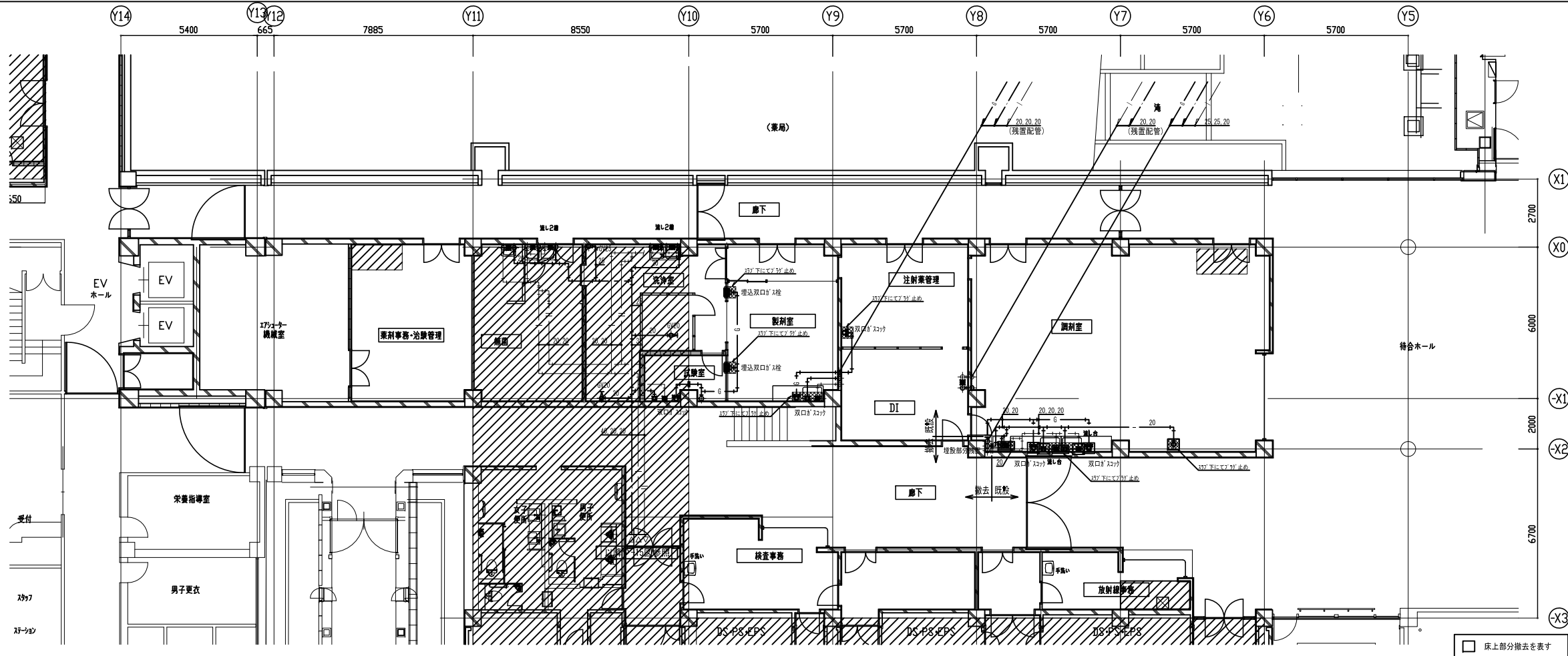
### 器具表

[illegible]

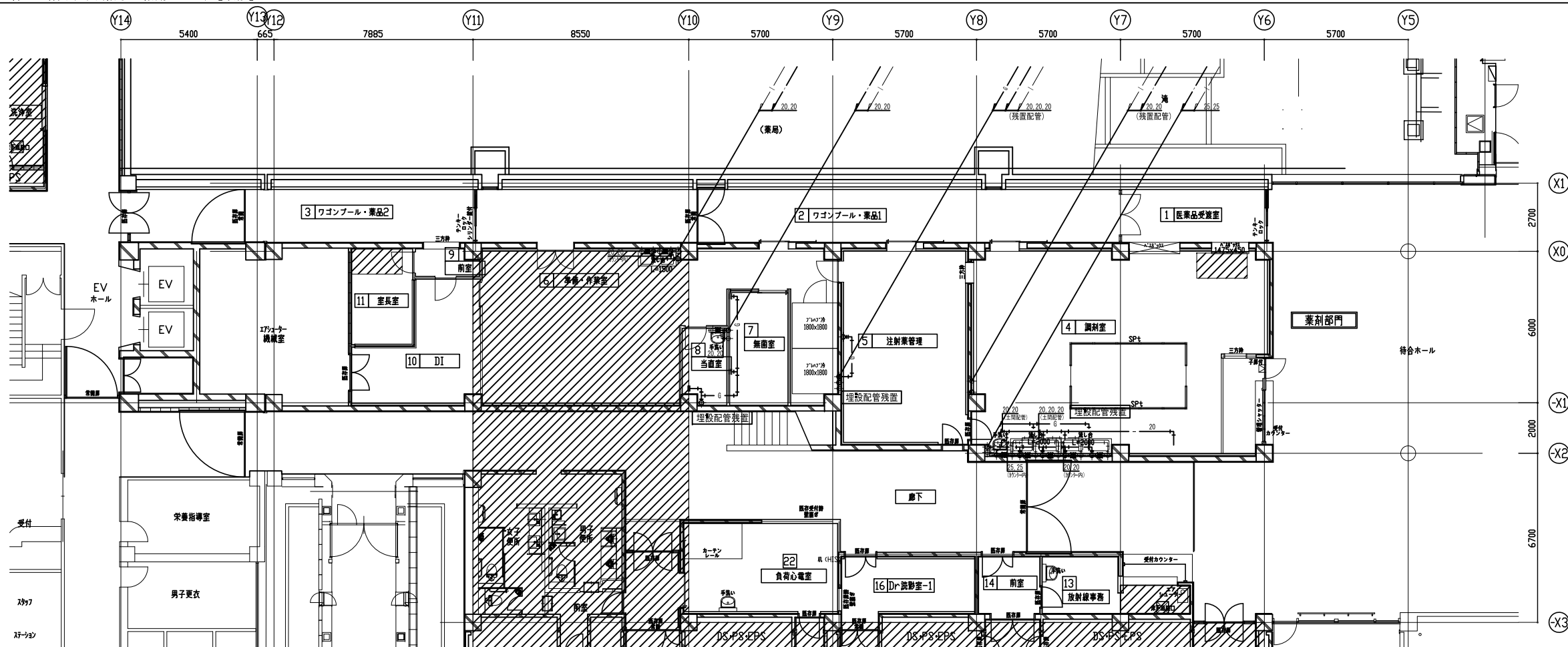
機器表

[illegible]

1	A棟 1階平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】
---	------------------------



2	A棟 1階平面図(給水・給湯・ガス)【改修】
---	------------------------



凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—— —	給水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（VP）
—— —	給水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（VP）
—— 放排水	湯水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（VP）
—— 雑排水	湯水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（VP）
—— I	給湯（送り）管（撤去）	給湯用銅管
—— II	給湯（送り）管（撤去）	給湯用銅管
—— C	汚水排水管（撤去）	排水用鉄排水管
—— 雑排水管	（撤去）	SIP（白）
—— RI	RI汚水排水管（撤去）	排水用鉄排水管
—— RI	RI雑排水管（撤去）	VP
—— 化	化学排水管（撤去）	VP
—— 雨	雨水排水管（撤去）	SIP（白）
——	屋外排水管（撤去）	VP
——	通気管（撤去）	SIP（白）
—— G	ガス管（撤去）	SIP（白）

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す

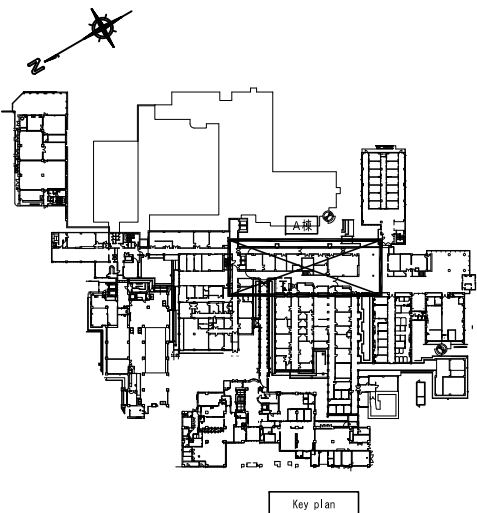
既設 撤去

凡例	【改修図】		
記号	名称	管種	
—— —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管	
—— —	給水(飲用水)管65A以上	硬質塩化ビニル管(VI)	
—— —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管	
—— —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VI)	
—— I ——	給湯(送り)管	ステンレス鋼管	
—— II ——	給湯(送り)管	ステンレス鋼管	
—— C ——	汚水排水管	耐水二層管、VP(埋設・E・F)	
—— —	雑排水管	耐水二層管、VP(埋設・E・F)	
—— RI ——	RI汚水排水管	DVLP	
—— RI ——	RI雑排水管	DVLP	
—— 化 ——	化学排水管	DVLP	
—— 雨 ——	雨水排水管	SPP(白)、VP(埋設・E・F)	
—— —	屋外排水管	VP	
—— —	通気管	耐水二層管、VP(埋設・E・F)	
—— G ——	ガス管	SPP(白)	

各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す  
既設 改修  
新り復旧範囲を表す  
ビッド範囲を表す

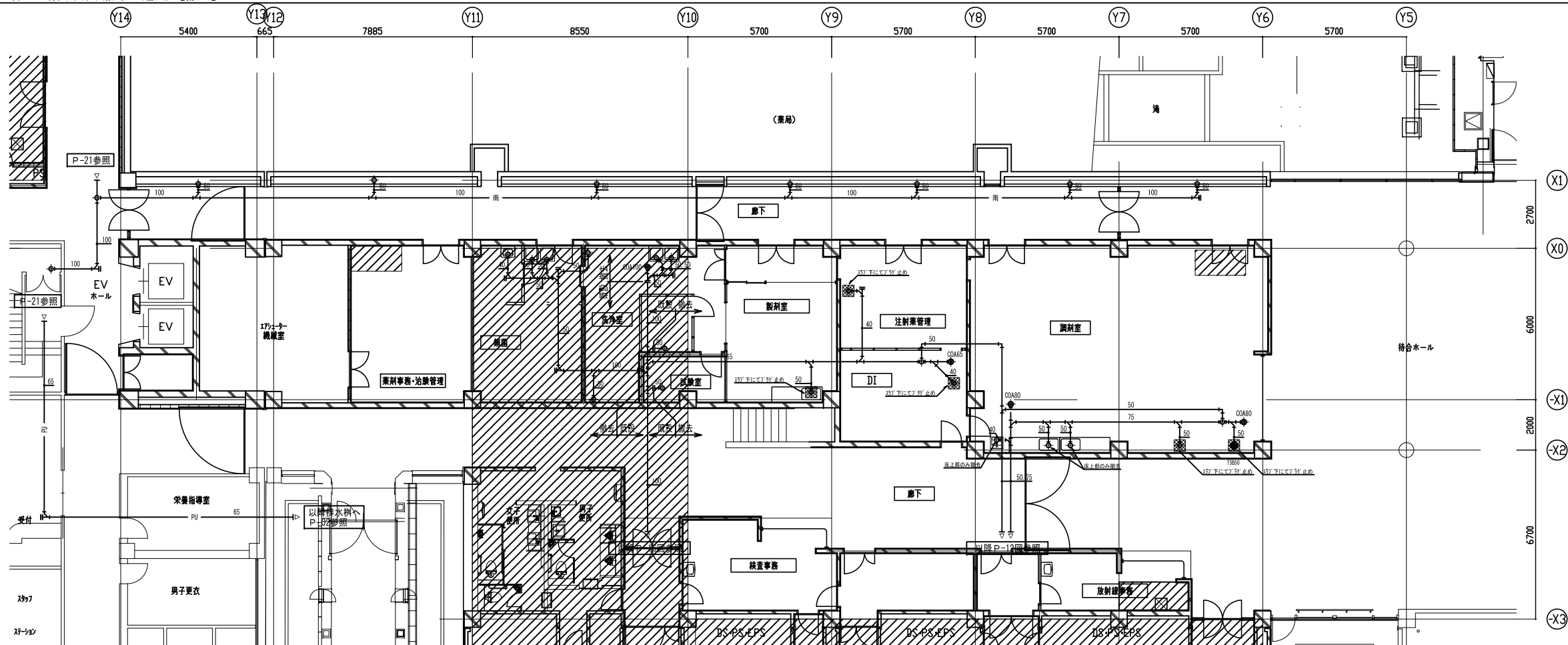
※既設配管は残置とする。

但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。

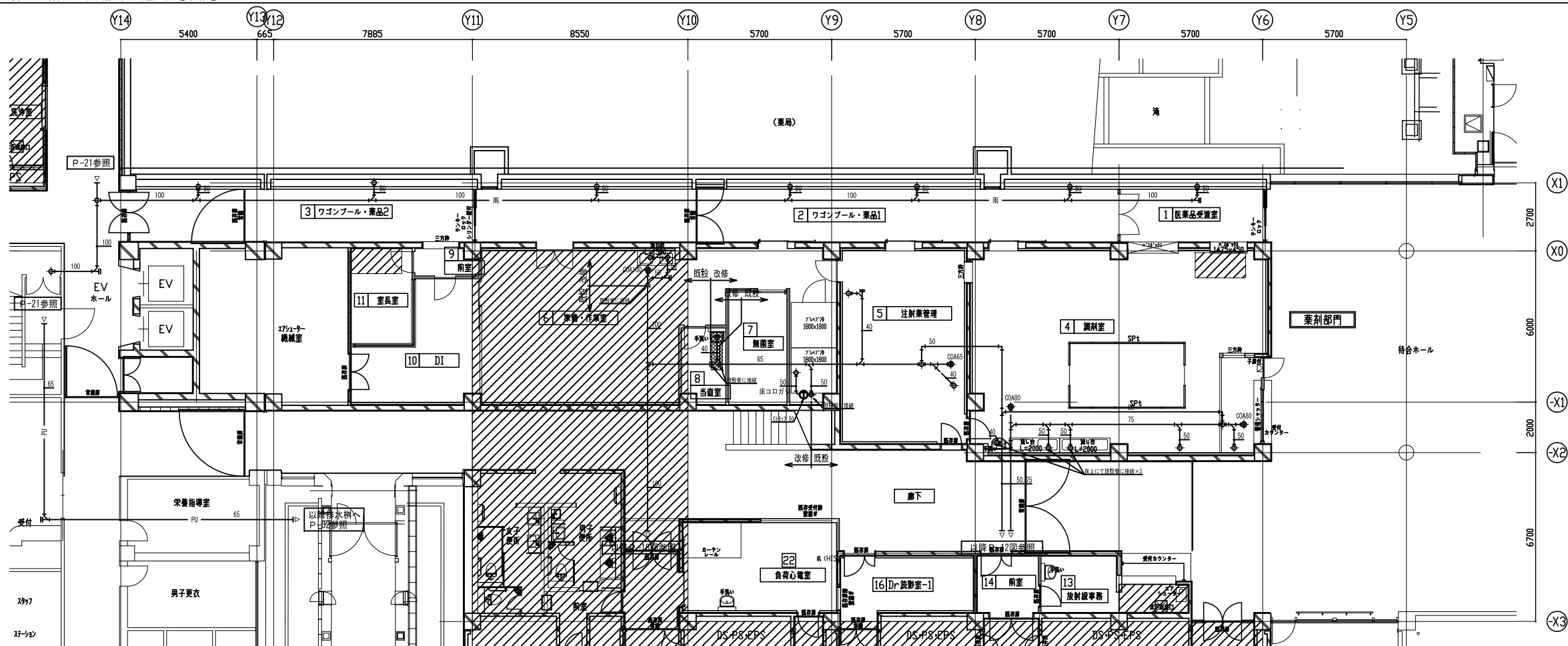




1	A棟 1階平面図(排水・通気)【撤去】
---	---------------------



2	A棟 1階平面図(排水・通気)【改修】
---	---------------------



凡例	【撤去図】	
記号	名称	管種
—	給水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（質管）
—	給水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（質管）
— 飲排水	排水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（質管）
— 雑排水	排水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（質管）
— I	給湯（送り）管（撤去）	給湯用銅管
— II	給湯（通り）管（撤去）	給湯用銅管
— C	汚水排水管（撤去）	排水用鉄管
—	雑排水管（撤去）	SIP（白）
— RI C	RI汚水排水管（撤去）	排水用鉄管
— RI	RI雑排水管（撤去）	VP
— 化	化学排水管（撤去）	VP
— 雨	雨水排水管（撤去）	SIP（白）
—	屋外排水管（撤去）	VP
—	通気管（撤去）	SIP（白）
— G	ガス管（撤去）	SIP（白）

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す

凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—— —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—— —	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(Ⅷ)
—— —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—— —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(ⅧA)
—— I ——	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—— II ——	給湯(循環)管	ステンレス鋼管
—— C ——	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋設・E・F)
—— RI ——	雑排水管	耐火二層管、VP(埋設・E・F)
—— RI ——	RI汚水排水管	DWLP
—— RI ——	RI雑排水管	DWLP
—— 化 ——	化学排水管	SQP(白)
—— 雨 ——	雨水排水管	SDP(白)、VP(埋設・E・F)
—— —	屋外排水管	VP
—— —	通気管	耐火二層管、VP(埋設・E・F)
—— G ——	ガス管	SQP(白)

各種既敷配管を表す

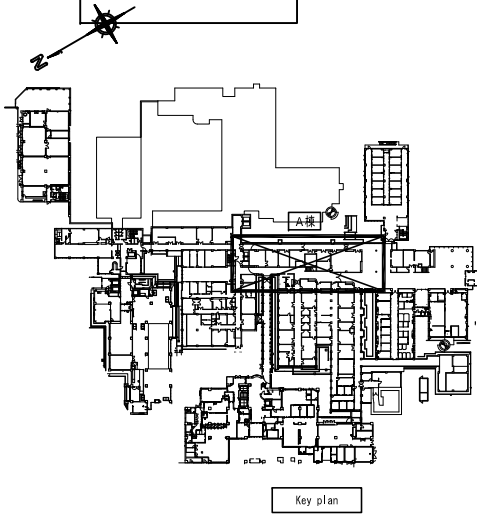
既敷接続位置を表す

既敷 改修

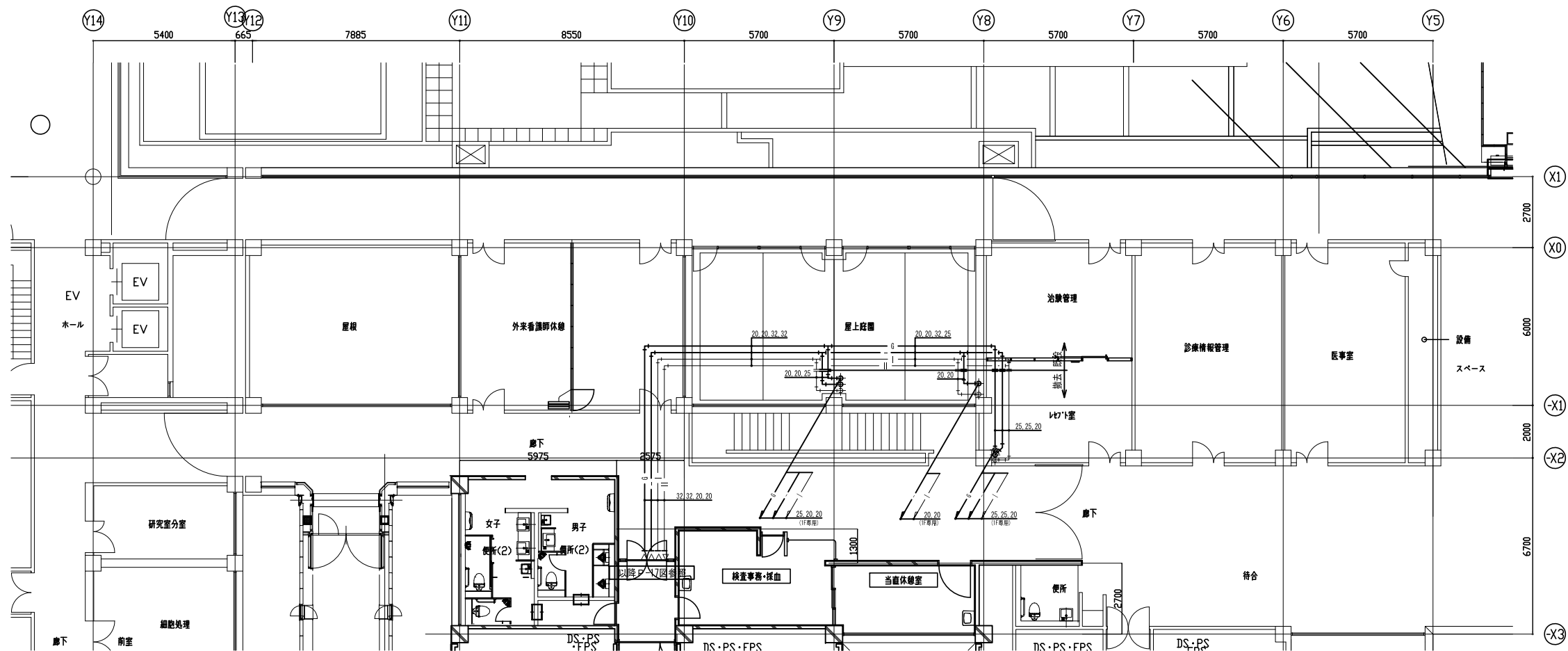
斫り復旧範囲を表す

ヒック範囲を表す

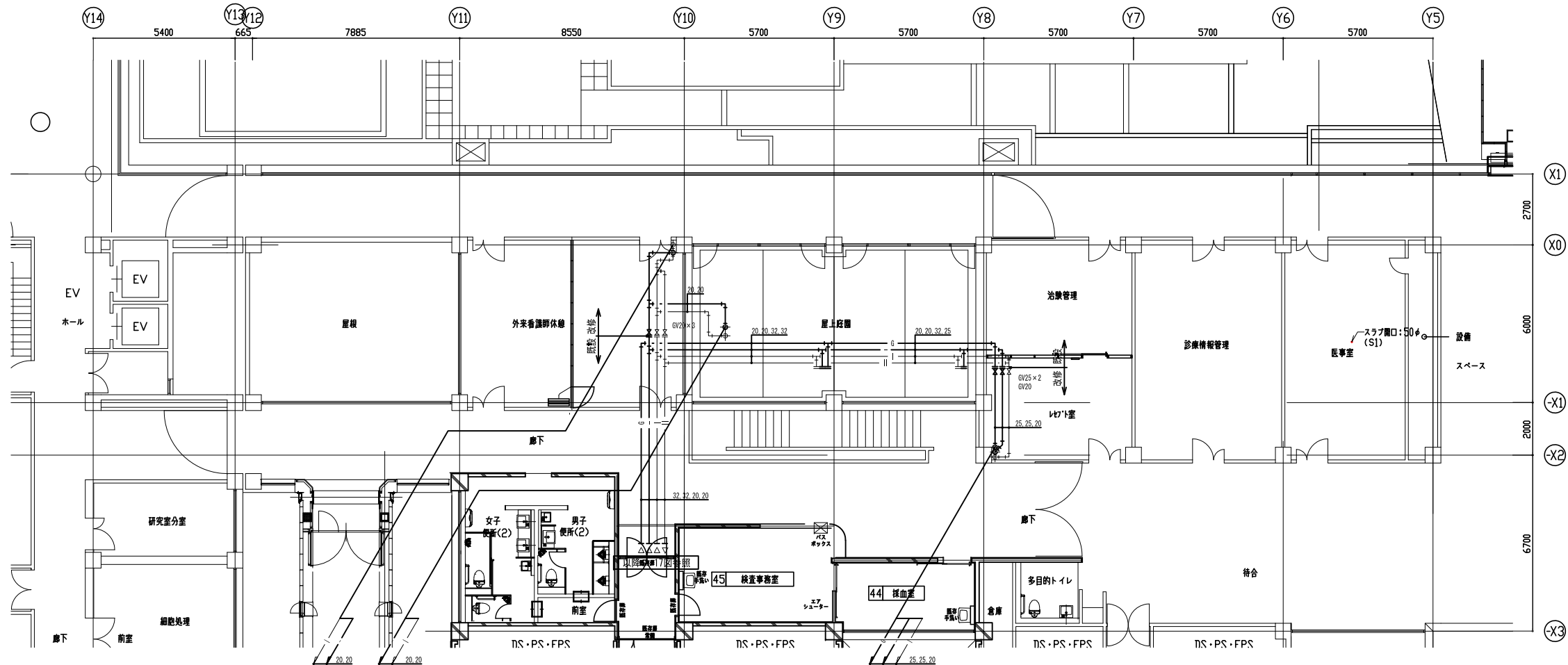
※既敷配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。




1	A棟 2階平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】	※ 特記なき限り床下配管を表す
---	------------------------	-----------------



2	A棟 2階平面図(給水・給湯・ガス)【改修】	※ 特記なき限り床下配管を表す
---	------------------------	-----------------





凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—	給水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル（P）管（Ⅷ）
—	給水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル（P）管（Ⅷ）
— 飲用水	排水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル（P）管（Ⅷ）
— 雑排水	排水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル（P）管（Ⅷ）
— I	給湯（送り）管（撤去）	給湯用銅管
— II	給湯（送り）管（撤去）	給湯用銅管
— C	汚水排水管（撤去）	排水用鉄管
—	雑排水管（撤去）	SP（白）
— RI	RI汚水排水管（撤去）	排水用鉄管
— RI	RI雑排水管（撤去）	VP
— 化	化学排水管（撤去）	VP
— 雨	雨水排水管（撤去）	SP（白）
—	屋外排水管（撤去）	VP
—	通気管（撤去）	SP（白）
— G	ガス管（撤去）	SP（白）



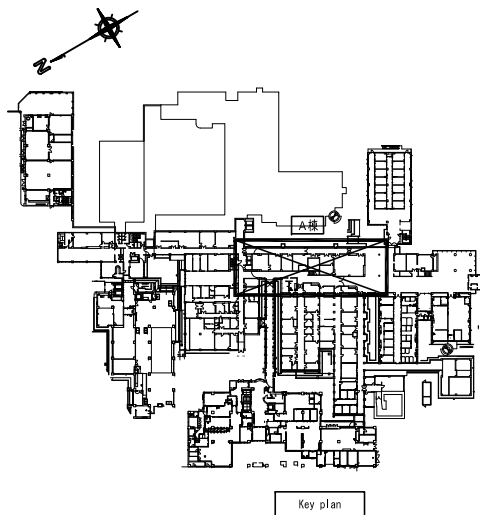
凡例 【改修図】

記号	名称	管種
— — — — —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — — — —	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(鋼管 Ⅷ)
— — — — —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — — — —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(鋼管 Ⅷ)
— — — — —	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
— — — — —	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
— — — — —	汚水排水管	耐火二層管、VP(増数・ビヤ)
— — — — —	雑排水管	耐火二層管、VP(増数・ビヤ)
— — — — —	RI汚水排水管	DVLP
— — — — —	RI雑排水管	DVLP
— — — — —	化学排水管	DVLP
— — — — —	雨水排水管	SPP(白)、VP(増数・ビヤ)
— — — — —	屋外排水管	VP
— — — — —	通気管	耐火二層管、VP(増数・ビヤ)
— — — — —	ガス管	SPP(白)
— — — — —		

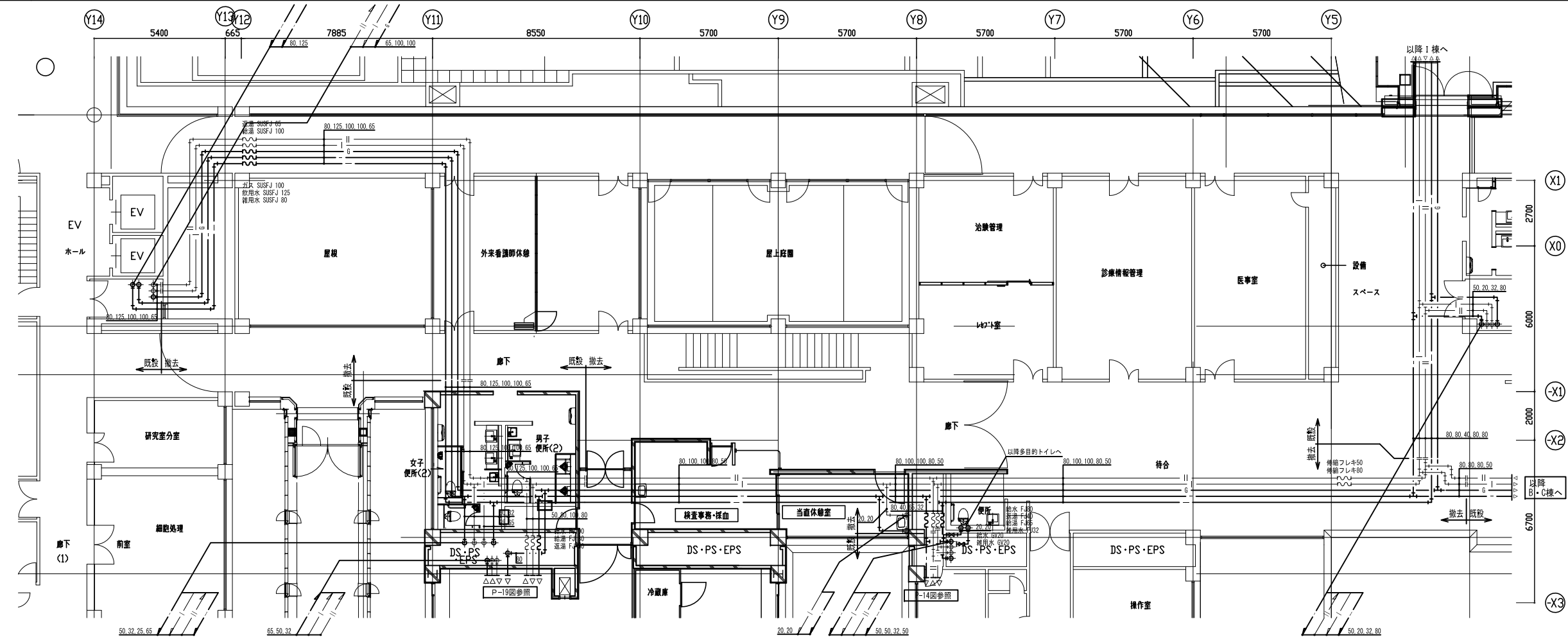

 各種既設配管を表す  
 既設接続位置を表す  
 既設 改修

 斫り復旧範囲を表す

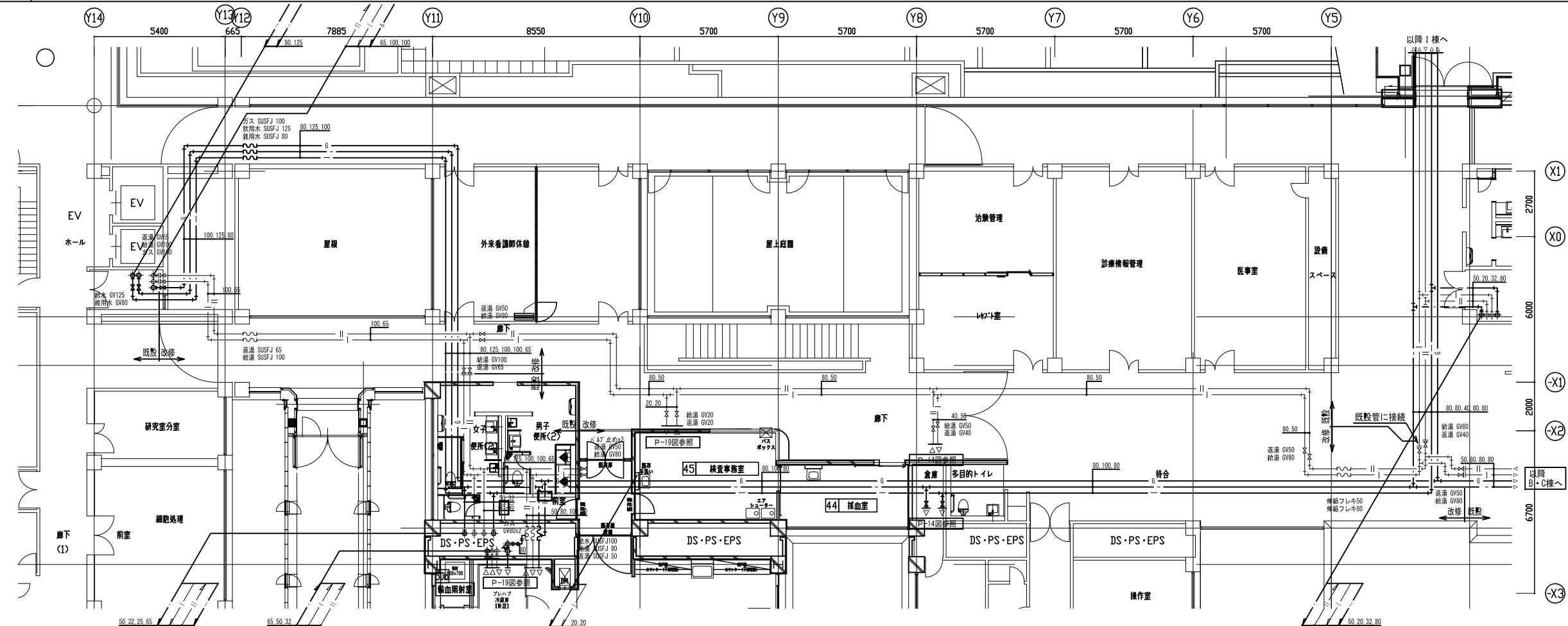
※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。






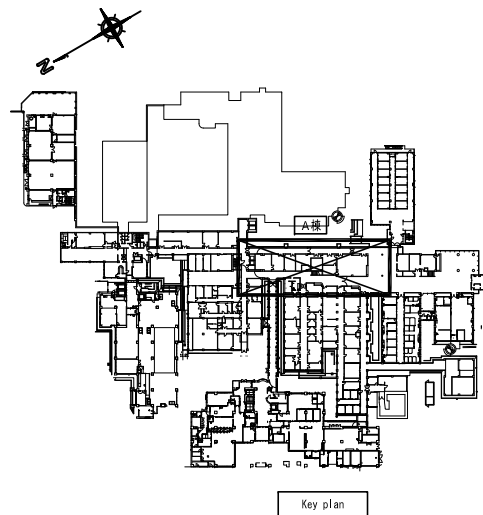
1 A棟 2階天井平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】



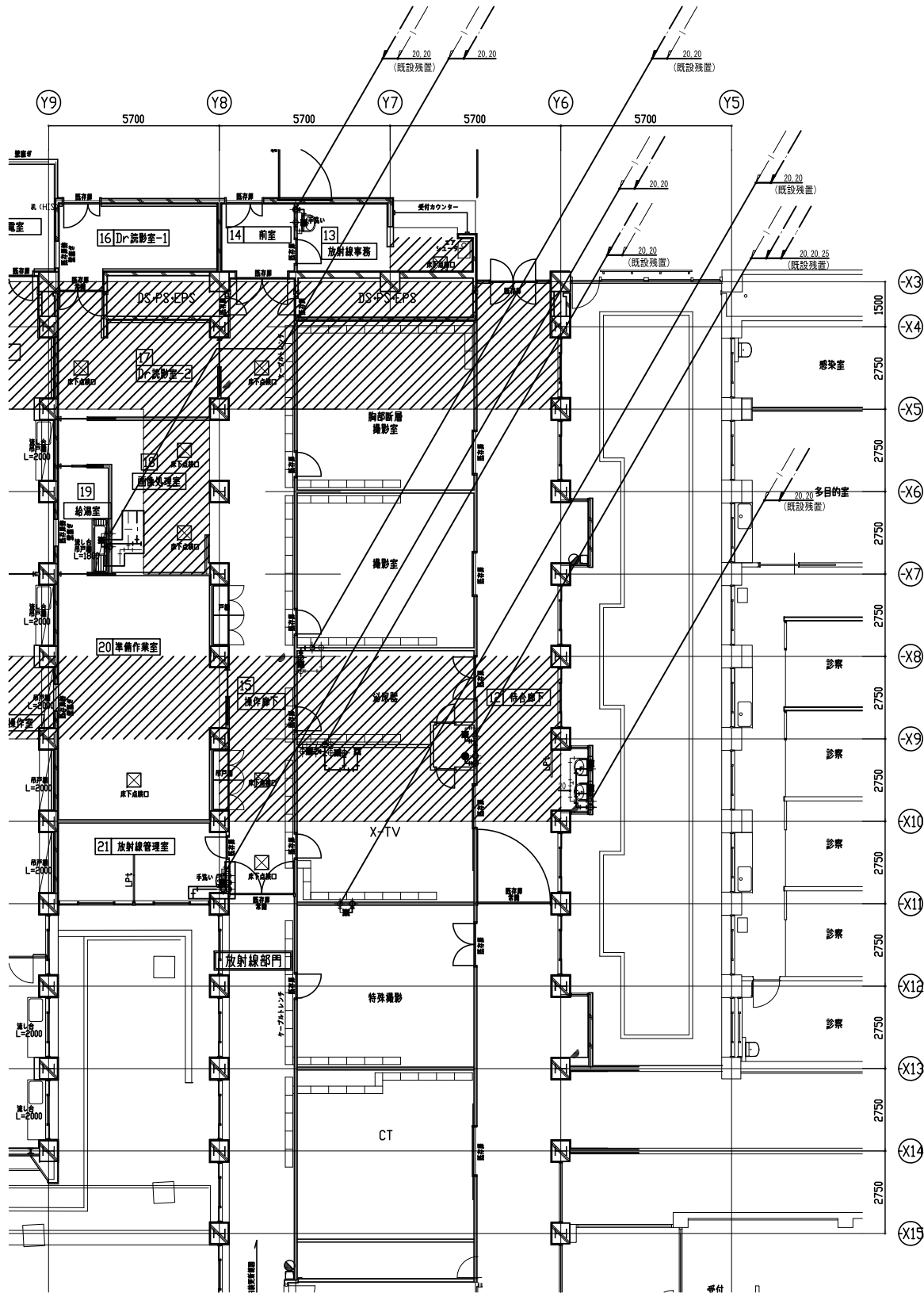
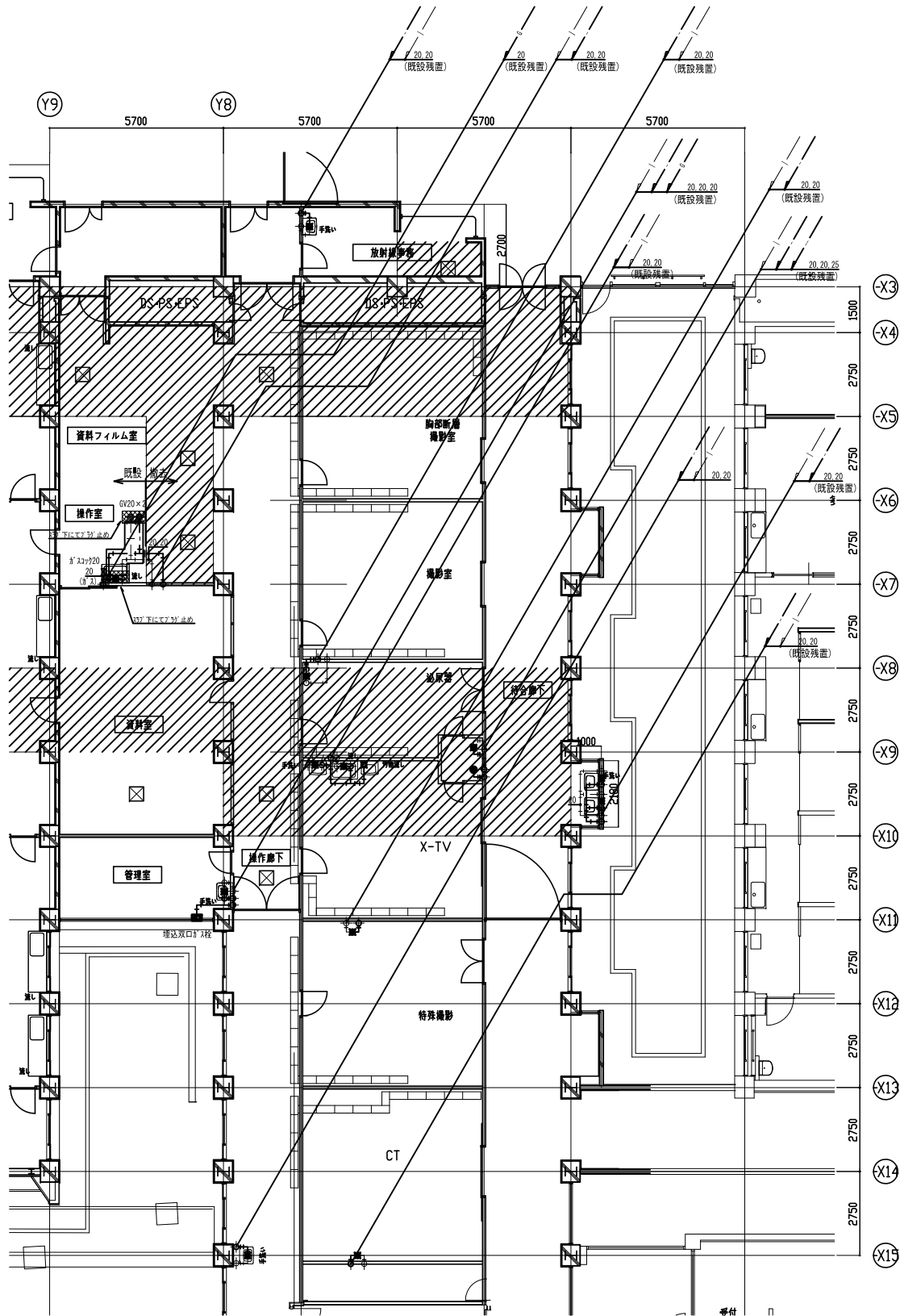
2 A棟 2階天井平面図(給水・給湯・ガス)【改修】



凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
— — —	給水(雑用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
— 飲排水 —	排水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
— 雑排水 —	排水(雑用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
— I —	給湯(送り)管(撤去)	給湯用鋼管
— II —	給湯(還り)管(撤去)	給湯用鋼管
— — — C	汚水排水管(撤去)	排水用鋼管
— — —	雑排水管(撤去)	SSP(白)
— RI — C	RI汚水排水管(撤去)	排水用鋼管
— RI —	RI雑排水管(撤去)	VP
— 化 —	化学排水管(撤去)	VP
— 雨 —	雨水排水管(撤去)	SSP(白)
— — —	屋外排水管(撤去)	VP
— — —	通気管(撤去)	SSP(白)
— G —	ガス管(撤去)	SSP(白)
各種既設配管を表す		
配管撤去位置を表す		
		
凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VR)
— — —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VR)
— I —	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
— II —	給湯(還り)管	ステンレス鋼管
— — — C	汚水排水管	新火二層管、VP(埋設・ビ)
— — —	雑排水管	新火二層管、VP(埋設・ビ)
— RI — C	RI汚水排水管	DVLP
— RI —	RI雑排水管	DVLP
— 化 —	化学排水管	DVLP
— 雨 —	雨水排水管	SSP(白)、VP(埋設・ビ)
— — —	屋外排水管	VP
— — —	通気管	新火二層管、VP(埋設・ビ)
— G —	ガス管	SSP(白)
各種既設配管を表す		
既設接続位置を表す		
		
		
取り復旧範囲を表す		
※既設配管は残置とする。 但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。		







凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VP)
—	給水(雑用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VP)
—	排水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VP)
—	雑排水管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VP)
I	給湯(送り)管(撤去)	給湯用銅管
II	給湯(還り)管(撤去)	給湯用銅管
—	汚水排水管(撤去)	排水用鉄管
—	雑排水管(撤去)	SDP(白)
RI	RI汚水排水管(撤去)	排水用鉄管
RI	RI雑排水管(撤去)	VP
—	化学排水管(撤去)	VP
—	雨水排水管(撤去)	SDP(白)
—	屋外排水管(撤去)	VP
—	通気管(撤去)	SDP(白)
G	ガス管(撤去)	SDP(白)

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す

凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VP)
—	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VP)
I	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
II	給湯(還り)管	ステンレス鋼管
—	汚水排水管	耐火二層管 VP(埋設・ビタ)
RI	RI汚水排水管	DVLP
RI	RI雑排水管	DVLP
—	化学排水管	DVLP
—	雨水排水管	SDP(白) VP(埋設・ビタ)
—	屋外排水管	VP
—	通気管	耐火二層管 VP(埋設・ビタ)
G	ガス管	SDP(白)

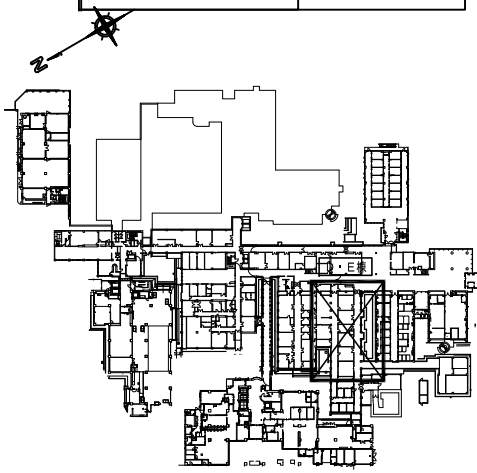
各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す

既設 改修

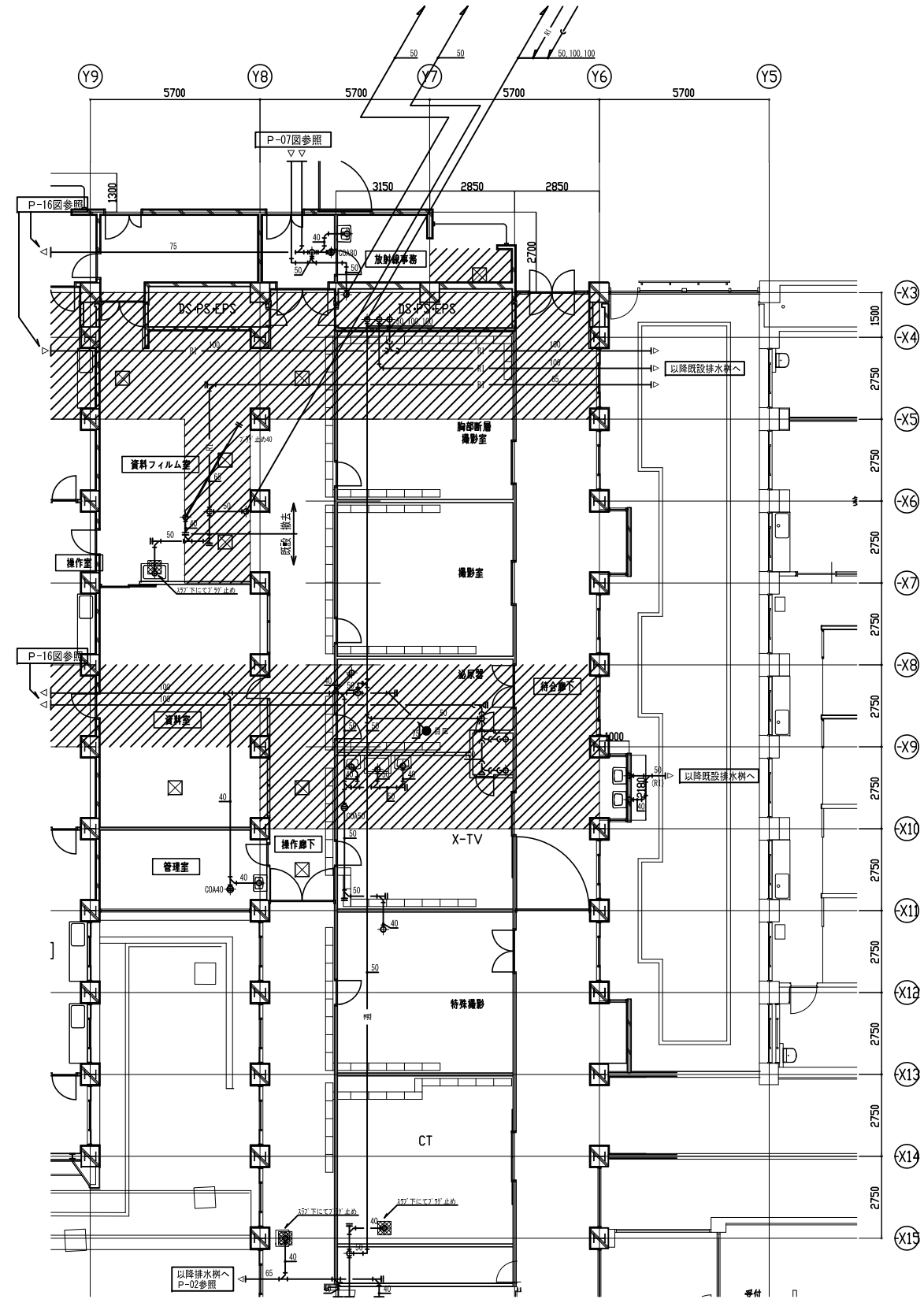
新設復旧範囲を表す

ビタ範囲を表す

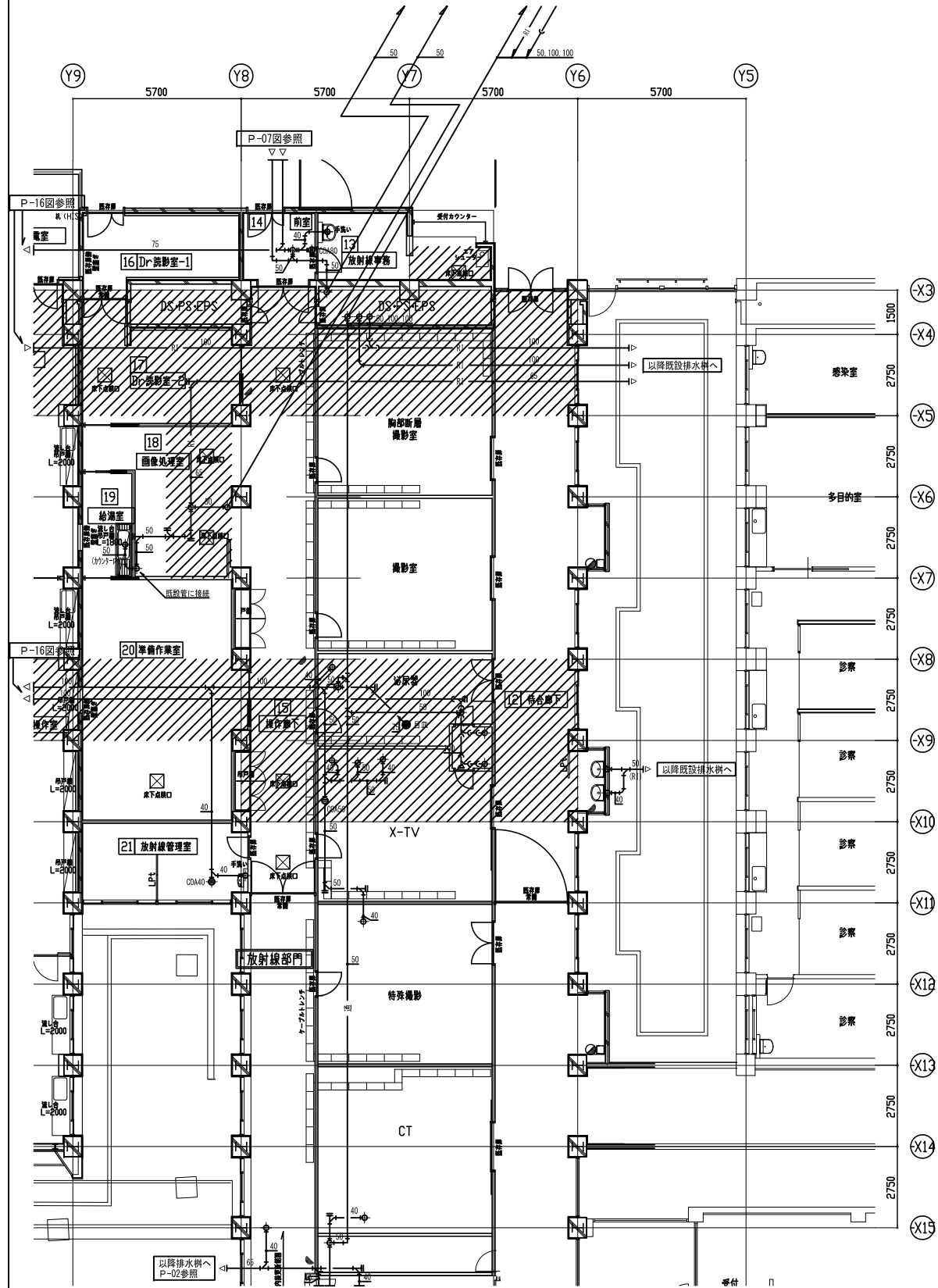
※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。



1 D・E棟 1階平面図(排水・通気)【撤去】



2 D・E棟 1階平面図(排水・通気)【改修】



凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
—	給水(雑用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
—	排水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
—	雑排水管(撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
I	給湯(送り)管(撤去)	給湯用銅管
II	給湯(遠り)管(撤去)	給湯用銅管
—	汚水排水管(撤去)	排水用鉄管
—	雑排水管(撤去)	SPP(白)
RI	RI汚水排水管(撤去)	排水用鉄管
RI	RI雑排水管(撤去)	VP
—	化学排水管(撤去)	VP
—	雨水排水管(撤去)	SPP(白)
—	屋外排水管(撤去)	SPP(白)
—	通気管(撤去)	SPP(白)
G	ガス管(撤去)	SPP(白)

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す

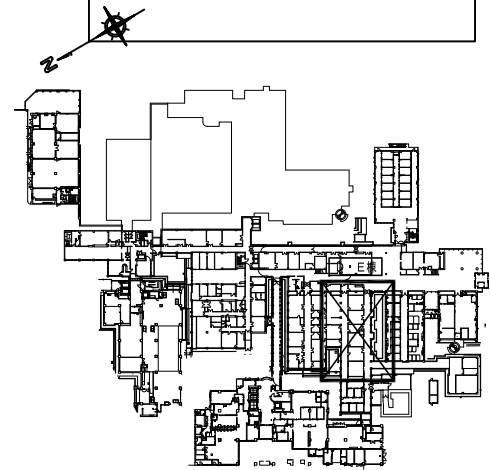
凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(V)
—	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(V)
I	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
II	給湯(遠り)管	ステンレス鋼管
—	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビ)
—	雑排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビ)
RI	RI汚水排水管	DVLP
RI	RI雑排水管	DVLP
—	化学排水管	DVLP
—	雨水排水管	SPP(白)、VP(埋設・ビ)
—	屋外排水管	VP
—	通気管	耐火二層管、VP(埋設・ビ)
G	ガス管	SPP(白)

各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す

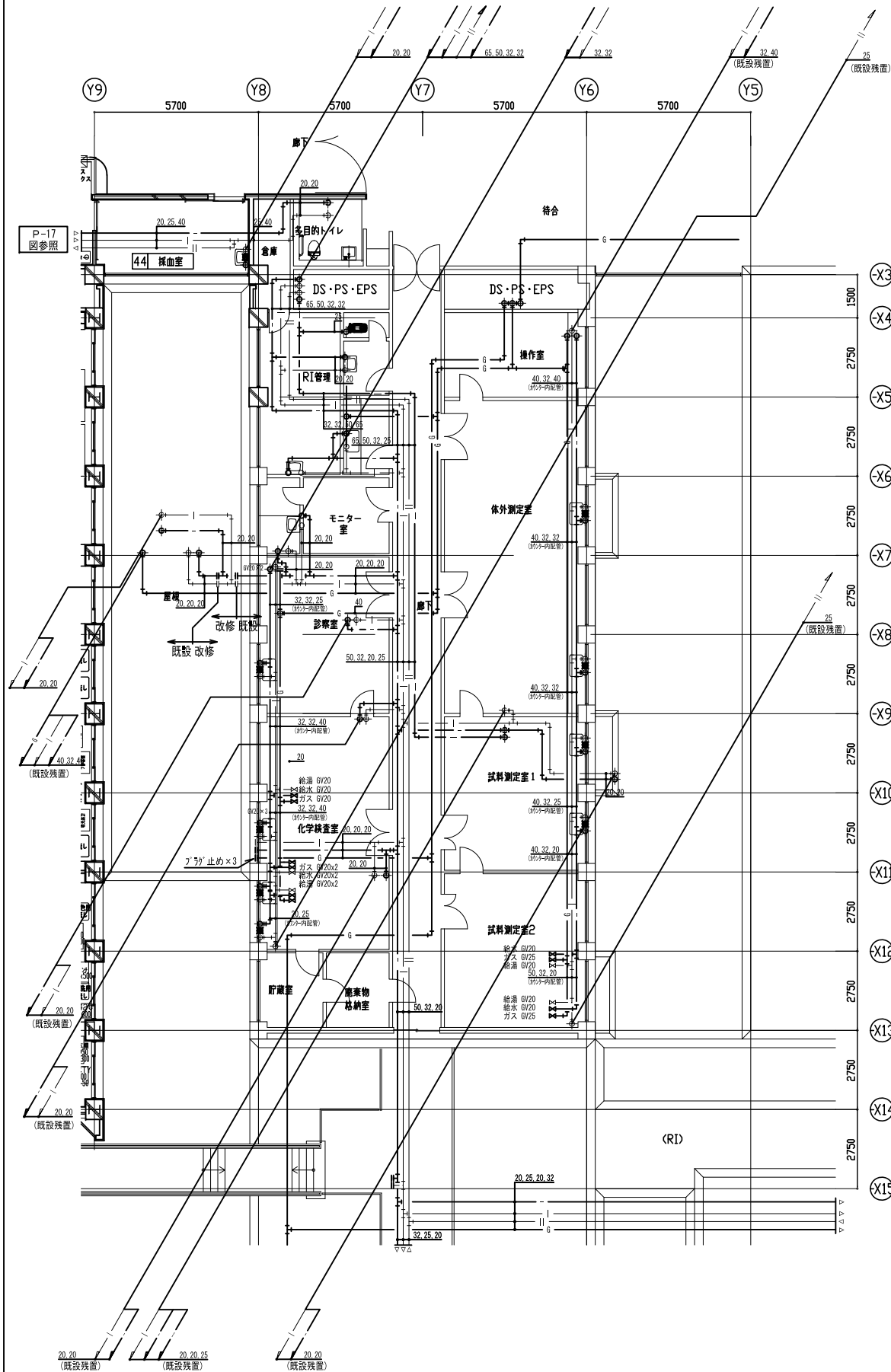
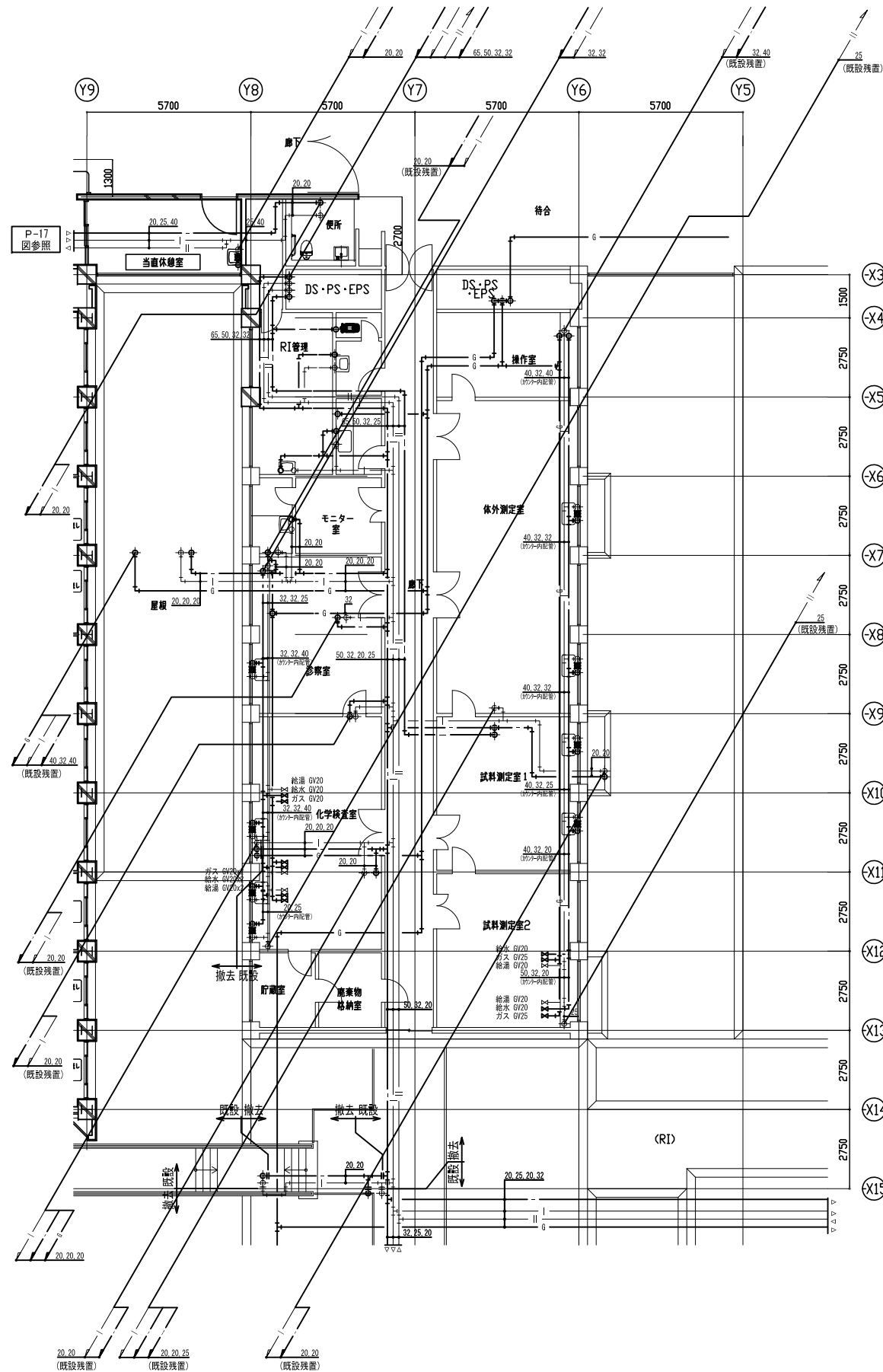
既設 改修

斜り復旧範囲を表す  
ビ>0範囲を表す

※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。



Key plan



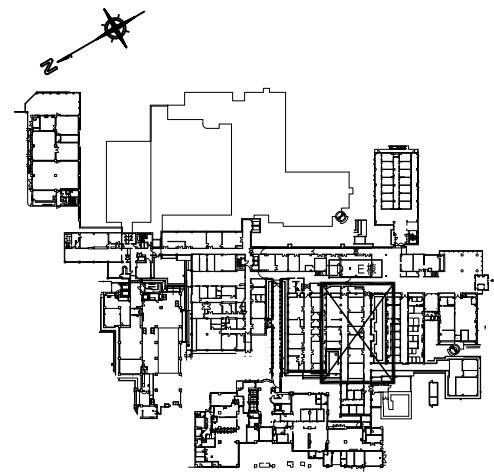
凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給湯(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給湯(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給湯(送り)管 (撤去)	給湯用銅管
—	給湯(送り)管 (撤去)	給湯用銅管
—	汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
—	雑排水管 (撤去)	SPP (白)
—	RI汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
—	RI雑排水管 (撤去)	VP
—	化学排水管 (撤去)	VP
—	雨水排水管 (撤去)	SPP (白)
—	屋外排水管 (撤去)	VP
—	通気管 (撤去)	SPP (白)
—	ガス管 (撤去)	SPP (白)

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す  
既設 撤去

凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッ)
—	雑排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッ)
—	RI汚水排水管	DVLP
—	RI雑排水管	DVLP
—	化学排水管	DVLP
—	雨水排水管	SPP (白)、VP(埋設・ビッ)
—	屋外排水管	VP
—	通気管	耐火二層管、VP(埋設・ビッ)
—	ガス管	SPP (白)

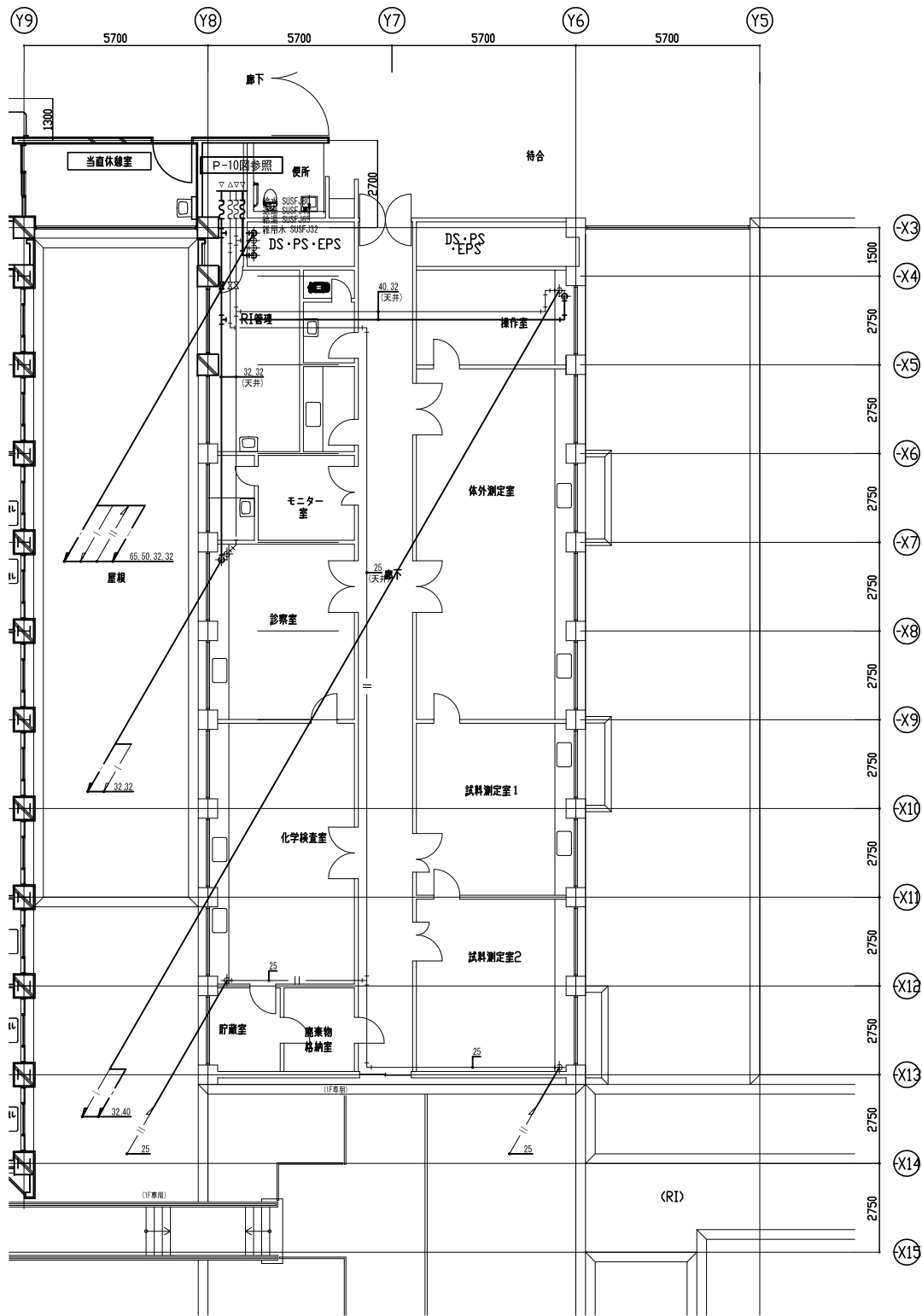
各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す  
既設 改修  
新り復旧範囲を表す

※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。

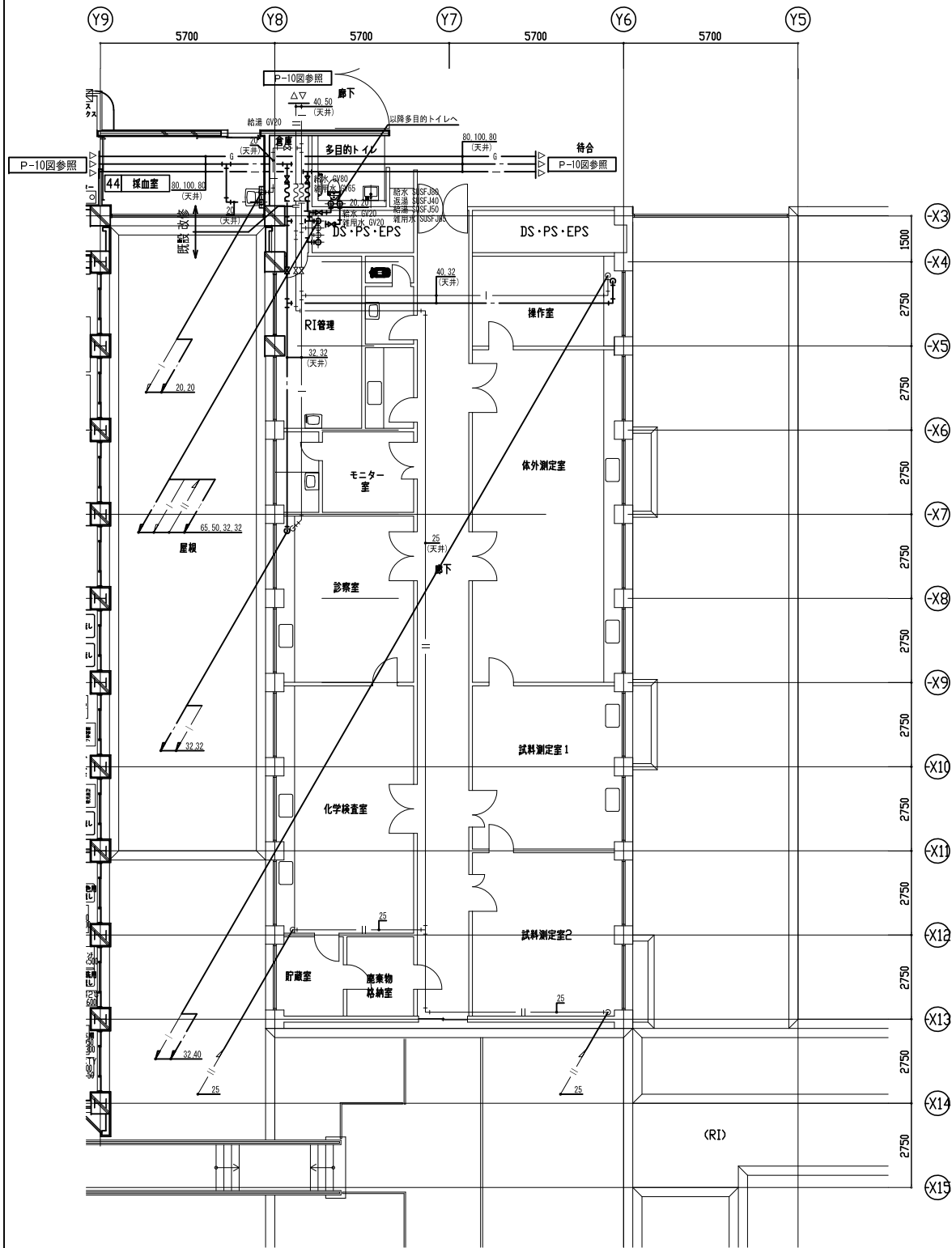




1 D・E棟 2階天井平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】



2 D・E棟 2階天井平面図(給水・給湯・ガス)【改修】



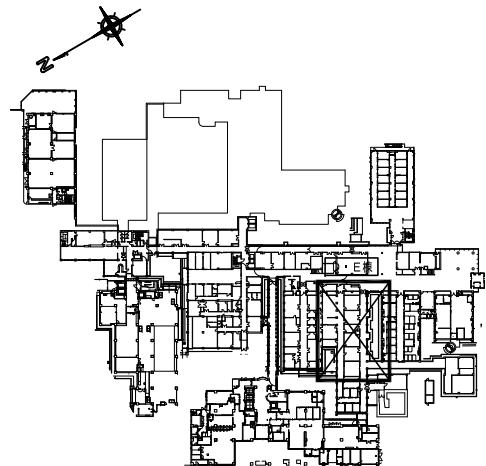
凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給湯(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給湯(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VR)
I	給湯(送り)管 (撤去)	給湯用銅管
II	給湯(送り)管 (撤去)	給湯用銅管
—	汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
—	雑排水管 (撤去)	SPP (白)
RI	RI汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
RI	RI雑排水管 (撤去)	VP
化	化学排水管 (撤去)	VP
雨	雨水排水管 (撤去)	SPP (白)
—	屋外排水管 (撤去)	VP
—	通気管 (撤去)	SPP (白)
G	ガス管 (撤去)	SPP (白)

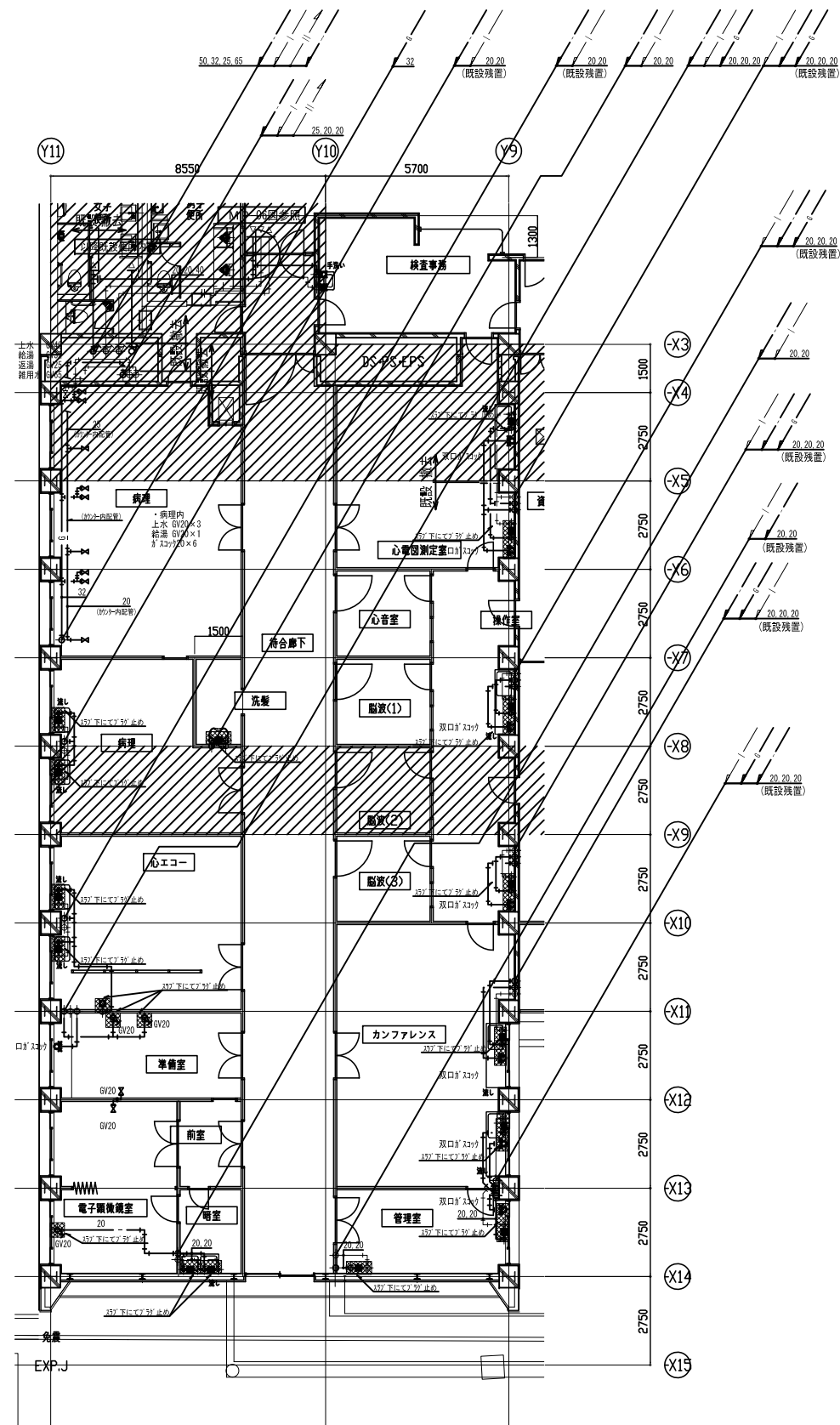
各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す  
既設 撤去

凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VR)
—	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VR)
I	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
II	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
—	雑排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
RI	RI汚水排水管	DVLP
RI	RI雑排水管	DVLP
化	化学排水管	DVLP
雨	雨水排水管	SPP (白)、VP(埋設・ビッド)
—	屋外排水管	VP
—	通気管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
G	ガス管	SPP (白)

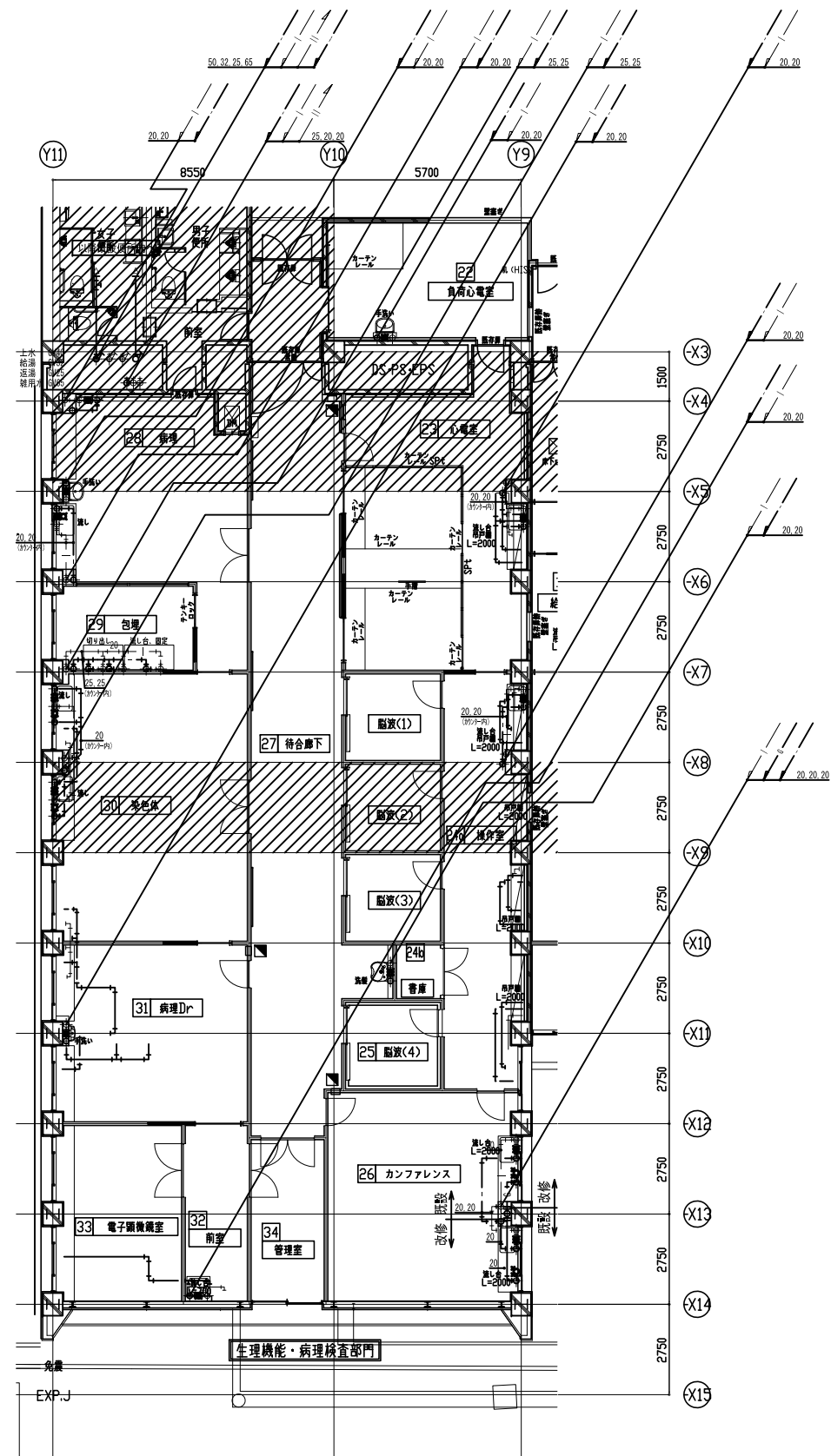
各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す  
既設 改修  
新設復旧範囲を表す

※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。





※床下既設埋設配管は残置とする



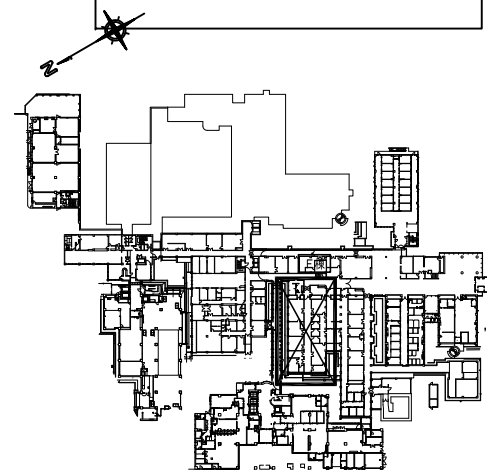
※床下既設埋設配管は残置とする

凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水) 管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
—	給水(雑用水) 管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
—	排水(排水) 管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
—	給湯(給湯) 管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(V)
—	給湯(送水) 管 (撤去)	給湯用鋼管
—	給湯(送水) 管 (撤去)	給湯用鋼管
—	汚水排水 管 (撤去)	排水用鋼管
—	雑排水 管 (撤去)	SSP (白)
—	R1汚水排水 管 (撤去)	排水用鋼管
—	R1雑排水 管 (撤去)	VP
—	化学排水 管 (撤去)	VP
—	雨水排水 管 (撤去)	SSP (白)
—	屋外排水 管 (撤去)	VP
—	通気管 (撤去)	SSP (白)
—	ガス 管 (撤去)	SSP (白)

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す  
既設 撤去

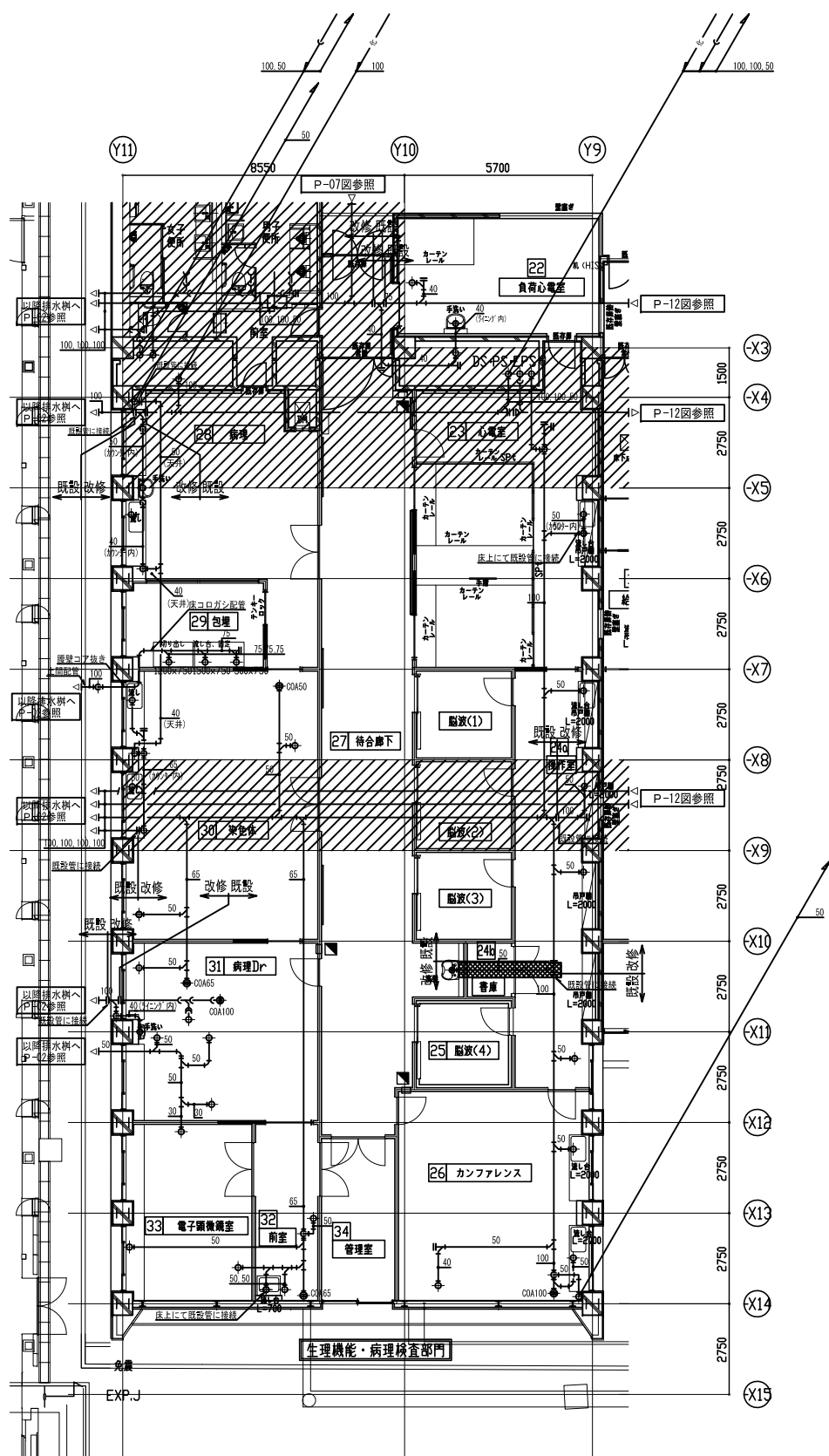
凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水) 管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(飲用水) 管65A以下	硬質塩化ビニル管(V)
—	給水(雑用水) 管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(雑用水) 管65A以下	硬質塩化ビニル管(V)
—	給湯(送水) 管	ステンレス鋼管
—	給湯(送水) 管	ステンレス鋼管
—	汚水排水 管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
—	雑排水 管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
—	R1汚水排水 管	DVLP
—	R1雑排水 管	DVLP
—	化学排水 管	DVLP
—	雨水排水 管	SSP (白)、VP(埋設・ビッド)
—	屋外排水 管	VP
—	通気管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
—	ガス 管	SSP (白)

各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す  
既設 改修  
※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。



Key plan







※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。



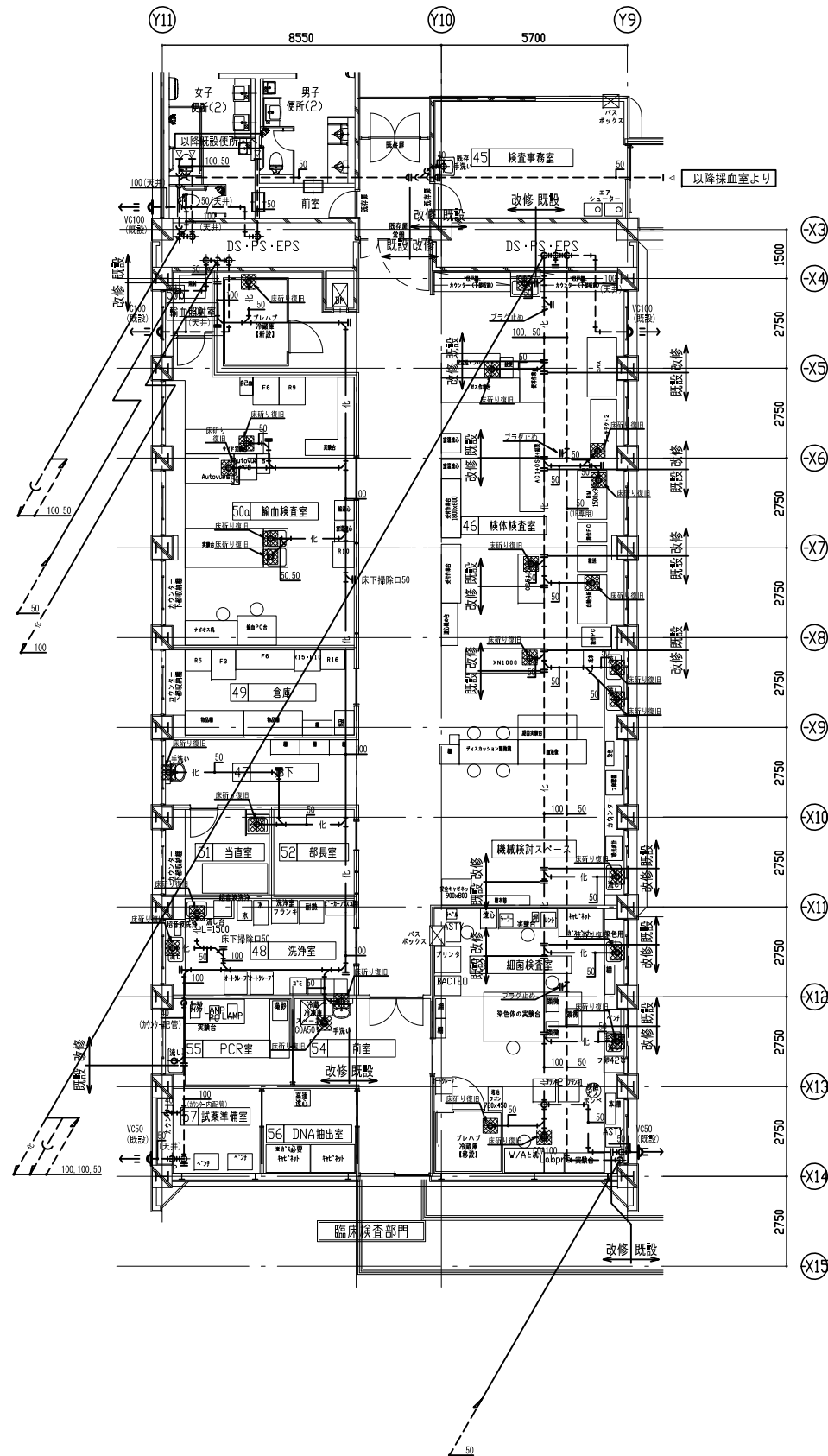


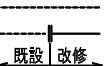
各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す

	各種既設配管を表す 既設接続位置を表す
	斫り復旧範囲を表す

\_\_\_\_\_

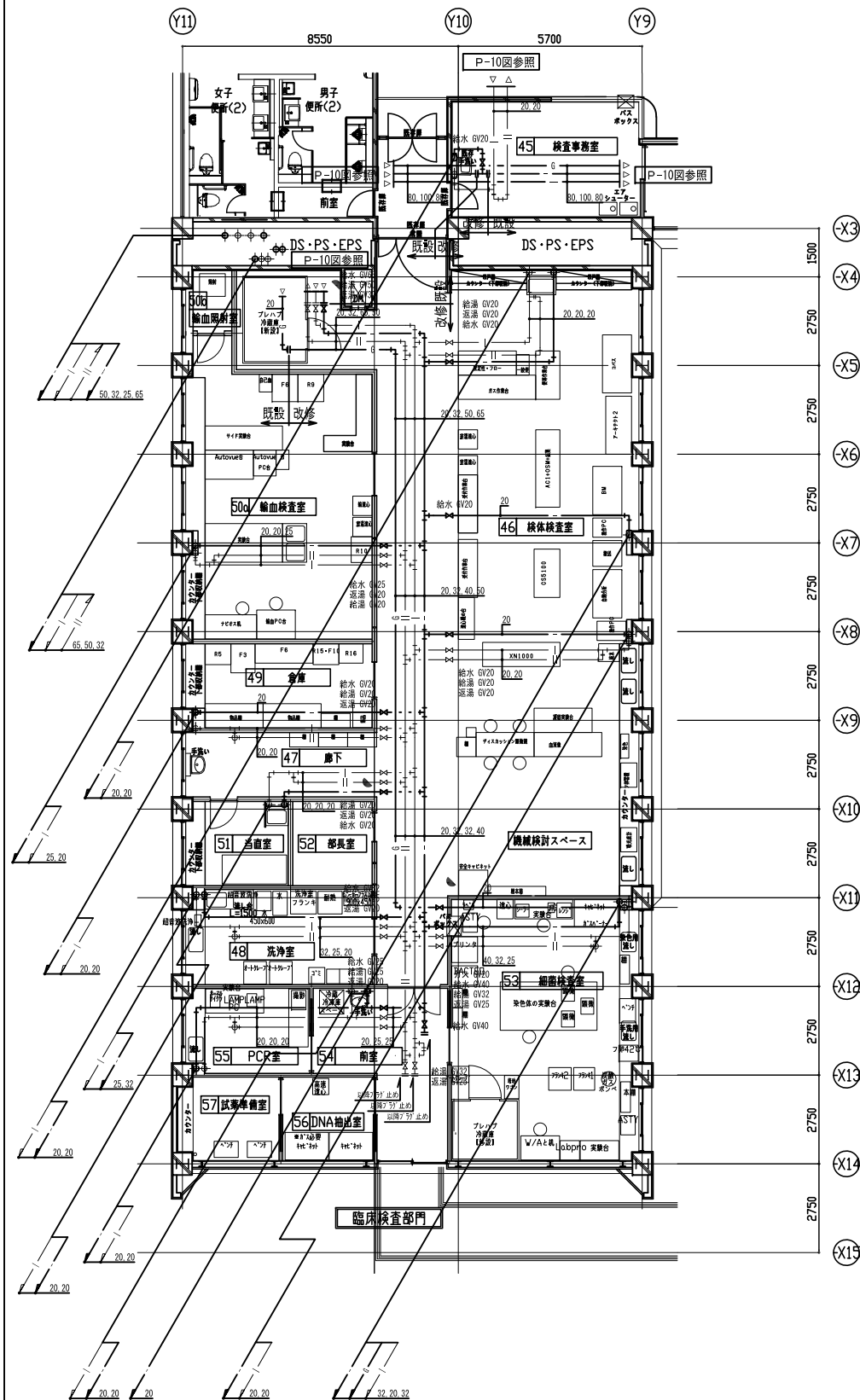




	<p>各種既設配管を表す</p> <p>既設接縁位置を表す</p> <p>既設</p> <p>改修</p> <p>斫り復旧範囲を表す</p>	
<p>※既設配管は残置とする。</p> <p>但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。</p>		







各種既設配管を表す

既設接続位置を表す

既設 改修

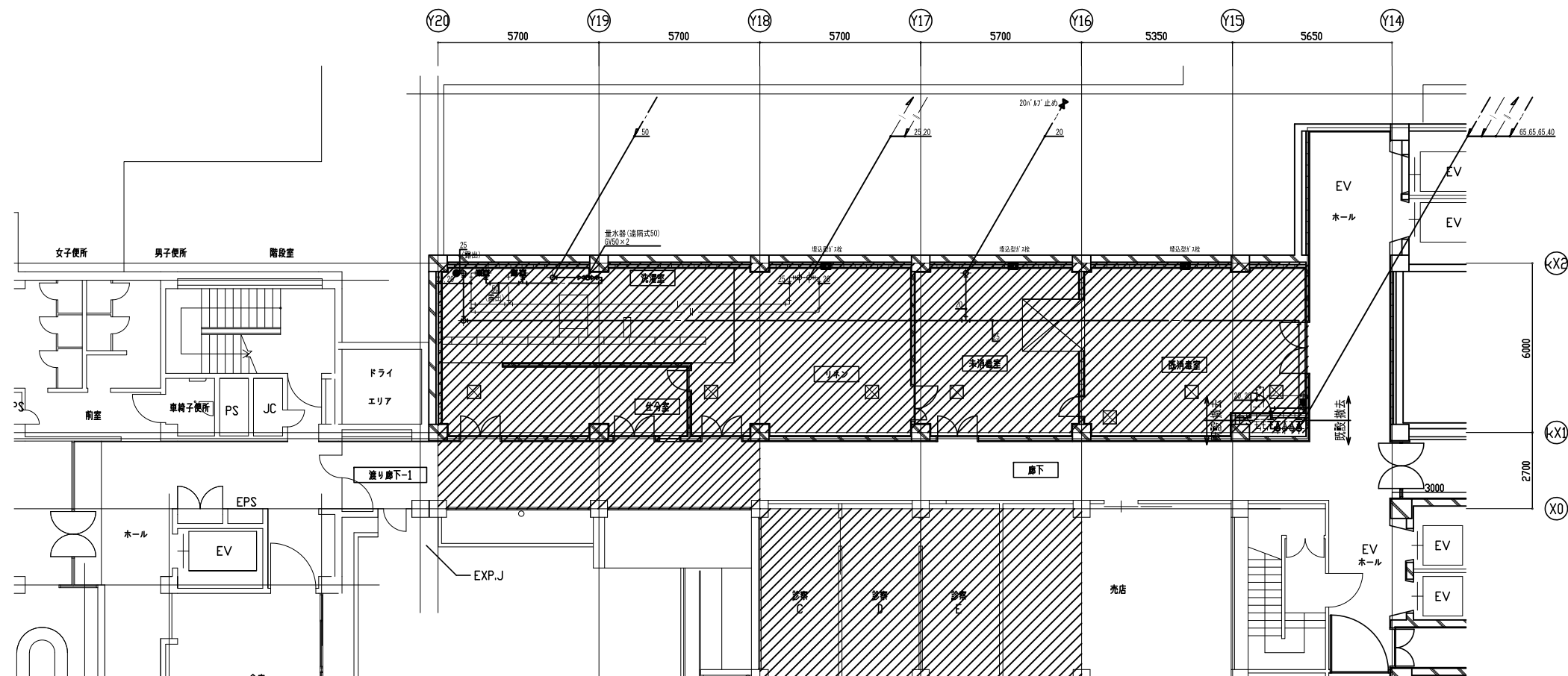
新り復旧範囲を表す

びつ範囲を表す

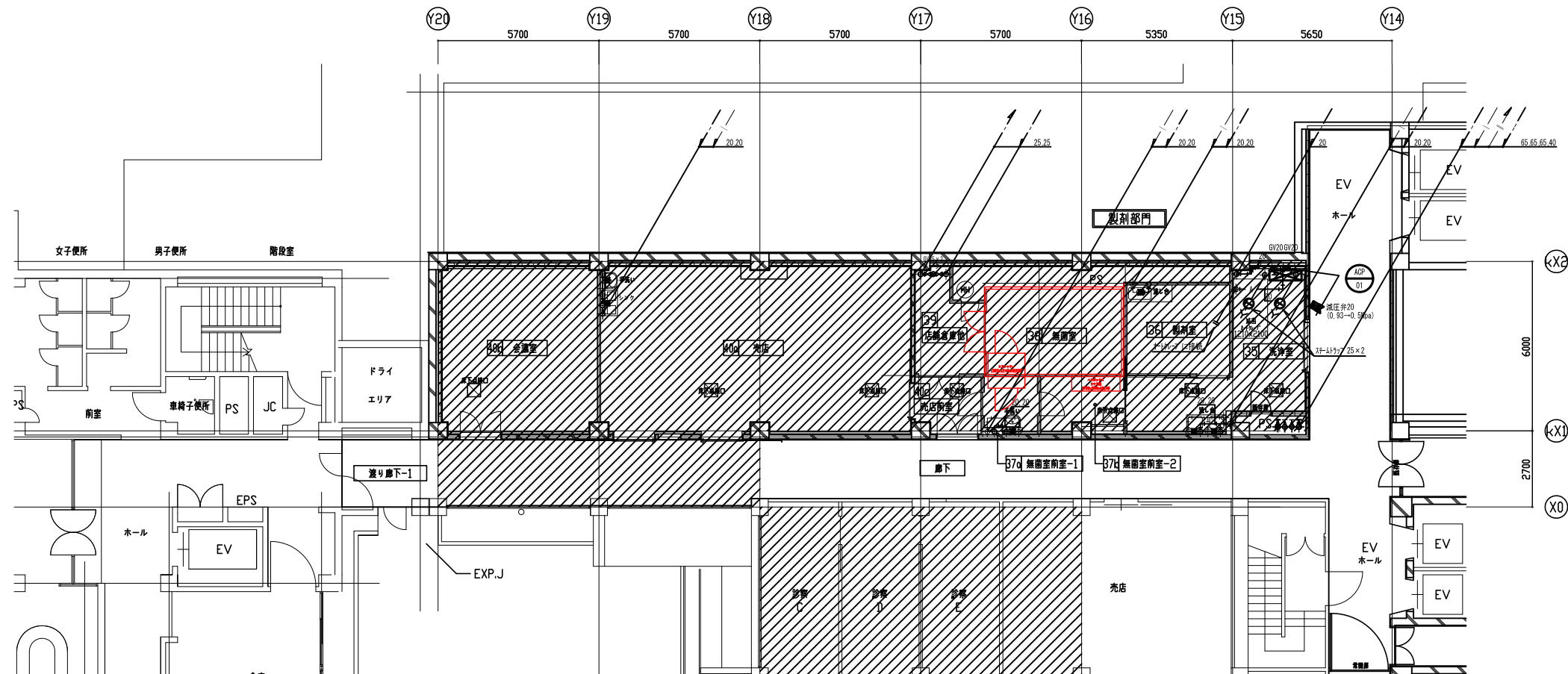
※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。



1	K棟 1階平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】
---	------------------------



2	K棟 1階平面図(給水・給湯・ガス)【改修】
---	------------------------





凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
——	給水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（鋼管）
——	給水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（鋼管）
——	排水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（鋼管）
—— 雑排水 ——	排水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（鋼管）
—— I ——	給湯（送り）管（撤去）	給湯用鋼管
—— II ——	給湯（送り）管（撤去）	給湯用鋼管
—— C ——	汚水排水管（撤去）	排水用鋼鉄管
——	雑排水管（撤去）	SPP（白）
RI —— C ——	RI汚水排水管（撤去）	排水用鋼鉄管
—— RI ——	RI雑排水管（撤去）	IP
—— 化 ——	化学排水管（撤去）	IP
—— 雨 ——	雨水排水管（撤去）	SPP（白）
——	屋外排水管（撤去）	IP
——	通気管（撤去）	SPP（白）
—— G ——	ガス管（撤去）	SPP（白）

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す

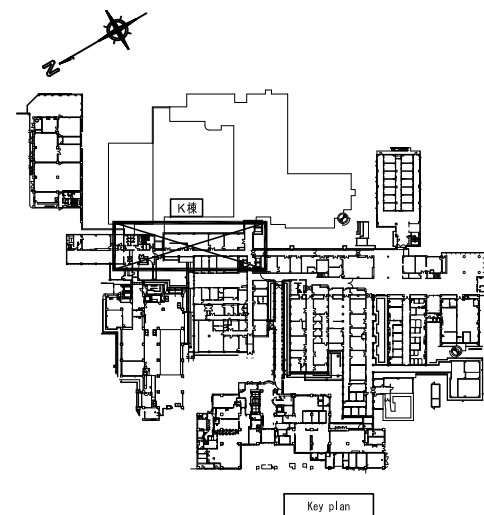
凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—— —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—— —	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(鋼管)
—— —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—— —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(鋼管)
—— I ——	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—— II ——	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—— C ——	汚水排水管	耐火二層管、VP(複数・ビナ)
—— —	雑排水管	耐火二層管、VP(複数・ビナ)
—— RI —— C ——	RI汚水排水管	DVLP
—— RI ——	RI雑排水管	DVLP
—— 化 ——	化学排水管	DVLP
—— 雨 ——	雨水排水管	SGP(白)、VP(複数・ビナ)
—— —	屋外排水管	VP
—— —	通気管	耐火二層管、VP(複数・ビナ)
—— G ——	ガス管	SGP(白)

各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す

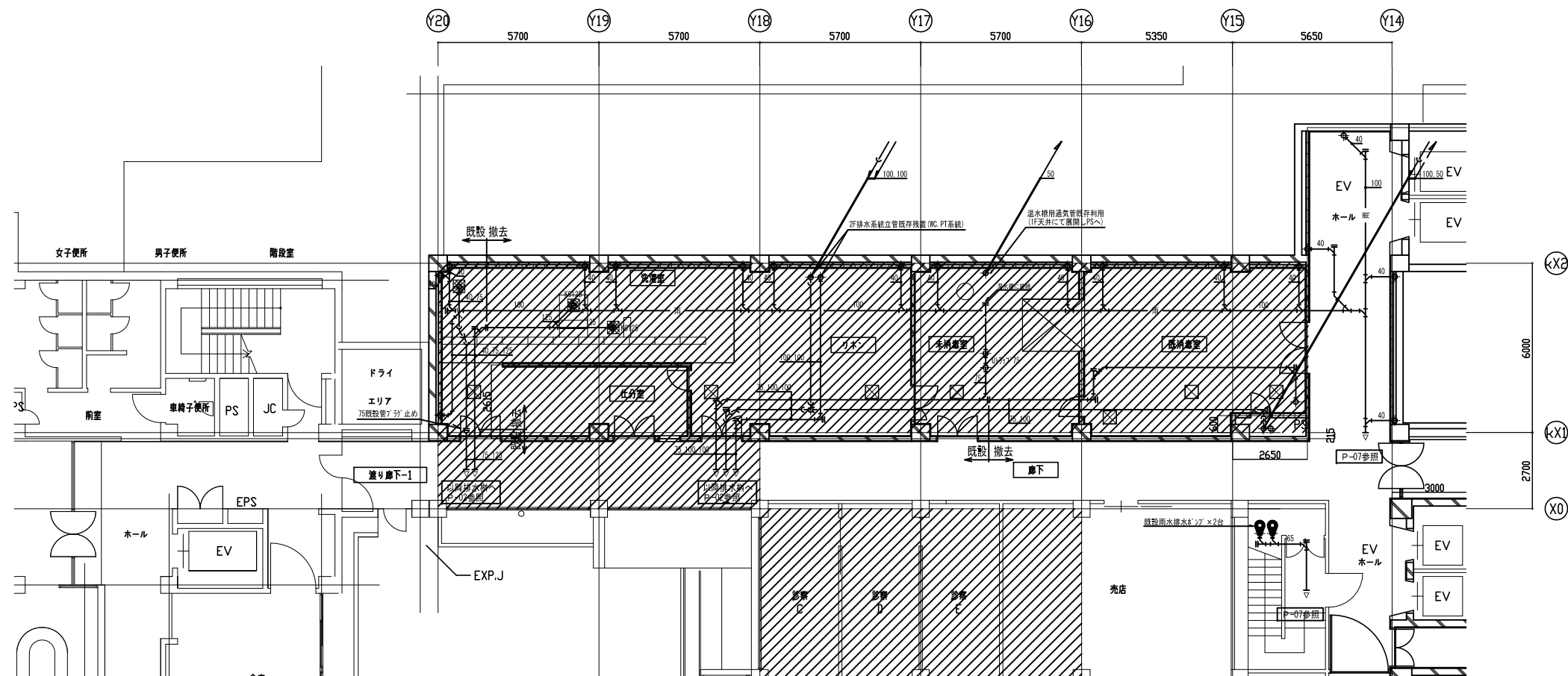
 研り復旧範囲を表す  
 ビット範囲を表す

※既設配管は残置とする。

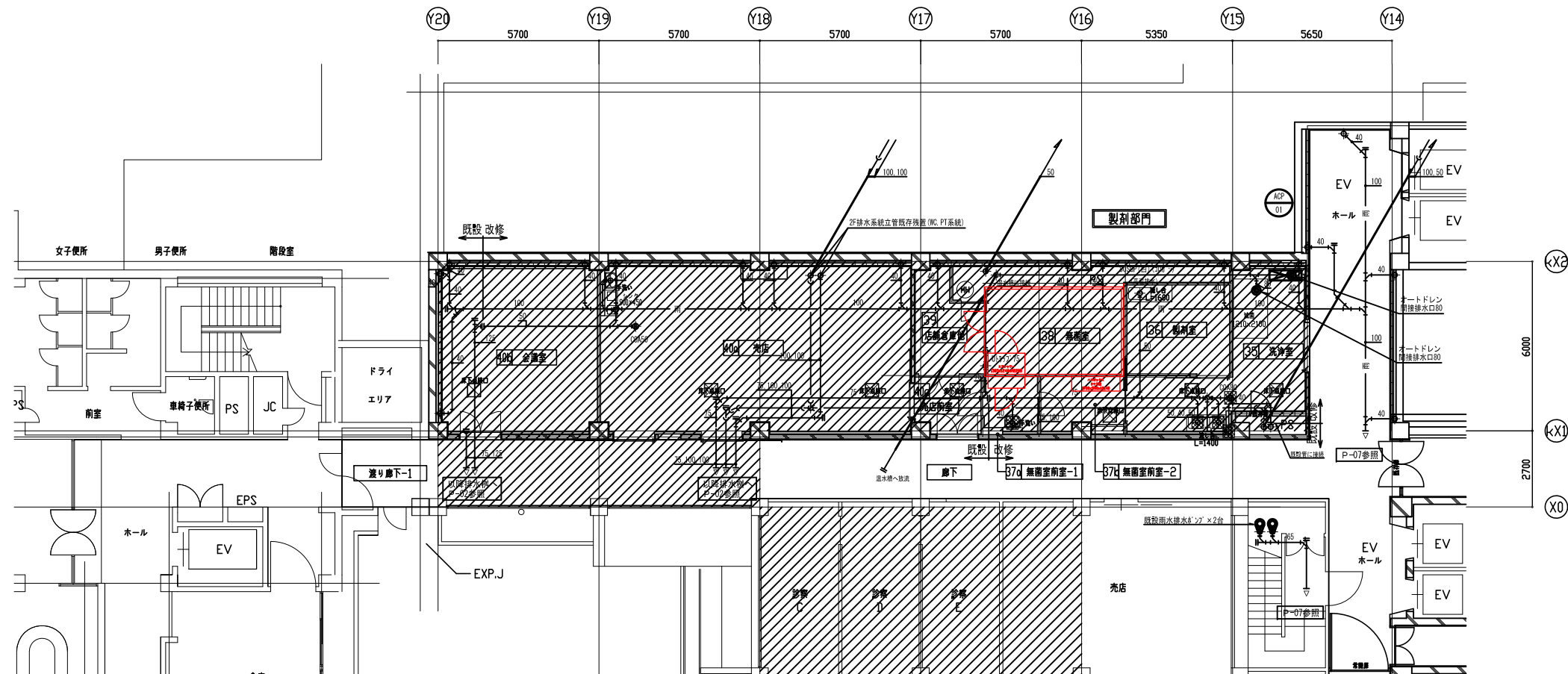
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。







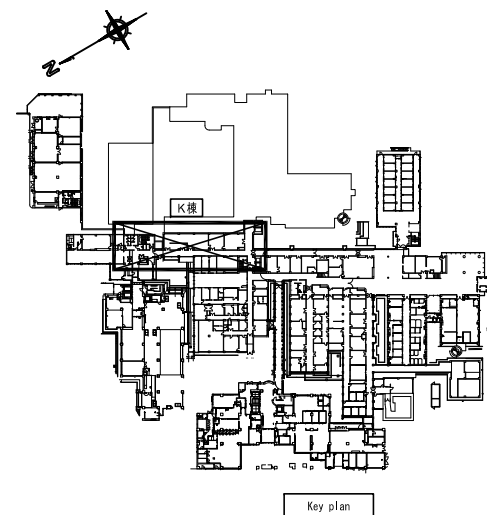
1	K棟 1階平面図(排水・通気)【撤去】
---	---------------------



2	K棟 1階平面図(排水・通気)【改修】
---	---------------------

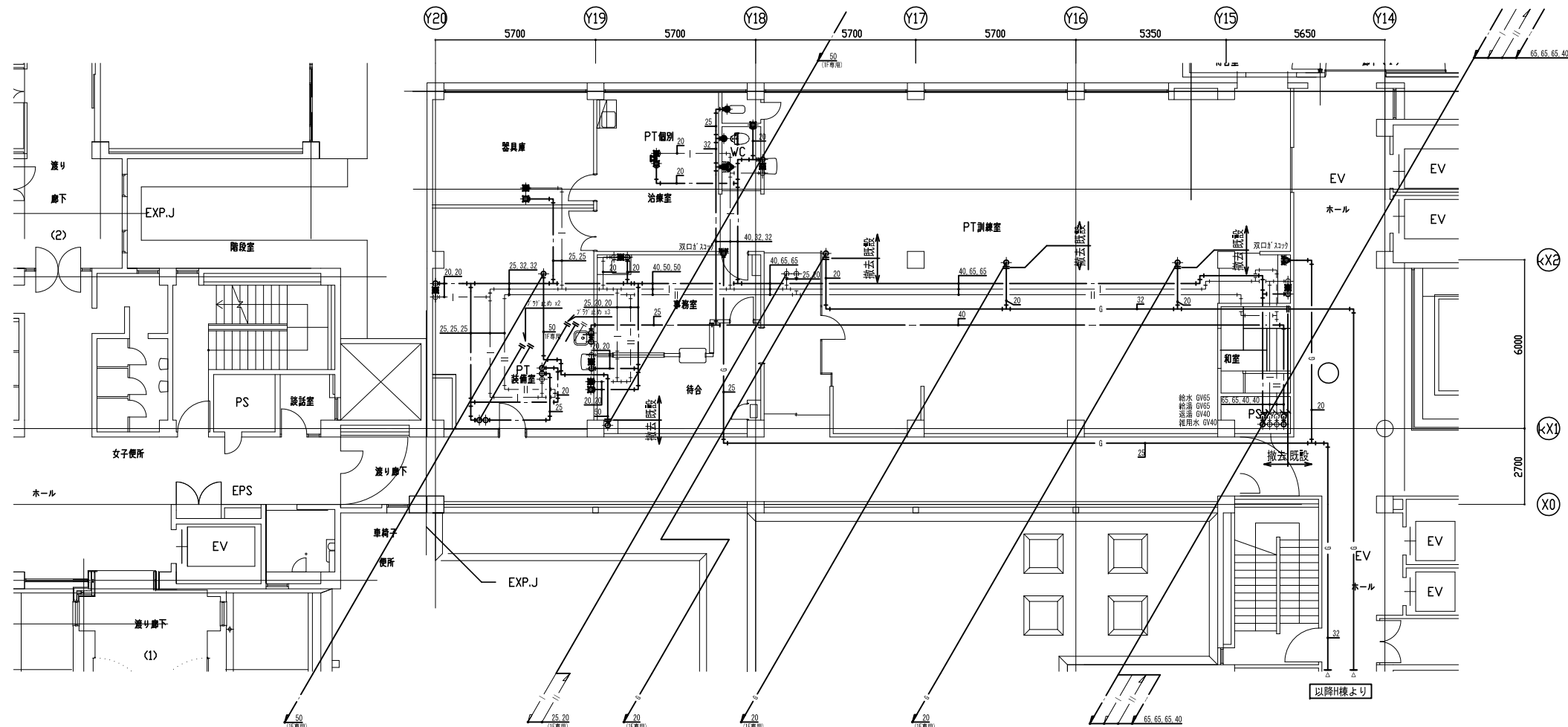


凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
— — —	給水（飲用水）管	硬質塩化ビニル管（V6）
— — —	給水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（V6）
— — —	排水（飲用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（V6）
— — —	雑排水	硬質塩化ビニル管（V6）
— — —	排水（雑用水）管（撤去）	硬質塩化ビニル管（V6）
— — — I — — —	給湯（送り）管（撤去）	給湯用銅管
— — — II — — —	給湯（還り）管（撤去）	給湯用銅管
— — — C — — —	汚水排水管（撤去）	排水用鉄管
— — — RI — — —	RI汚水排水管（撤去）	排水用鉄管
— — — RI — — —	RI雑排水管（撤去）	VP
— — — 化 — — —	化学排水管（撤去）	VP
— — — 雨 — — —	雨水排水管	SP（白）
— — —	屋外排水管（撤去）	VP
— — —	通気管（撤去）	SP（白）
— — — G — — —	ガス管（撤去）	SP（白）
各種既設配管を表す		
配管撤去位置を表す		
		
凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
— — —	給水（飲用水）管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水（飲用水）管65A以下	硬質塩化ビニル管（V6）
— — —	給水（雑用水）管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水（雑用水）管65A以下	硬質塩化ビニル管（V6）
— — — I — — —	給湯（送り）管	ステンレス鋼管
— — — II — — —	給湯（還り）管	ステンレス鋼管
— — — C — — —	汚水排水管	耐火二層管、VP（埋設・ビタ）
— — — RI — — —	RI汚水排水管	DVLP
— — — RI — — —	RI雑排水管	DVLP
— — — 化 — — —	化学排水管	DVLP
— — — 雨 — — —	雨水排水管	SP（白）、VP（埋設・ビタ）
— — —	屋外排水管	VP
— — —	通気管	耐火二層管、VP（埋設・ビタ）
— — — G — — —	ガス管	SP（白）
各種既設配管を表す		
既設接続位置を表す		
		
		
		
既設配管は廃置とする。 但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部ブラグ止めとする。		

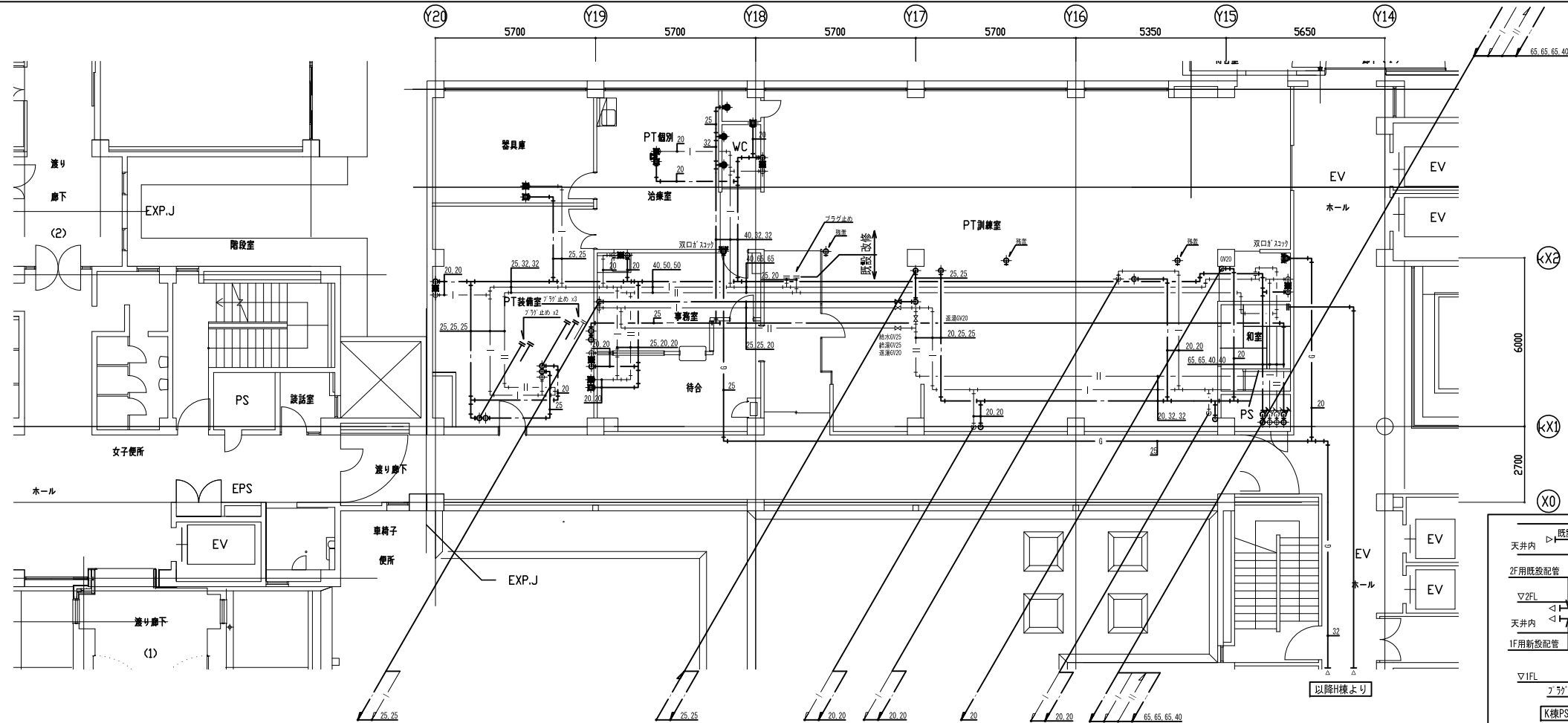




1 K棟 2階平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】



2 K棟 2階平面図(給水・給湯・ガス)【改修】



凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
—	給水(雑用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
—	排水(飲用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
—	排水(雑用水)管(撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
—	給湯(送り)管(撤去)	給湯用銅管
—	給湯(送り)管(撤去)	給湯用銅管
—	汚水排水管(撤去)	排水用鉄管
—	雑排水管(撤去)	SP(白)
—	RI汚水排水管(撤去)	排水用鉄管
—	RI雑排水管(撤去)	VP
—	化学排水管(撤去)	VP
—	雨水排水管(撤去)	SP(白)
—	屋外排水管(撤去)	VP
—	通気管(撤去)	SP(白)
—	ガス管(撤去)	SP(白)

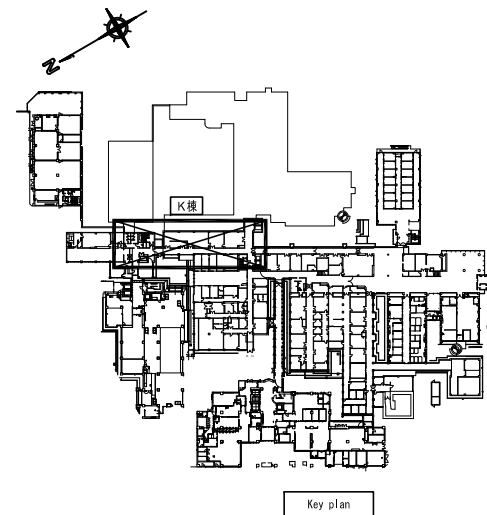
各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す

凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
—	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
—	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
—	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
—	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
—	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビナ)
—	雑排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビナ)
—	RI汚水排水管	DVLP
—	RI雑排水管	DVLP
—	化学排水管	DVLP
—	雨水排水管	SP(白)、VP(埋設・ビナ)
—	屋外排水管	VP
—	通気管	耐火二層管、VP(埋設・ビナ)
—	ガス管	SP(白)

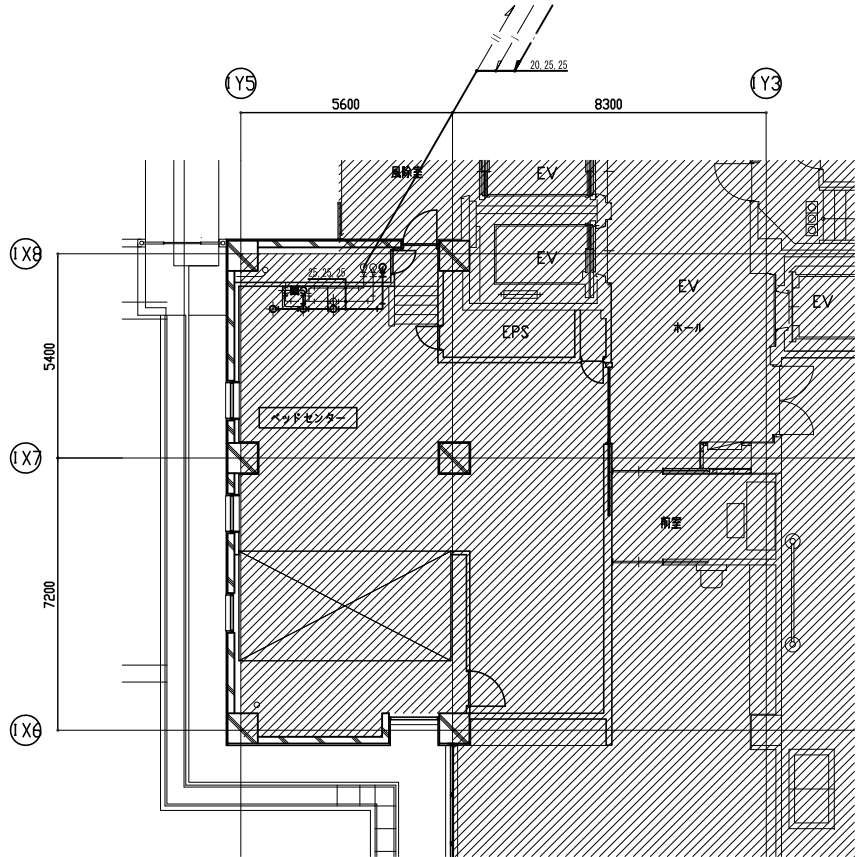
各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す

既設 改修  
断り復旧範囲を表す  
ビナ範囲を表す

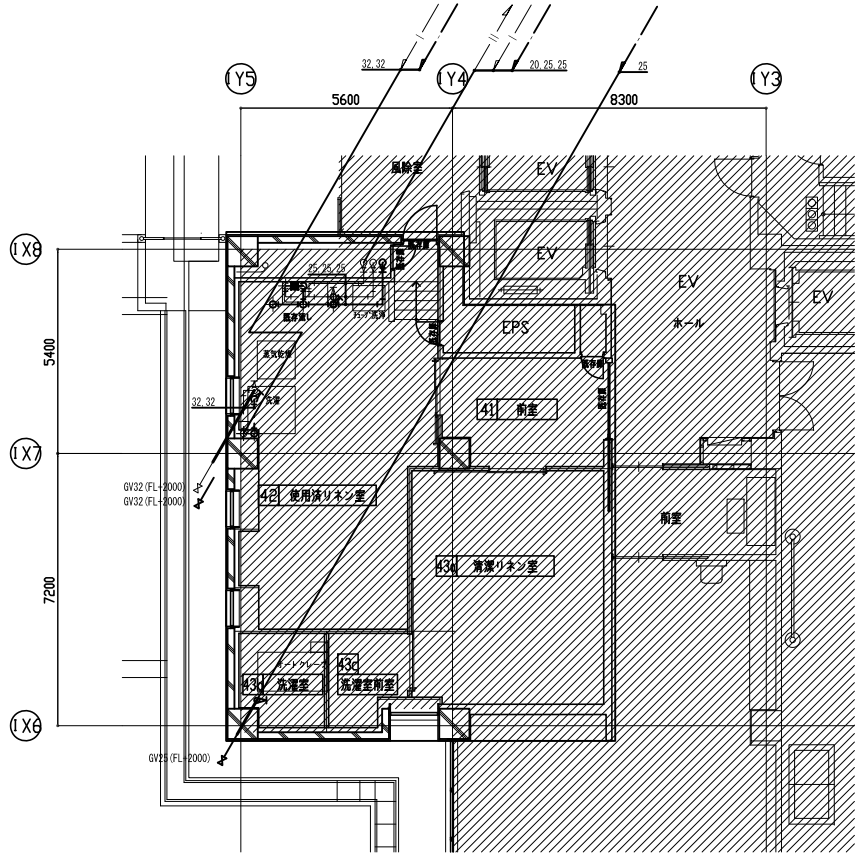
※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。



1 新1棟 1階平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】



2 新1棟 1階平面図(給水・給湯・ガス)【改修】

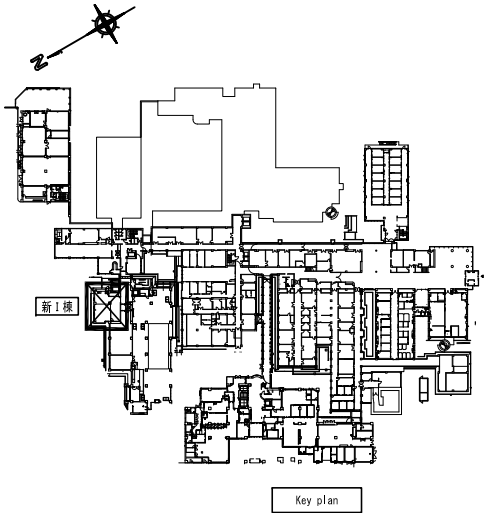


凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	排水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	排水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給湯(送り)管 (撤去)	給湯用銅管
— — —	給湯(遠り)管 (撤去)	給湯用銅管
— — —	汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
— — —	雑排水管 (撤去)	SDP (白)
— — —	R1汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
— — —	R1雑排水管 (撤去)	VP
— — —	化学排水管 (撤去)	VP
— — —	雨水排水管 (撤去)	SDP (白)
— — —	屋外排水管 (撤去)	VP
— — —	通気管 (撤去)	SDP (白)
— — —	ガス管 (撤去)	SDP (白)

各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す  
← 既設 撤去 →

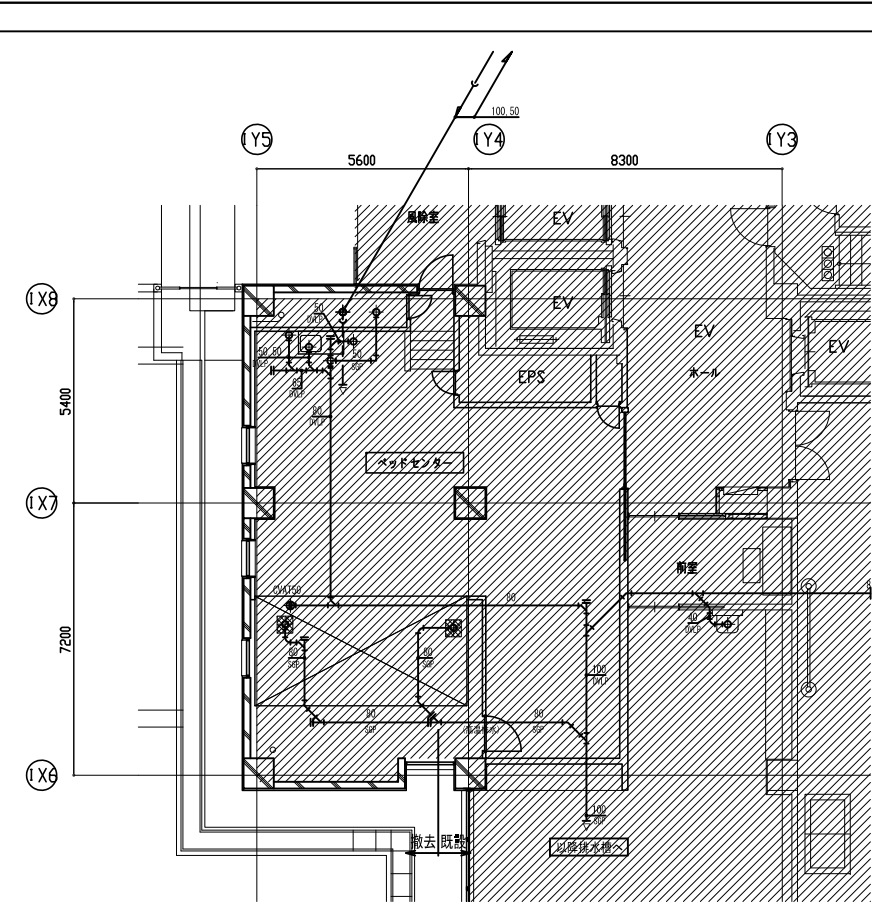
凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
— — —	給湯(遠り)管	ステンレス鋼管
— — —	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
— — —	雑排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
— — —	R1汚水排水管	DVLP
— — —	R1雑排水管	DVLP
— — —	化学排水管	DVLP
— — —	雨水排水管	SDP(白)、VP(埋設・ビッド)
— — —	屋外排水管	VP
— — —	通気管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
— — —	ガス管	SDP(白)

各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す  
← 既設 改修 →  
斜線表示  
ビッド範囲を表す  
※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。

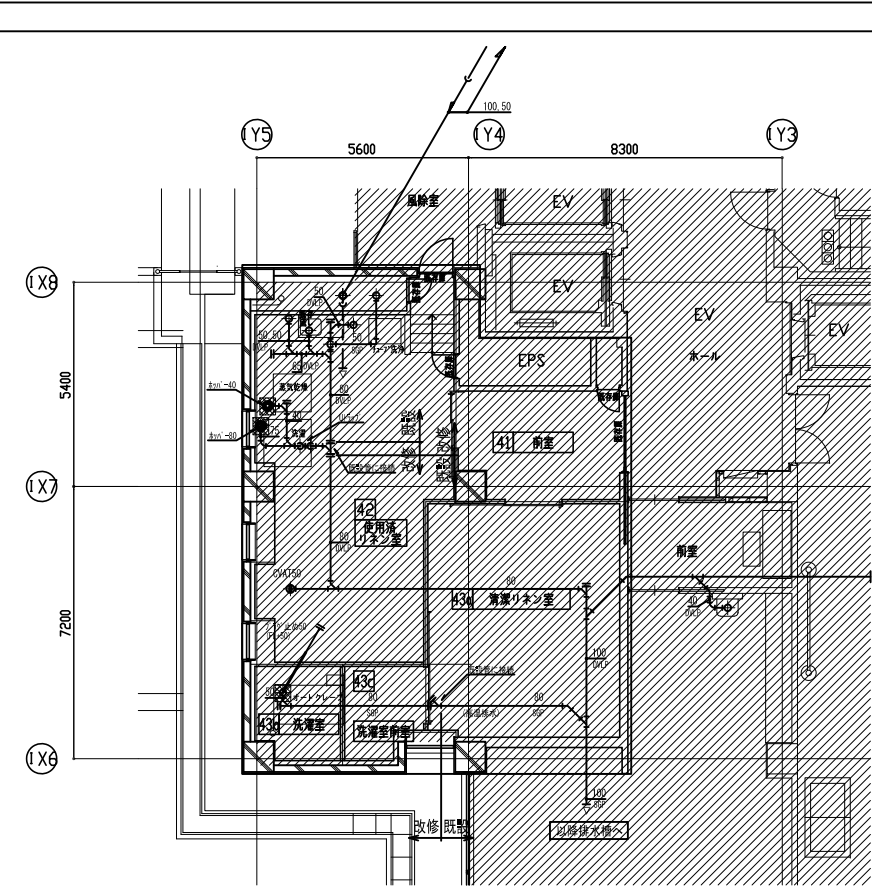




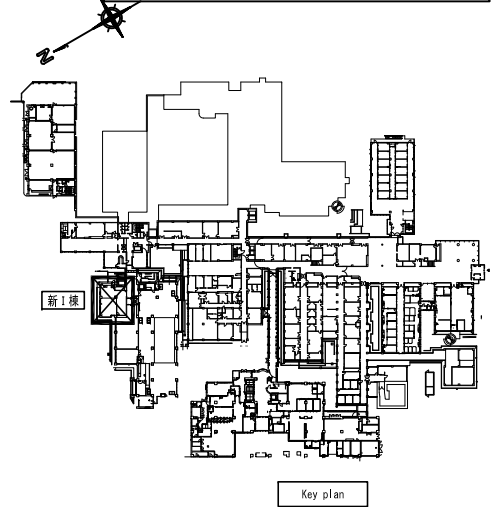
1 新1棟 1階平面図(排水・通気)【撤去】



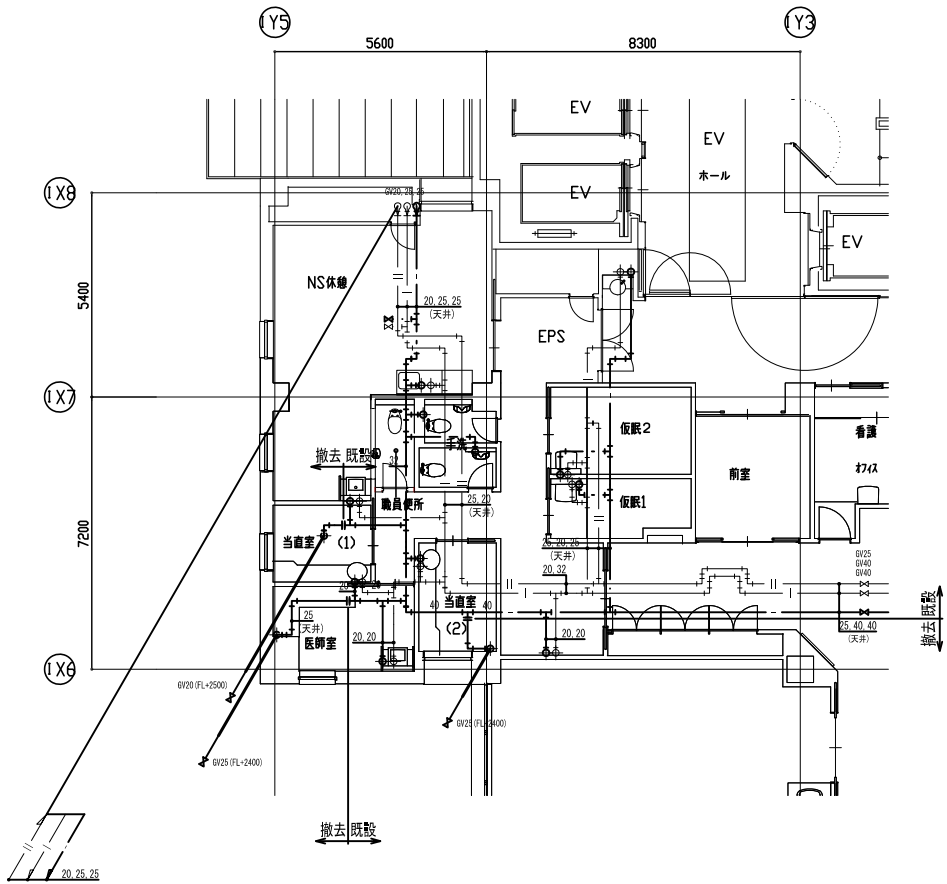
2 新1棟 1階平面図(排水・通気)【改修】



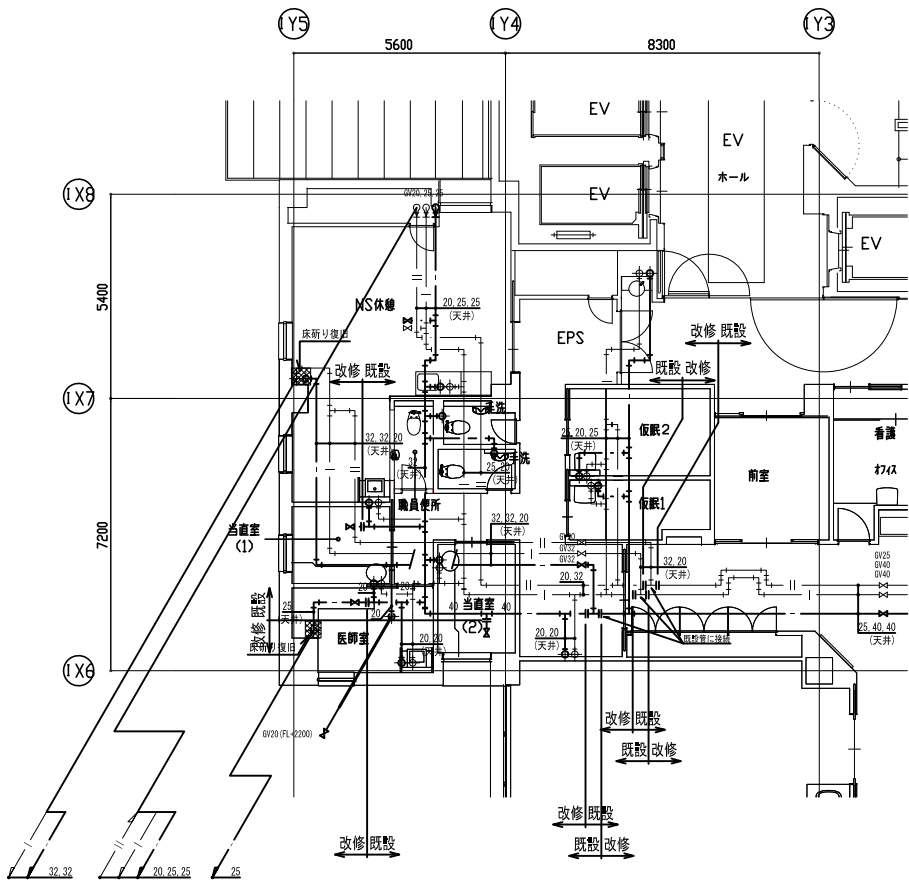
凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	排水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	排水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給湯(送り)管 (撤去)	給湯用銅管
— — —	給湯(遠り)管 (撤去)	給湯用銅管
— — —	汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
— — —	雑排水管 (撤去)	SDP (白)
— — —	RI汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
— — —	RI雑排水管 (撤去)	VP
— — —	化学排水管 (撤去)	VP
— — —	雨水排水管 (撤去)	SDP (白)
— — —	屋外排水管 (撤去)	VP
— — —	通気管 (撤去)	SDP(白)
— — —	ガス管 (撤去)	SDP(白)
各種既設配管を表す		
配管撤去位置を表す		
既設 撤去		
凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
— — —	給湯(遠り)管	ステンレス鋼管
— — —	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
— — —	雑排水管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
— — —	RI汚水排水管	DVLP
— — —	RI雑排水管	DVLP
— — —	化学排水管	DVLP
— — —	雨水排水管	SDP(白)、VP(埋設・ビッド)
— — —	屋外排水管	VP
— — —	通気管	耐火二層管、VP(埋設・ビッド)
— — —	ガス管	SDP(白)
各種既設配管を表す		
既設接続位置を表す		
既設 改修		
新設復旧範囲を表す		
ビッド範囲を表す		
※既設配管は残置とする。 但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。		



1 新1棟 2階平面図(給水・給湯・ガス)【撤去】



2 新1棟 2階平面図(給水・給湯・ガス)【改修】



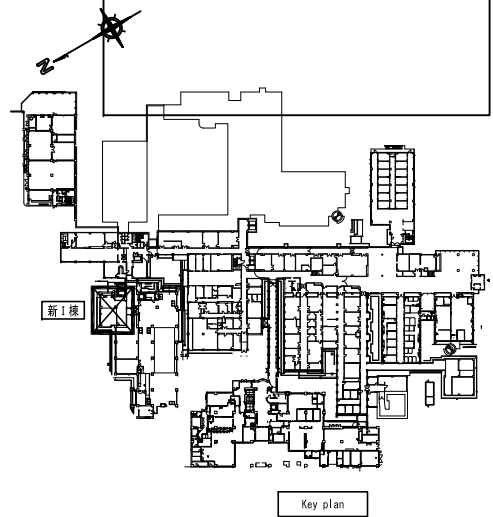
凡例 【撤去図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— 飲湯水 —	湯水(飲用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— 雑湯水 —	湯水(雑用水)管 (撤去)	硬質塩化ビニル管(VB)
— I —	給湯(送り)管 (撤去)	給湯用銅管
— II —	給湯(遠り)管 (撤去)	給湯用銅管
— — —	汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
— — —	雑排水管 (撤去)	SDP (白)
— RI —	RI汚水排水管 (撤去)	排水用鉄管
— RI —	RI雑排水管 (撤去)	VP
— 化 —	化学排水管 (撤去)	VP
— 雨 —	雨水排水管 (撤去)	SDP (白)
— — —	屋外排水管 (撤去)	VP
— — —	通気管 (撤去)	SDP (白)
— G —	ガス管 (撤去)	SDP (白)

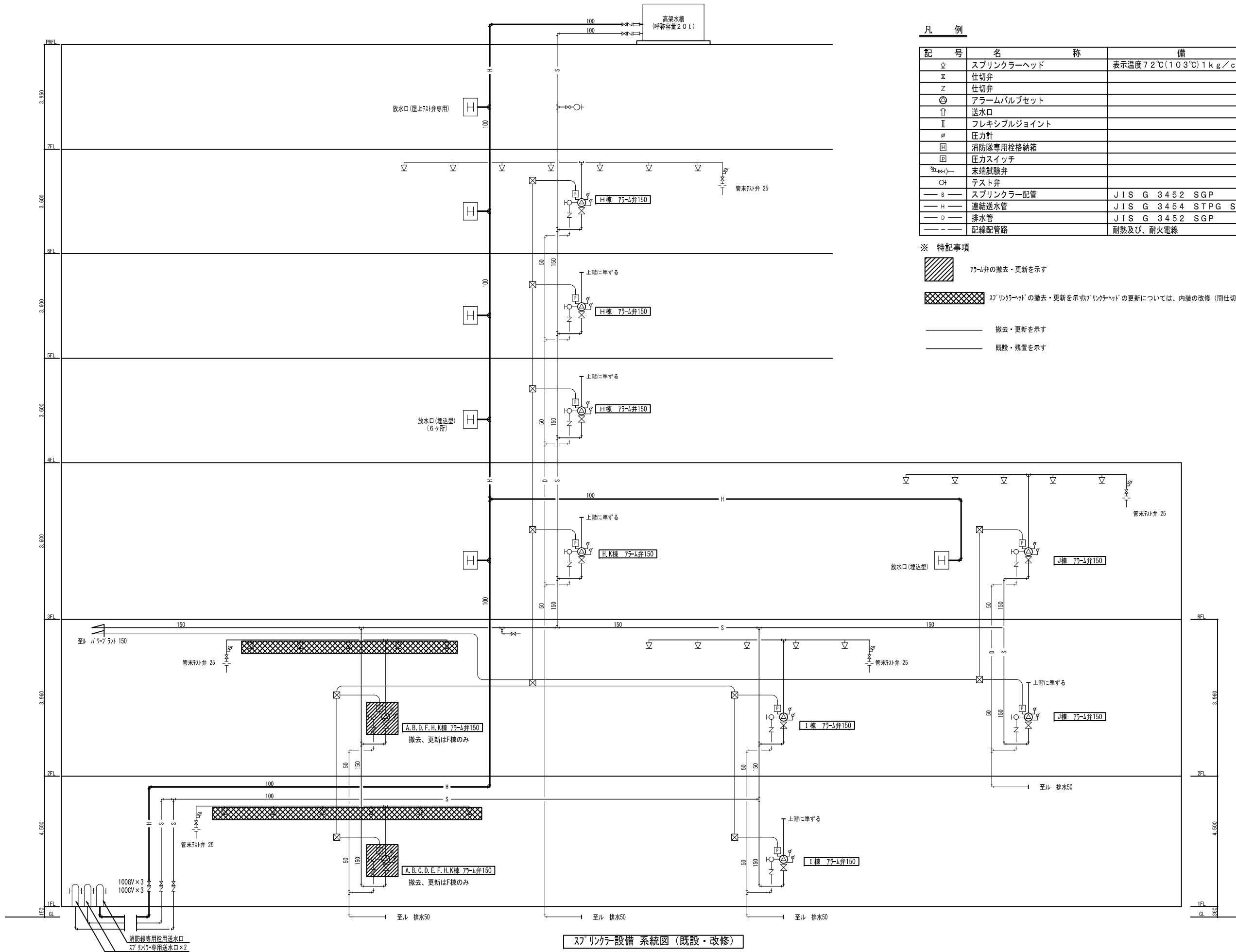
各種既設配管を表す  
配管撤去位置を表す  
既設 撤去

凡例 【改修図】		
記号	名称	管種
— — —	給水(飲用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(飲用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
— — —	給水(雑用水)管80A以上	ステンレス鋼管
— — —	給水(雑用水)管65A以下	硬質塩化ビニル管(VB)
— I —	給湯(送り)管	ステンレス鋼管
— II —	給湯(遠り)管	ステンレス鋼管
— — —	汚水排水管	耐火二層管、VP(埋敷・ビッド)
— — —	雑排水管	耐火二層管、VP(埋敷・ビッド)
— RI —	RI汚水排水管	DVLP
— RI —	RI雑排水管	DVLP
— 化 —	化学排水管	DVLP
— 雨 —	雨水排水管	SDP(白)、VP(埋敷・ビッド)
— — —	屋外排水管	VP
— — —	通気管	耐火二層管、VP(埋敷・ビッド)
— G —	ガス管	SDP(白)

各種既設配管を表す  
既設接続位置を表す  
既設 改修  
新り復旧範囲を表す  
ビッド範囲を表す

※既設配管は残置とする。  
但し、不要配管は水抜き等適切に行い、端部プラグ止めとする。





凡 例

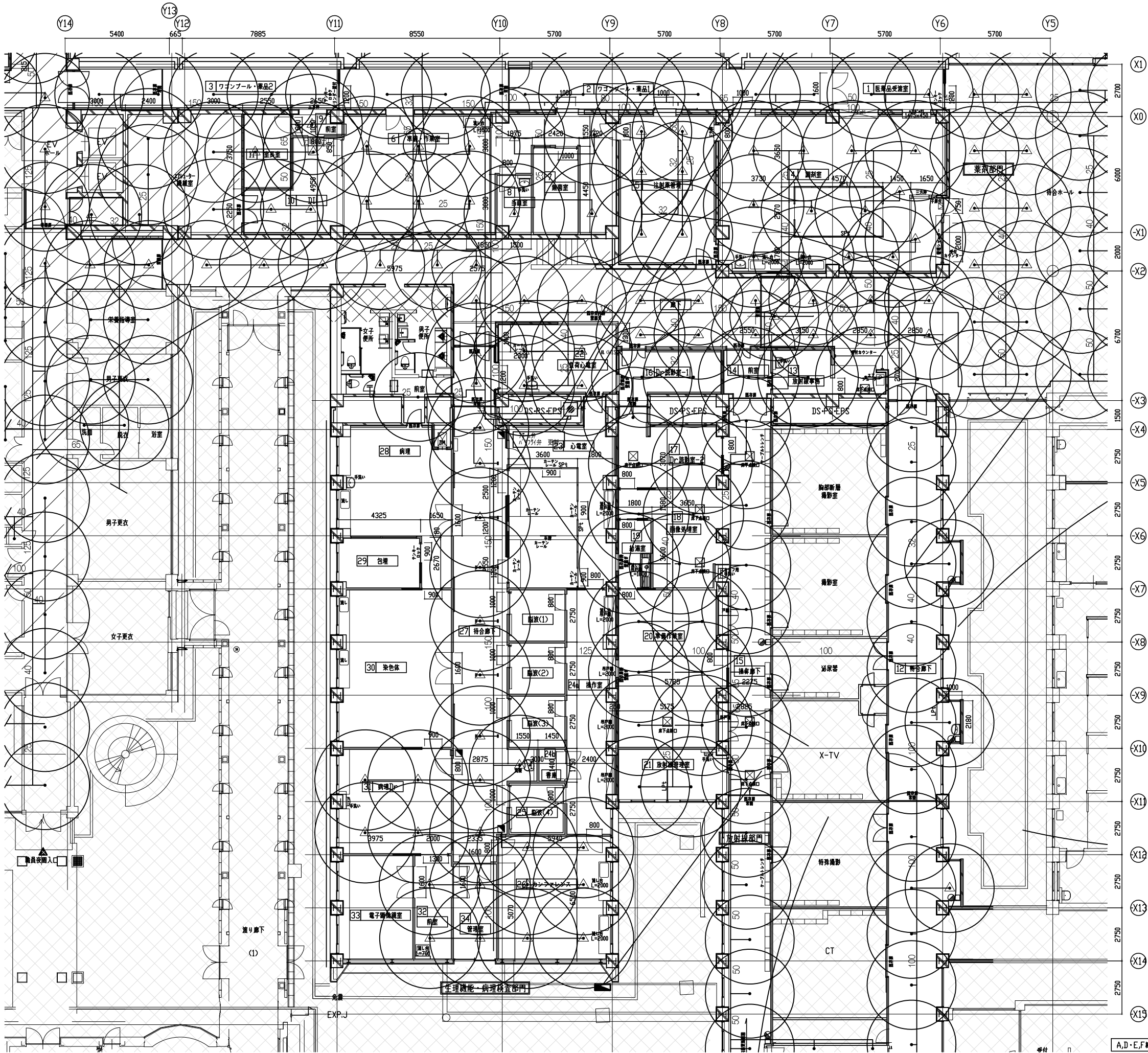
記 号	名 称	備 考
立	スプリンクラーヘッド	表示温度72℃(103℃)1kg/cm2 流量80L/min
×	仕切弁	
Z	仕切弁	
⊙	アラームバルブセット	
↑	送水口	
II	フレキシブルジョイント	
⊘	圧力計	
⊞	消防隊専用栓格納箱	
⊞	圧カスイッチ	
⊞	末端試験弁	
○+	テスト弁	
s	スプリンクラー配管	JIS G 3452 SGP
H	連結送水管	JIS G 3454 STPG Sch 40
D	排水管	JIS G 3452 SGP
- - -	配線配管路	耐熱及び、耐火電線

※ 特記事項

- 75-L弁の撤去・更新を示す
- スプリンクラーヘッドの撤去・更新を示すスプリンクラーヘッドの更新については、内装の改修（間仕切壁変更）のため、枝管からの更新とする。
- 撤去・更新を示す
- 既設・残置を示す

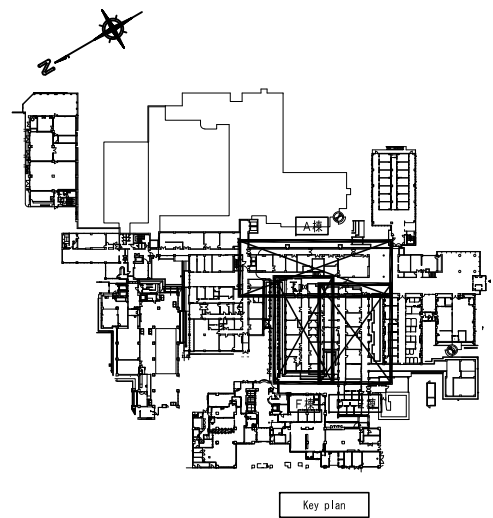






凡 例

- △ 新設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾍｯﾄﾞ (枝管共)
- 既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞﾍｯﾄﾞ (既設利用)
- 新設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ配管
- 既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ配管 (既設利用)
- r=2600 新設1種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2600
- r=2300 新設2種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2300
- r=2600 既設1種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2600
- r=2300 既設2種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2300
- 新設ﾌﾗﾑ弁
- 既設ﾌﾗﾑ弁 (既設利用)
- 既設屋外消火栓 (既設利用)

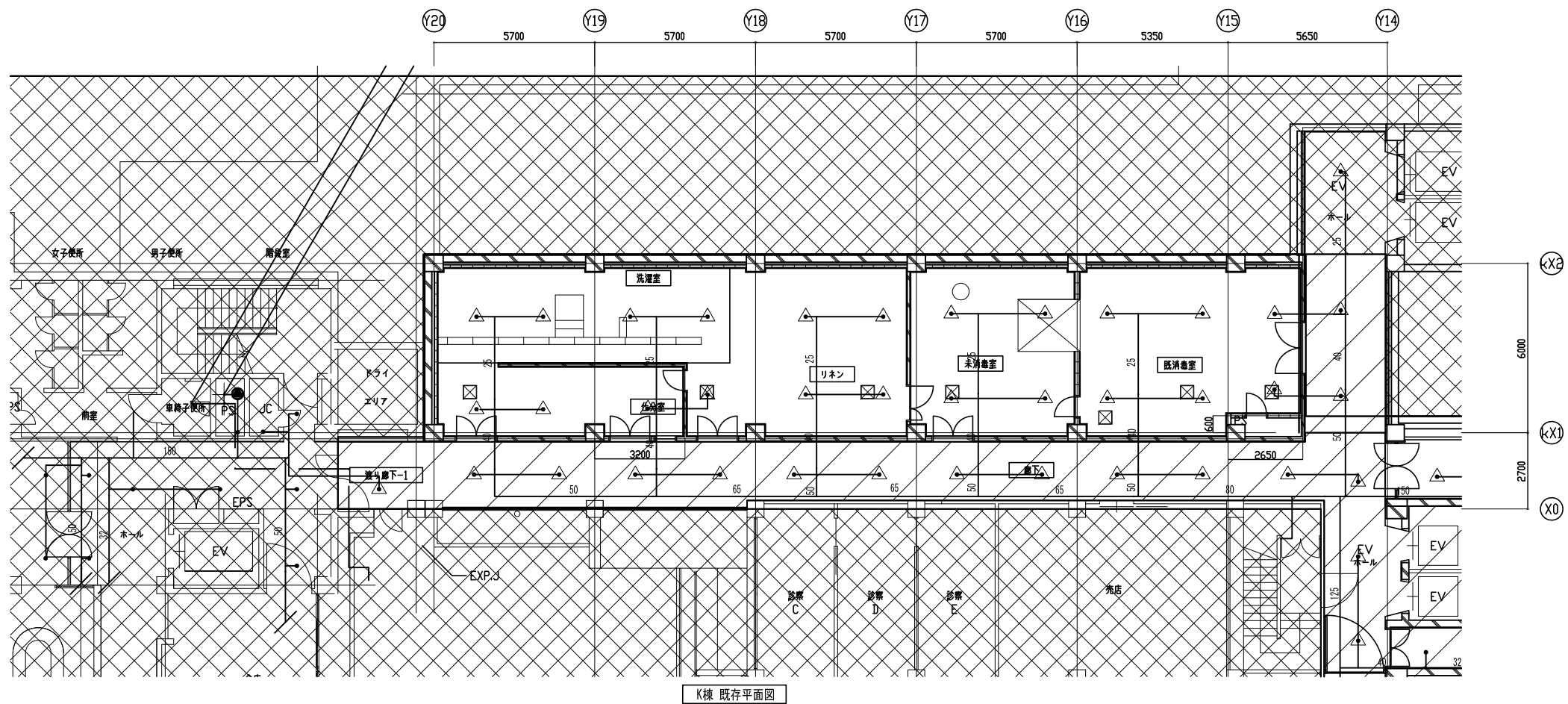


- ... 工事範囲を示す
- ... 設備配管工事範囲を示す (天井張替えのみ建築工事)
- ... 工事範囲外を示す

1F スﾌﾟﾘﾝｸﾞ設備 改修図 (1)

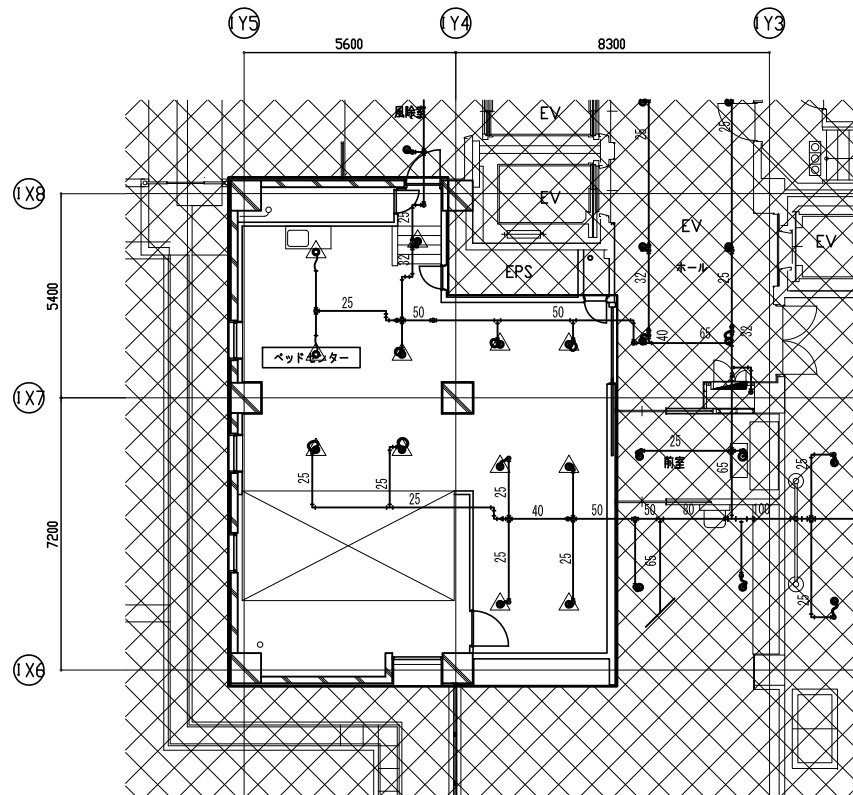
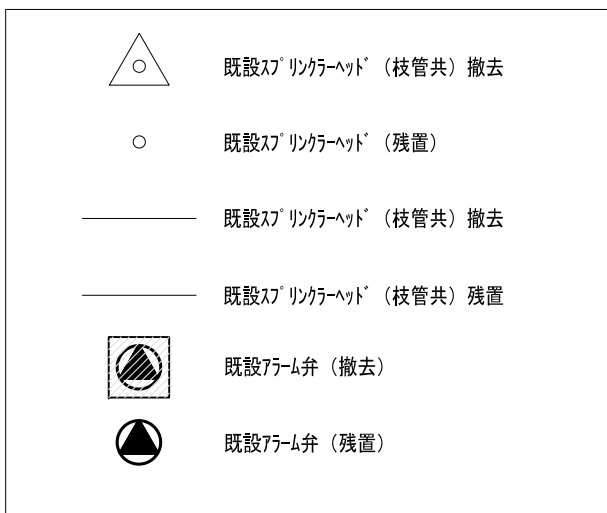
A.D・E.F 棟 改修平面図



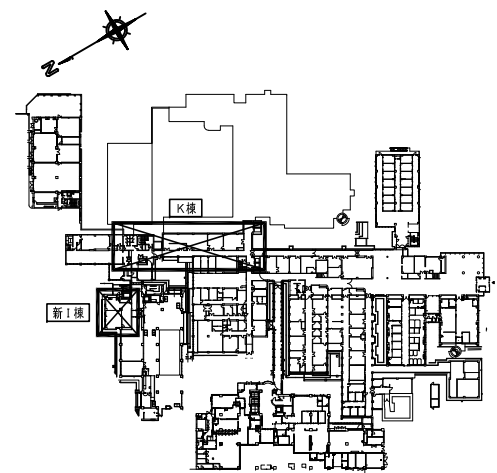


K棟 既存平面図

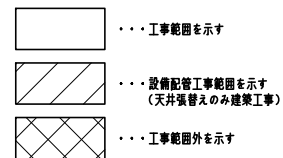
凡 例



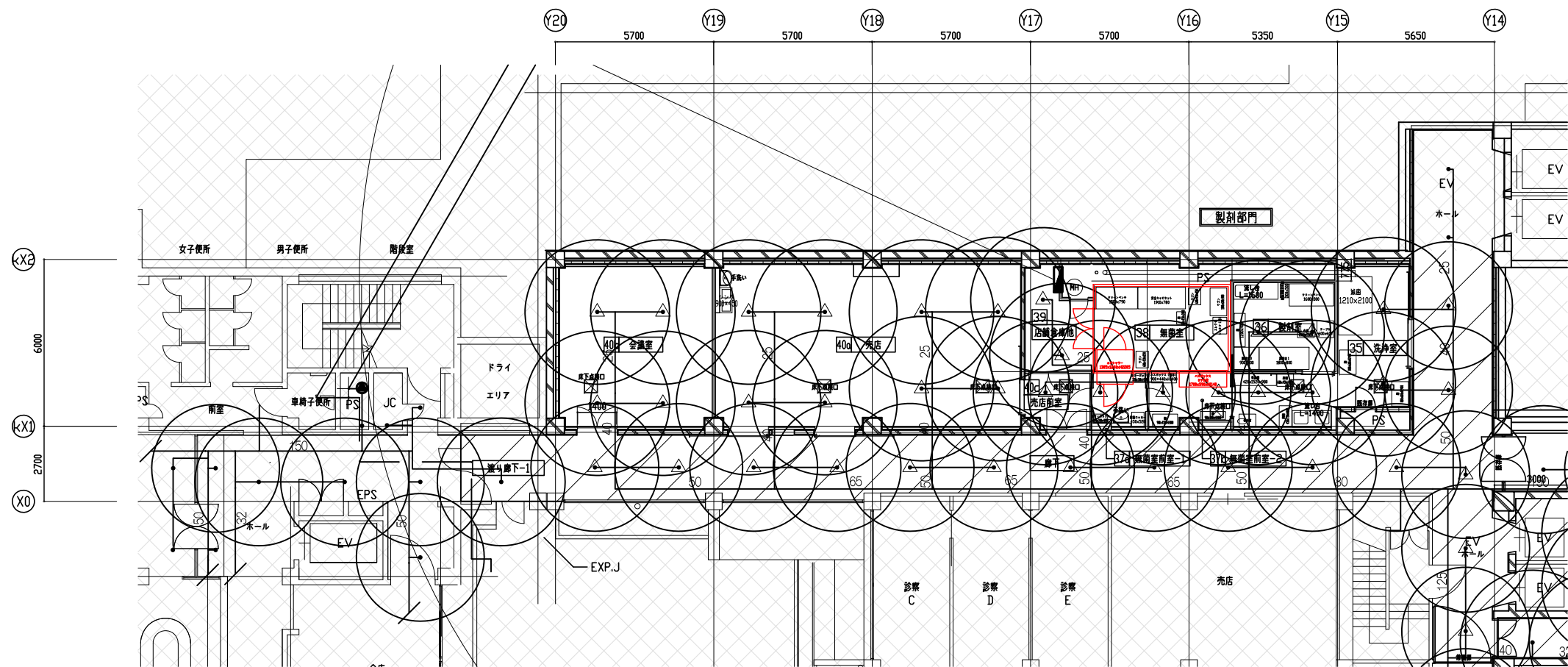
新I棟 既存平面図



Key plan



1F スﾌﾟﾘﾝｸﾞﾗｰ設備 既設・撤去図 (2)



K棟 改修平面図

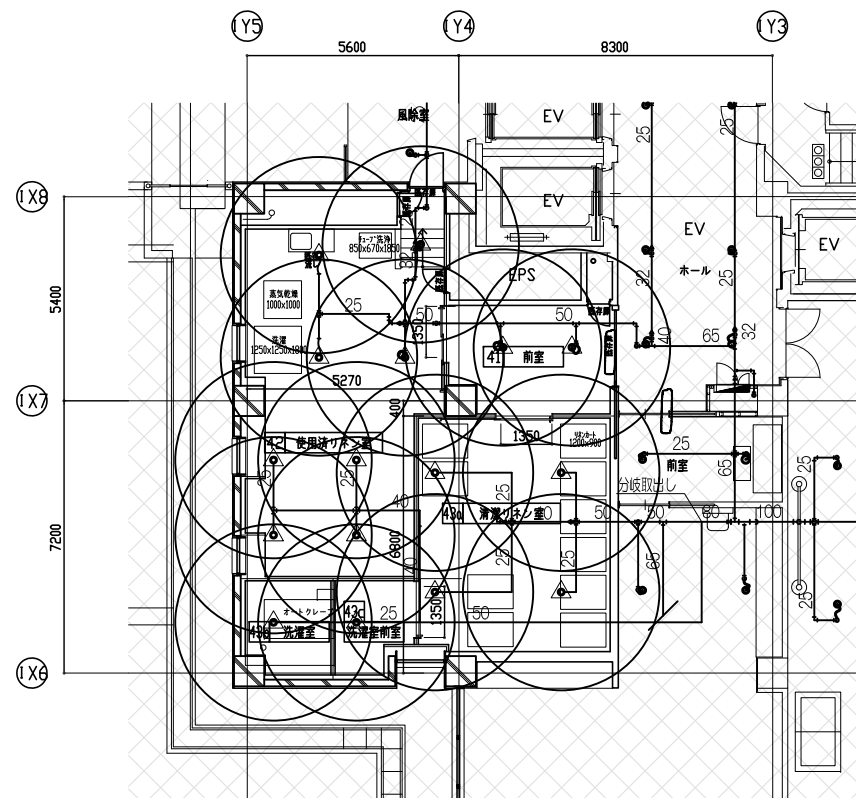
新設機器表

補助散水栓 × 1台 (設置場所: K棟 店舗倉庫)

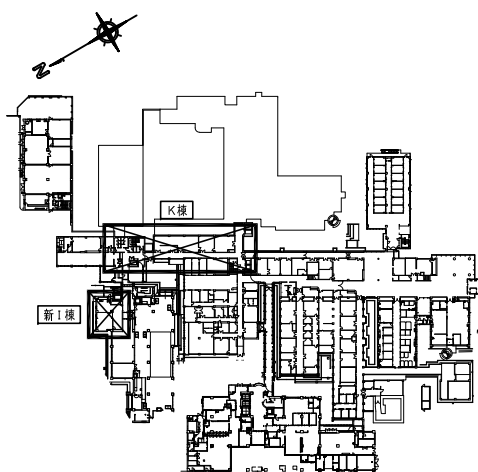
仕様 火報併設露出型 600W×1000H×200D  
専用ホース 25A×20m  
専用ノズル付

凡例

- △ 新設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾍｯﾄﾞ (枝管共)
- 既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾍｯﾄﾞ (既設利用)
- 新設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ配管
- 既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ配管 (既設利用)
- r=2600 新設1種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2600
- r=2300 新設2種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2300
- r=2600 既設1種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2600
- r=2300 既設2種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2300
- 新設ﾌﾗﾑ弁
- ▲ 既設ﾌﾗﾑ弁 (既設利用)
- 新設補助散水栓



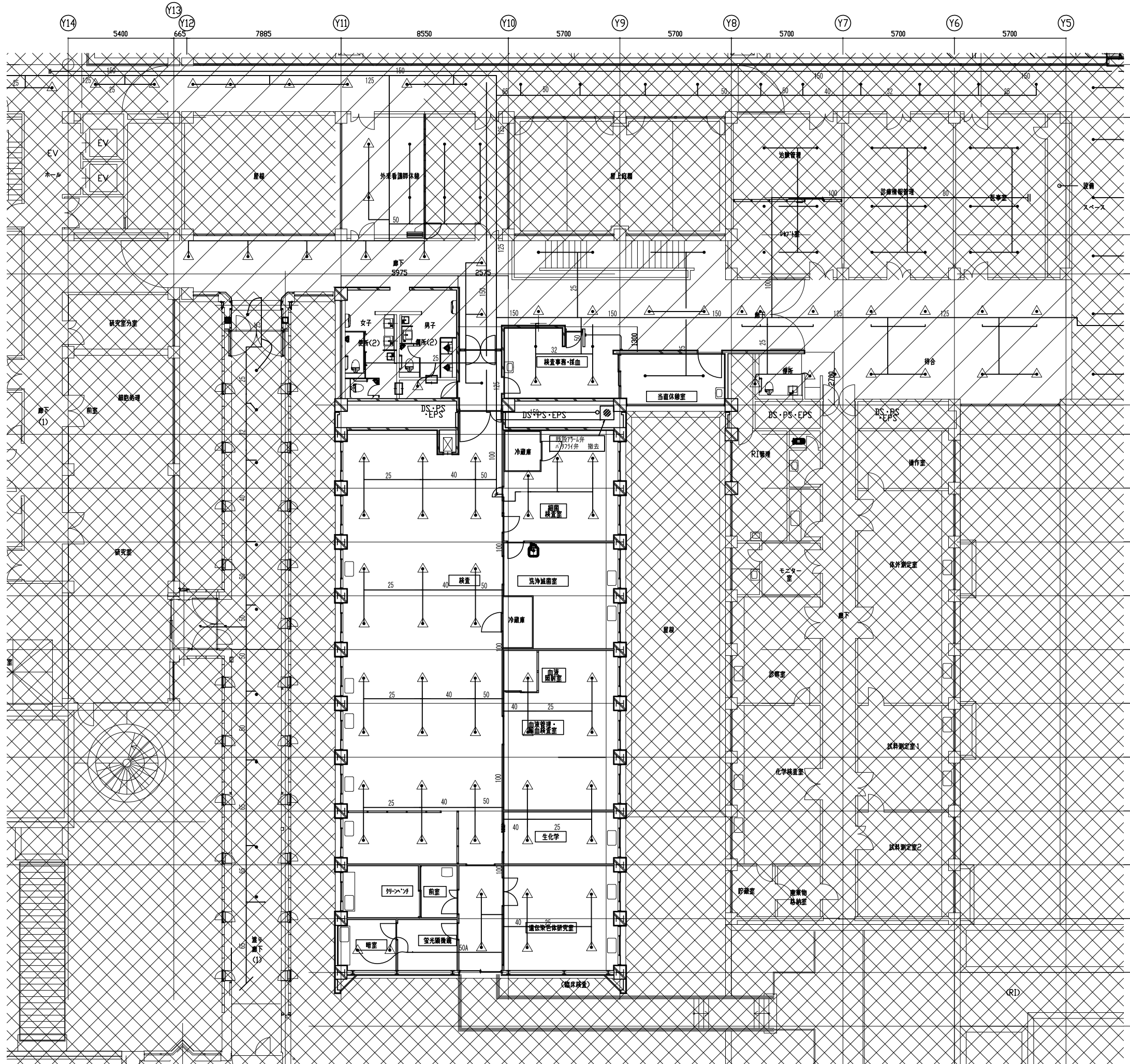
新I棟 改修平面図



1F ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ設備 改修図 (2)


- ... 工事範囲を示す
- ... 設備配管工事範囲を示す (天井張替えのみ建築工事)
- ... 工事範囲外を示す






(X1)  
(X0)  
(-X1)  
(-X2)  
(-X3)  
(X4)  
(X5)  
(X6)  
(X7)  
(X8)  
(X9)  
(X10)  
(X11)  
(X12)  
(X13)  
(X14)  
(X15)


凡 例




既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾎｯﾄﾞ (枝管共) 撤去




既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾎｯﾄﾞ (残置)




既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ配管 (撤去)



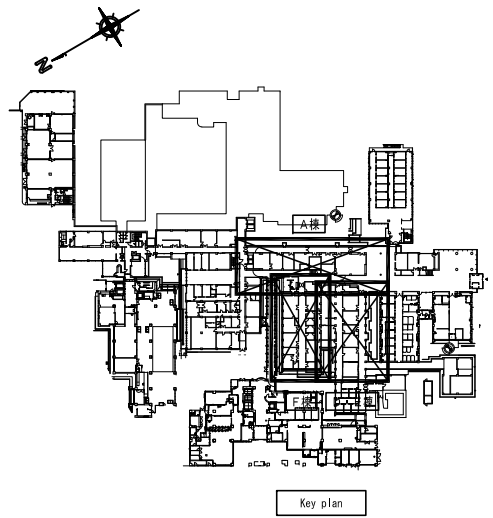
既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ配管 (残置)





既設ﾌﾗﾑ弁 (撤去)




既設ﾌﾗﾑ弁 (残置)



- 

・・・工事範囲を示す
- 

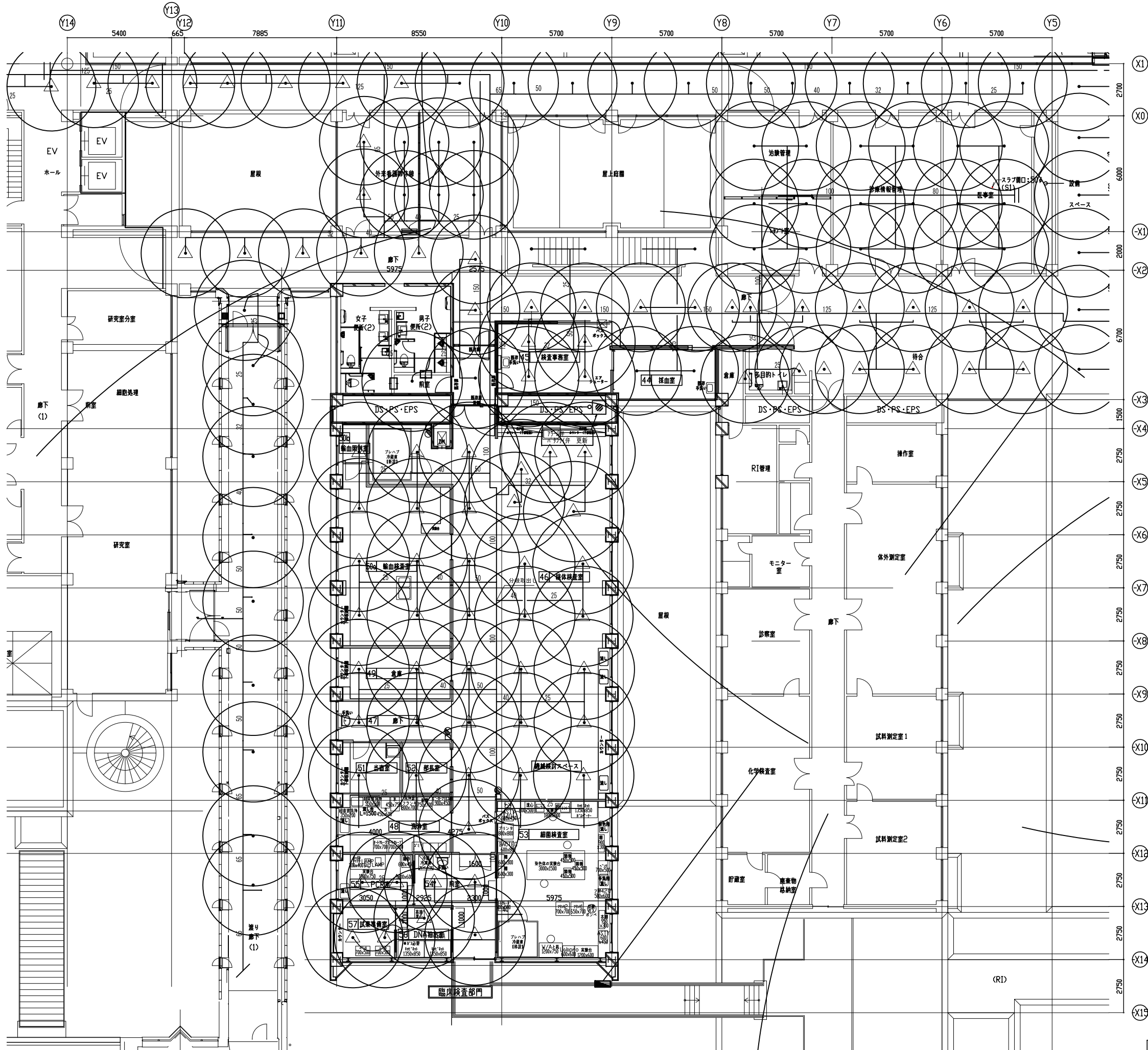
・・・設備配管工事範囲を示す  
(天井張替えのみ建築工事)
- 

・・・工事範囲外を示す

2F スﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ設備 既設・撤去図

A,D・E,F棟 既存平面図





凡 例

新設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾍｯﾄﾞ (枝管共)

既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰﾍｯﾄﾞ (既設利用)

新設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ配管

既設ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞｰ配管 (既設利用)

新設1種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2600

新設2種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2300

既設1種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2600

既設2種 SPﾍｯﾄﾞ: r=2300

新設ﾌﾚｰﾑ弁

既設ﾌﾚｰﾑ弁 (既設利用)

既設屋外消火栓 (既設利用)

凡例

防火区画 (令第112条)

防火上主要な間仕切壁 (令第114条)

Key plan

・・・工事範囲を示す

・・・設備配管工事範囲を示す  
(天井張替えのみ建築工事)

・・・工事範囲外を示す

2F スプリンクラー設備 改修図

A,D・E,F棟 改修平面図

医療ガス配管設備仕様書

1. 設備概要

1-1 酸素配管設備

酸素の供給は、既設配管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。

1-2 吸引配管設備

吸引の供給は、既設配管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へ供給する。

1-3 窒素配管設備

窒素の供給は、既設配管より分岐し、これより図示された各部屋の配管端末器へガスを供給する。

1-4 区域別遮断弁（シャットオフバルブ）

区域別遮断弁は、ボックス内に黄銅製ボールバルブを設け、バルブの開閉操作が迅速に出来る構造とし、取付高はバルブの中心でFL+1500mmを標準とする。  
また、特殊診療部門（4階OPホール、ICUスタッフステーション室等）の区域別遮断弁は、二次側に緊急導入口を備えるものとする。

1-5 配管端末器（アウトレット）

配管端末器はガスの種類による着色が施されていて、保守点検用バルブ機能付きとする。  
また、異なる種類のガスの誤接続を防止するためのガス別特定の構造とする。  
配管端末器の種類は、壁取付型とする。

2. 配管工事

2-1 配管材料

ガスの種類	配管	継手仕様	備考
酸素	リン脱酸銅継目無管 (JIS H 3300 C1220T Lタイプ)	左記銅管による形成品 JIS H 3401 銅及び銅合金の管継手	支持金具と銅管が直接接触しないよう 銅管用吊金具を使用する。
吸引	ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを	JIS H 3250 銅及び銅合金棒C1100,	
窒素	被覆したものとする。	C3602, C3712, C3771	

2-2 配管の支持間隔

呼称管径 (mm)	<20
支持間隔 (m)	1.5 以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

2-3 配管の識別表示

隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被膜銅管を使用する。各識別色は下記による。  
機械室露出部分は下記の識別色にて塗装を行う。

配管色別	酸素	吸引	炭酸ガス
	緑	黒	橙

2-4 配管のろう付け

銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

2-5 配管方式

配管は、露出型アウトレットの壁立下げ配管（ダクトカバーにて保護）を除き、天井内隠蔽壁内埋込配管とする。

2-6 既設配管への接続

既設配管への接続工事、及び既設撤去工事については、事前にガス停止区域、閉止するバルブ、仮設供給方法について打ち合わせをすること。

3. 検査・試験

3-1 配管系統検査

配管工事完了後、各配管ごとに系統に誤りのないことを確認する。

3-2 配管気密試験

気密試験の圧力及び時間は下表による。  
但し既設管との接続部は、吸引を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、吸引配管は煙を吸い込ませる漏煙試験とする。

配管名	配管気密試験			総合気密試験（排気を除く）		
	圧力MPa	時間h	使用ガス	圧力MPa	時間h	使用ガス
酸素	1	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気	0.4	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気又は 吸引圧
吸引	0.5	2		~0.05又は0.1	2	
窒素	1.5	24		0.9	24	

3-3 配管内清浄度検査

施工した配管内に微小物質の有無について検査する。但し、吸引配管は除く。

4. 工事区分

4-1 建築工事

・天井解体・復旧  
・点検口

系統図

参考器具図

壁埋込型窒素アウトレット

壁埋込型アウトレット

壁埋込型シャットオフバルブ

凡例

記号	名称	備考
⊠	シャットオフバルブ	埋込型
□V	2口壁型アウトレット	埋込型 (O,V)
N2	窒素 圧力調整器付アウトレット	露出型
⋈	系統用バルブ	
— O —	酸素配管	JIS H3300 C1220T
— V —	吸引配管	
— N2 —	窒素配管	JIS H3300 C1220T
—	既設配管	
▨	撤去工事範囲	
⊠	点検口	別途建築工事

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止  
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

制定日 2001.09.01  
改訂日 2017.04.01  
文書番号 F02-G04-1704

REVISION 1:  
2019.03.29

竣工図 (責任者)  
作製日付 年月日  
作製者

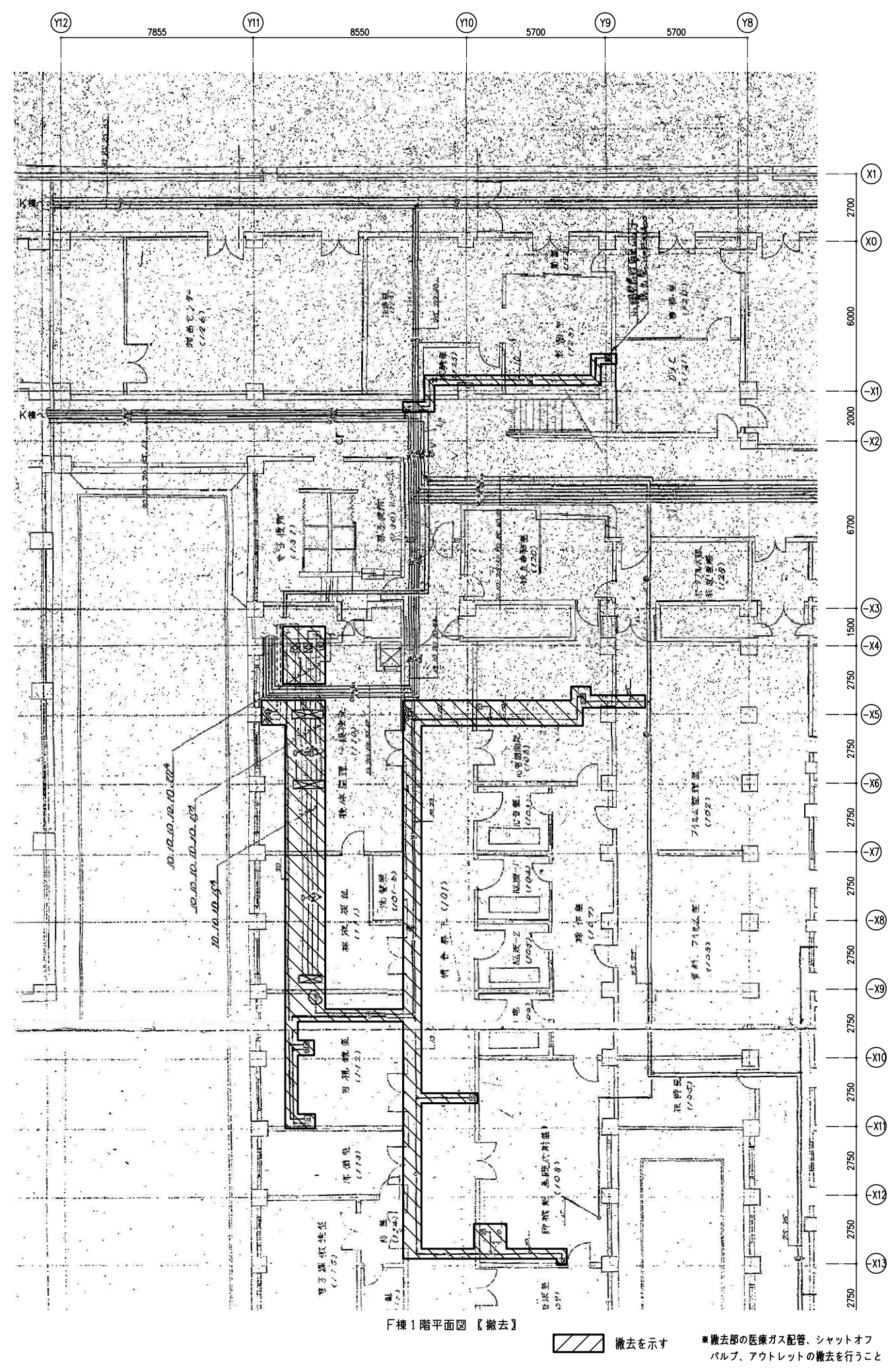
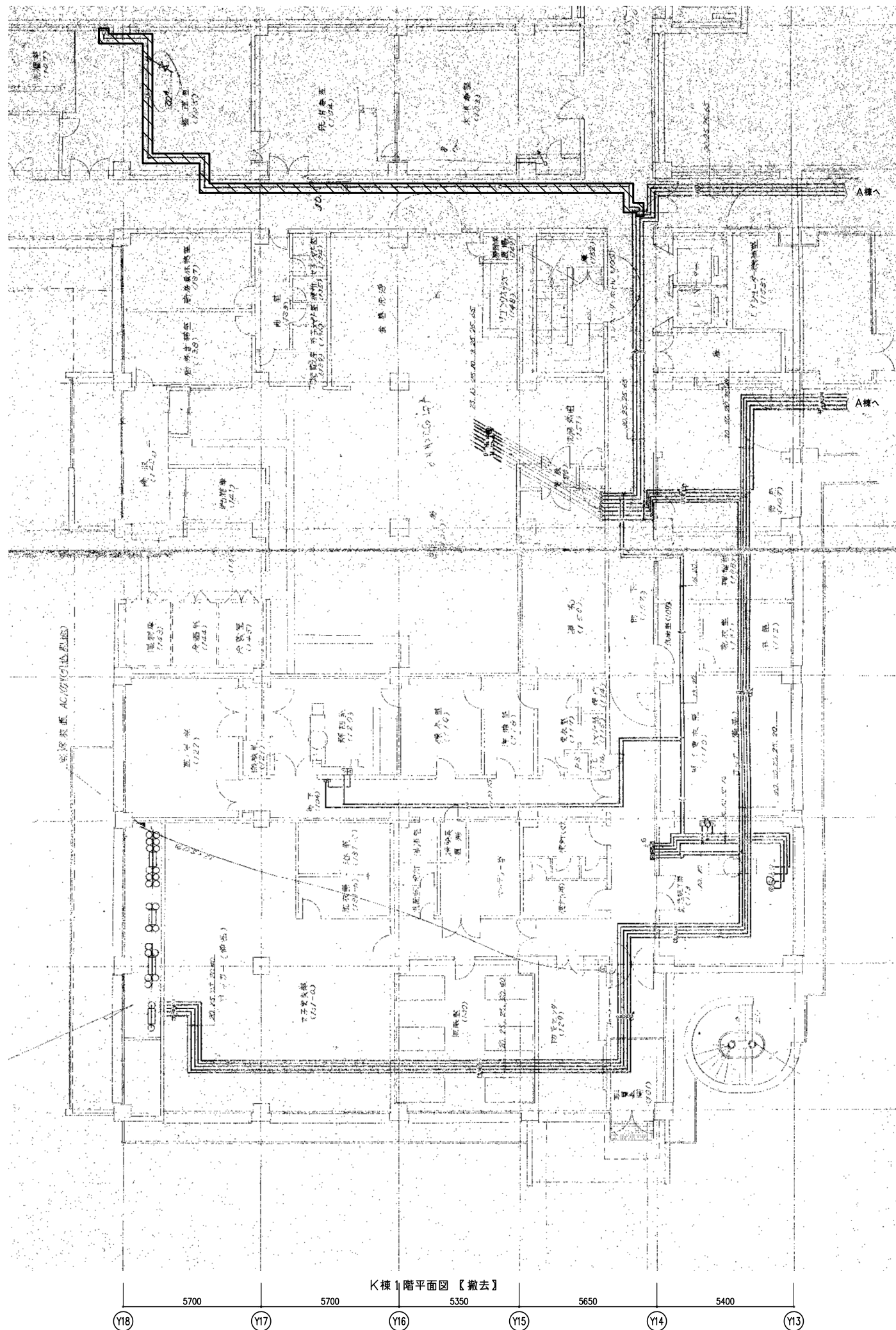
APPD. (責任者)  
CHKD. 中村 武内  
OWN. 武内

DATE 2019.03.29  
SCALE N.S. (A3)  
N.S.

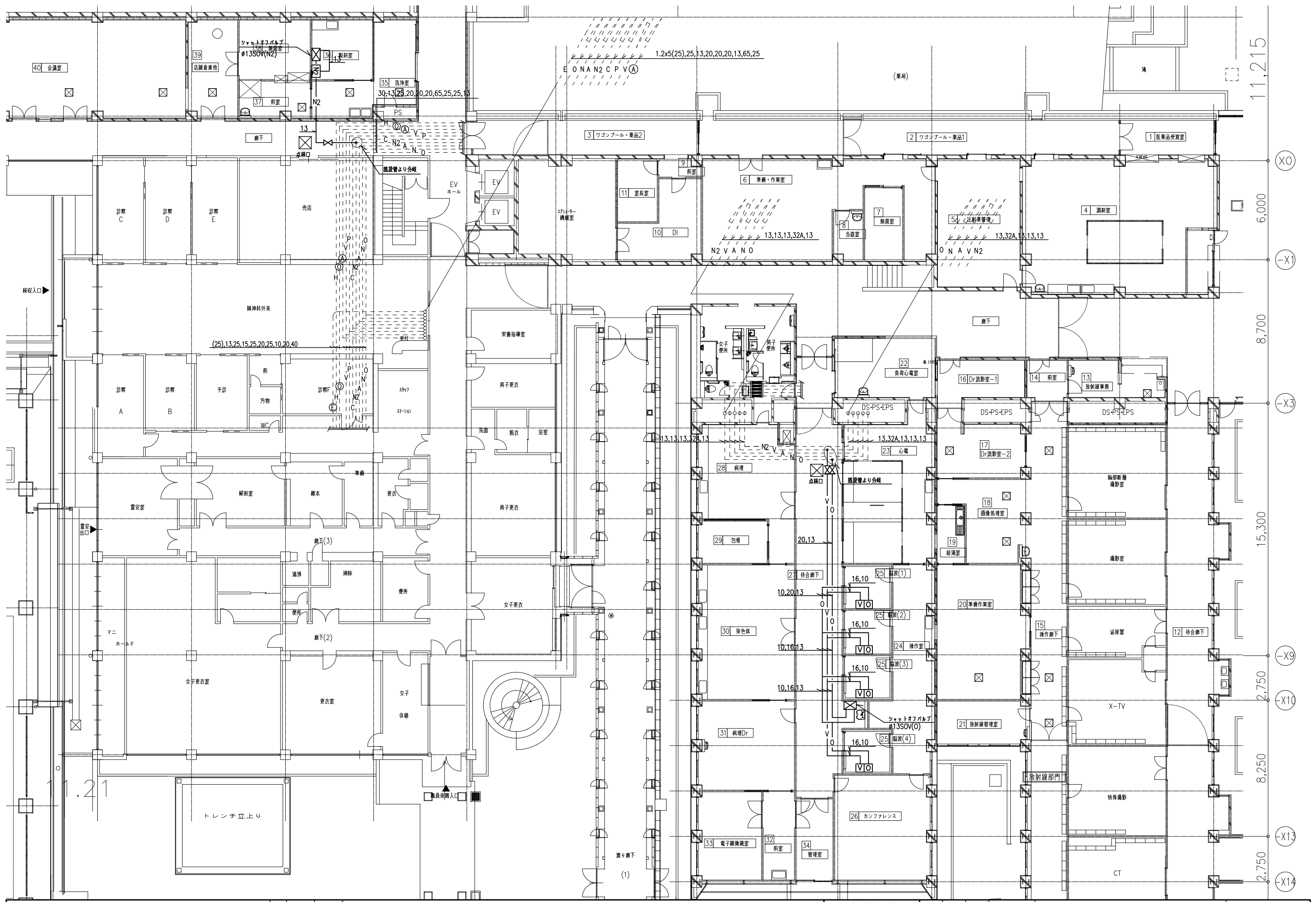
JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事  
TITLE 医療ガス設備 特記仕様書・系統図

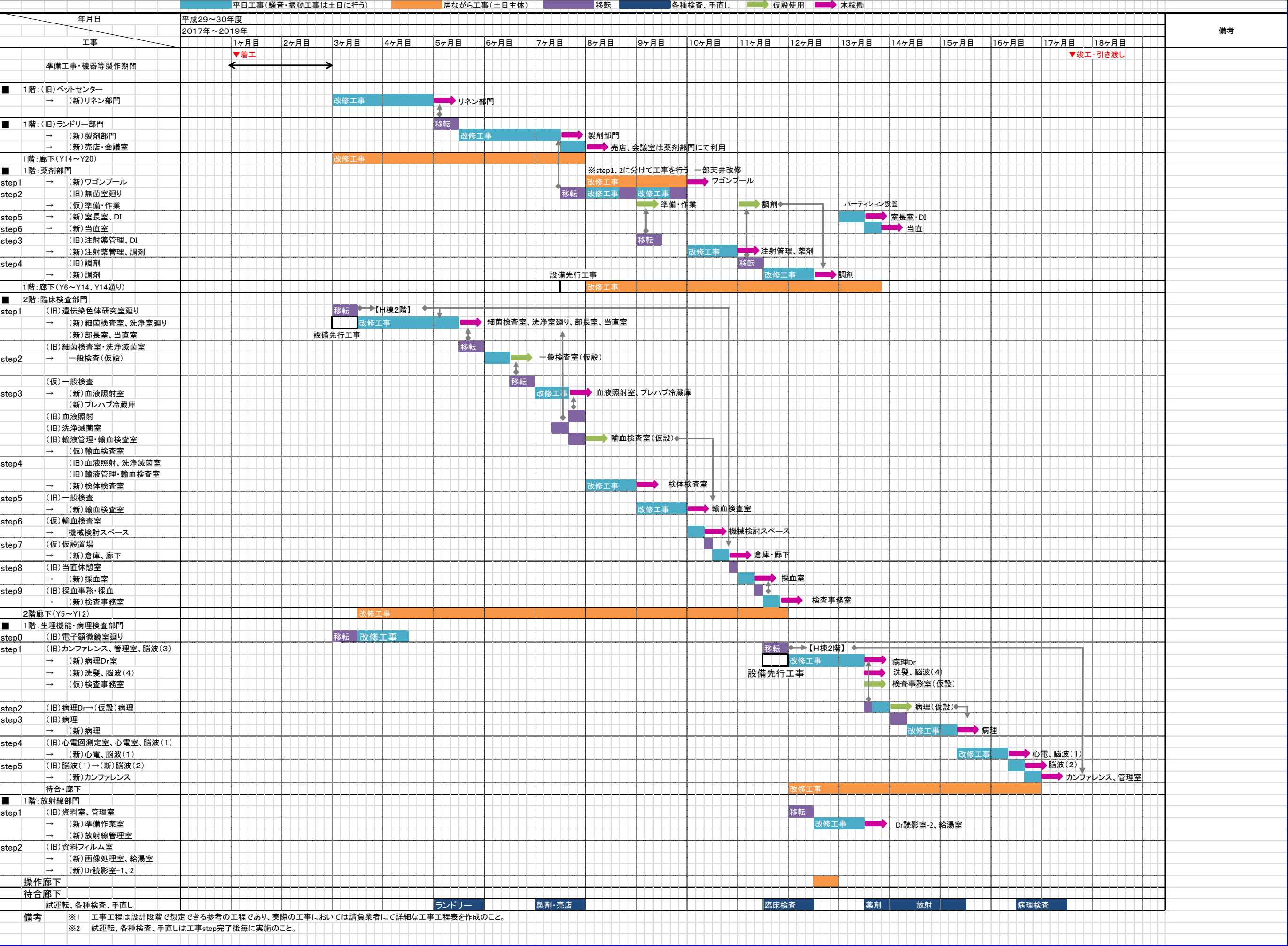
DWG.NO. P-33

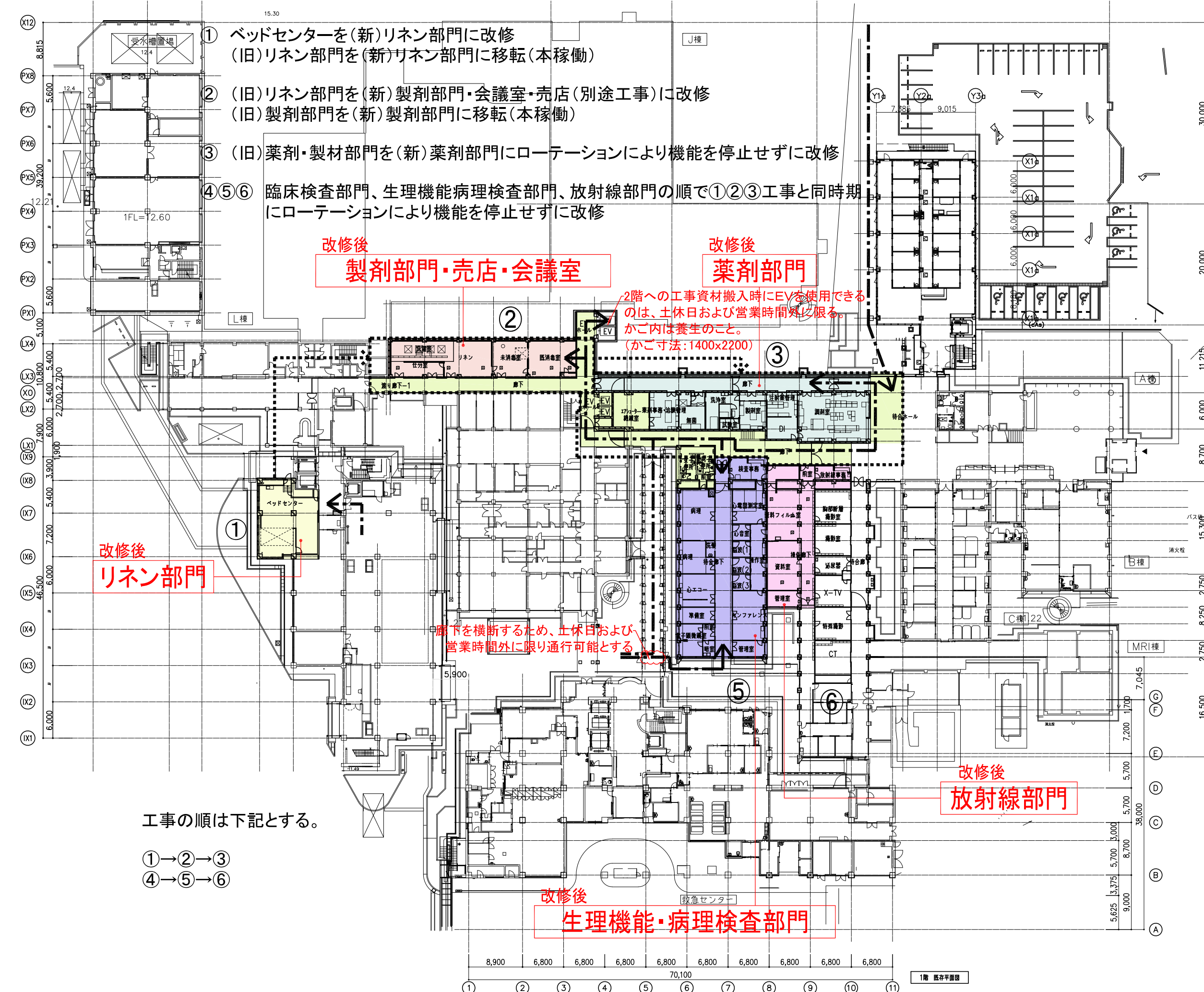












工事の順は下記とする。

- ①→②→③
- ④→⑤→⑥

### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員および工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督員と協議して了承を得ること。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日にすること。1階の検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生を行うこと。
- ・資材搬出は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。

### ■アスベルギルス対策について

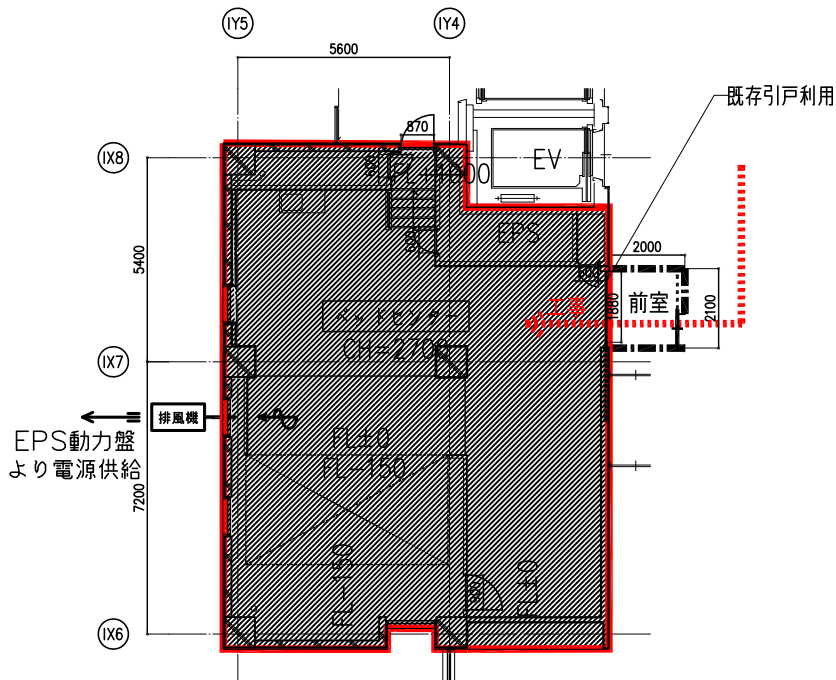
- ・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。
- ・5台を各工事エリアにて運用することとし、工事対象の棟（天井解体部分）において、換気回数10回/ｈを確保すること。
- ・設置方法は、各仮設計画図を参照することとし、排気口にHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを見込むこと。（長さは各仮設計画図による。）

### 凡例

リネン部門	天井解体範囲（設備工事）
製剤部門	臨床検査部門
薬剤部門	その他
生理機能・病理検査部門	作業員経路
放射線部門	資材搬入経路

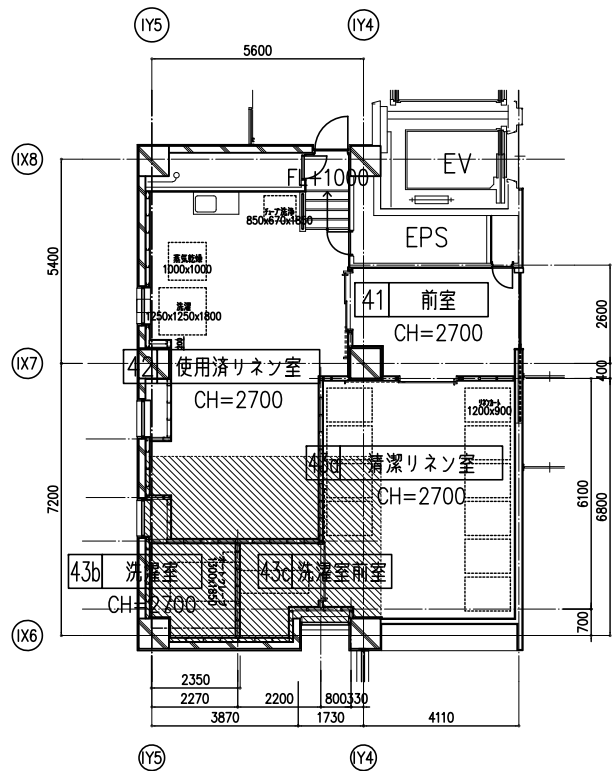






現況

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)



改修後

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

- 1) 旧ベッドセンターの什器・備品・機器の移設(病院工事)、機器の解体・撤去(病院工事)を行う。
- 2) 本体工事(建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備)を行う。
- 3) 旧リネン部門から、既存機器(洗濯機、乾燥機)の移設(病院工事)、新設機器(オートクレーブ、チューブ洗浄)の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。

排風機設置概略図

- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを20m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

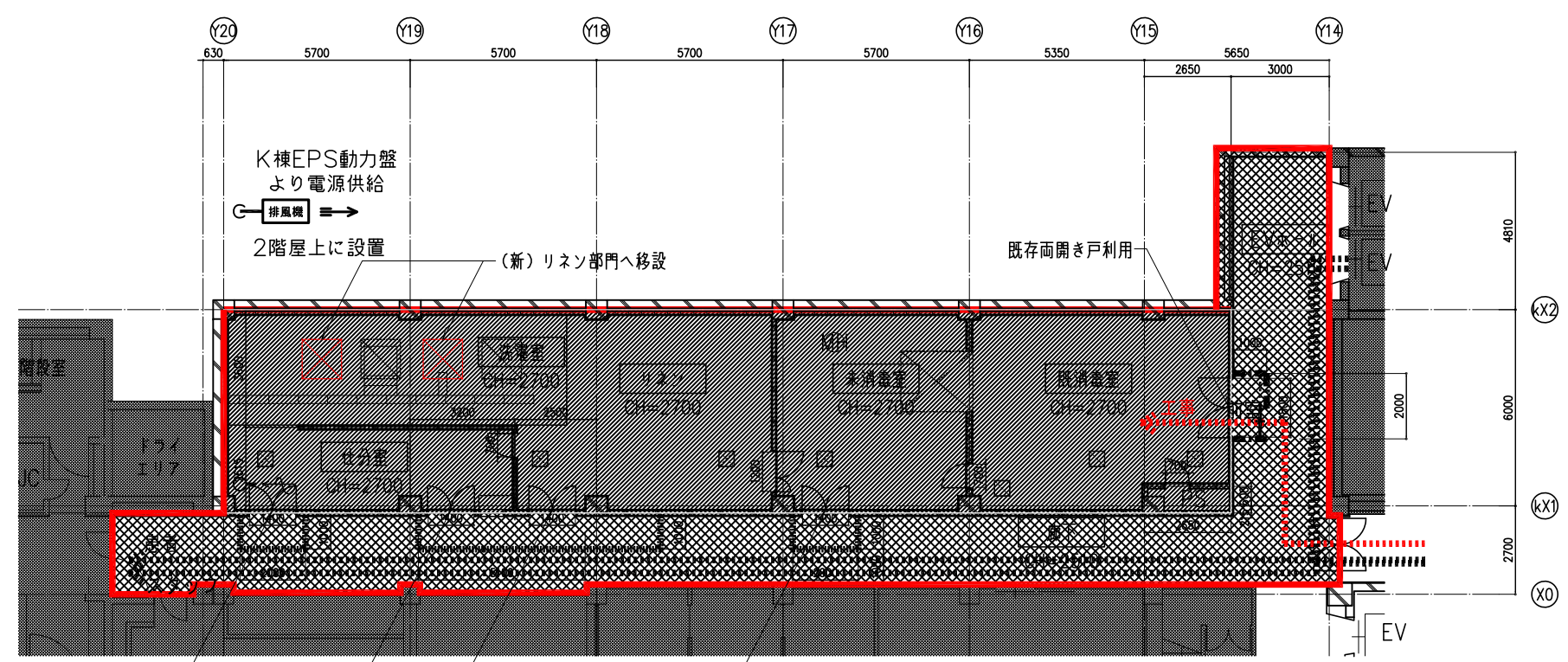
特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまなう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまなう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周りの天井改修も含むものとする。

凡例

	仮設圍仕切: LGS90下地+PB±12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	防火区画 仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB±21+PB±21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設圍(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い: スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線

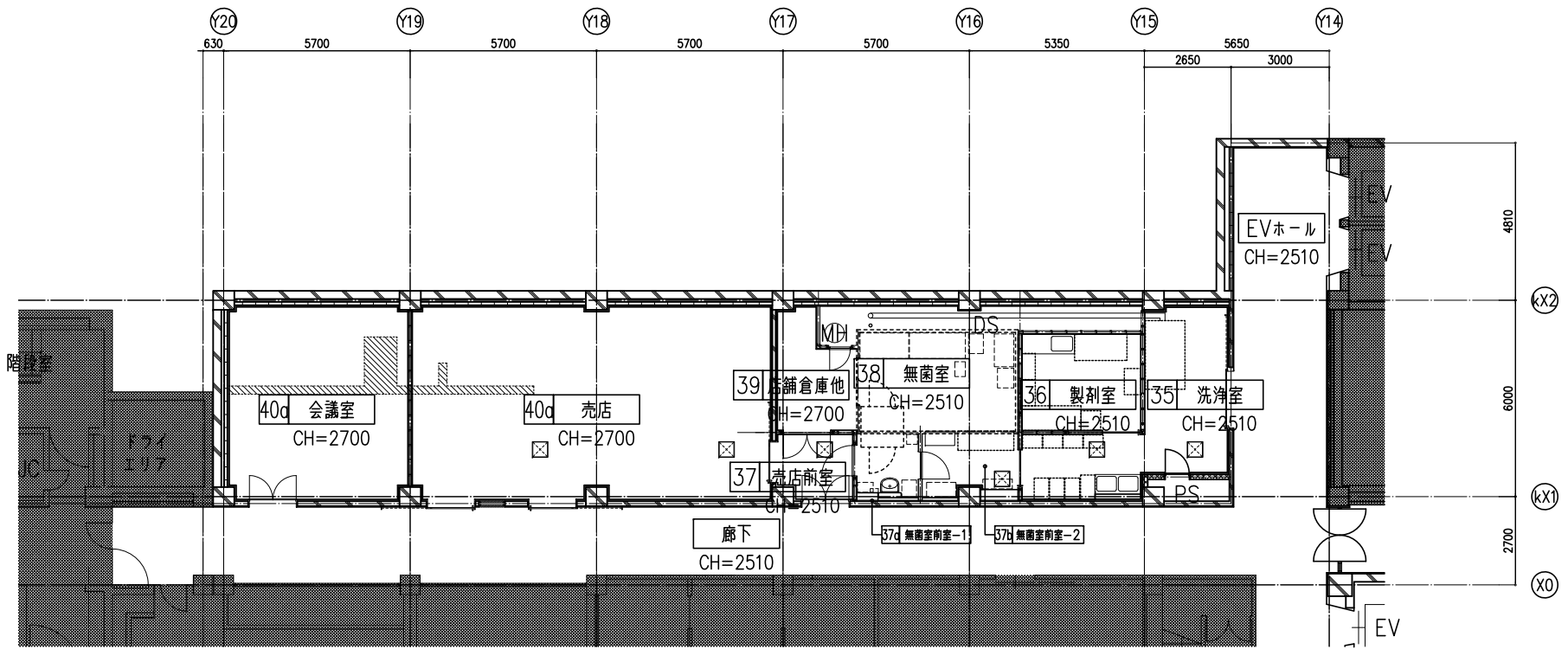




既存両開き戸施錠にて閉鎖。  
扉改修時のみ(5日間)  
スライドパネルにて  
仮囲いする。

現況

- 1) 旧リネン部門から改修後の新リネン部門への什器・備品・機器の移設(病院工事)を行う。  
2) 本體工事(建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備)を行う。  
3) 旧製剤部門からの什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本體工事との接続工事を行う。



・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

改修後

排風機設置概略図

排風機設置  
(ベニヤ板等で囲むこと。)

HEPA  
+ 中性能フィルター

屋上

2FL

プレキシブルダクト

1FL

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。  
搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。  
・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周りの天井改修も含むものとする。

凡例

仮設圍仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面)  
※壁高さによってはロー100で下地補強すること  
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000  
工事範囲側にサムターンを設置  
工事範囲外側は施錠すること

仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000  
工事範囲側にサムターンを設置  
工事範囲外側は施錠すること

防火区画  
仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面)  
※壁高さによってはロー100で下地補強すること  
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

仮設圍(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000  
工事範囲側にサムターンを設置

仮囲い: スライドパネル H=2510

工事範囲

移転範囲

居ながら工事範囲(土日主体)

改修工事中範囲

改修済み範囲

仮使用範囲

工事  
患者  
スタッフ

工事動線  
患者動線  
スタッフ動線

株式会社 日立建設設計

禁複写 無断転載禁止  
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

制定日 2001.09.01  
改訂日 2017.04.01  
文書番号 T02-G04-1704

REVISION

竣工図 (責任者)

作製日付  
作製者

年 月 日 印

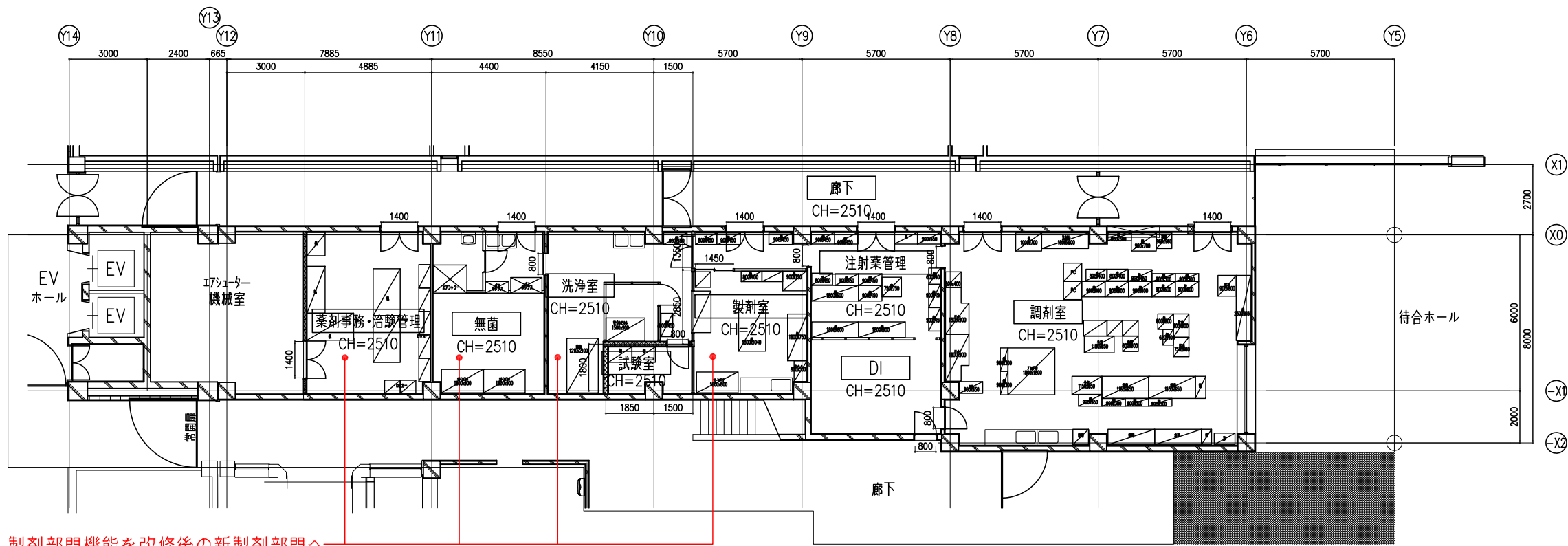
APPD. CHKD. DWN. 田中 武内

DATE 2019.03.29  
SCALE 1:100  
(A3) 1:200

JOB-NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事  
TITLE 仮設計画図-2 製剤部門-

DWG.NO. D-71



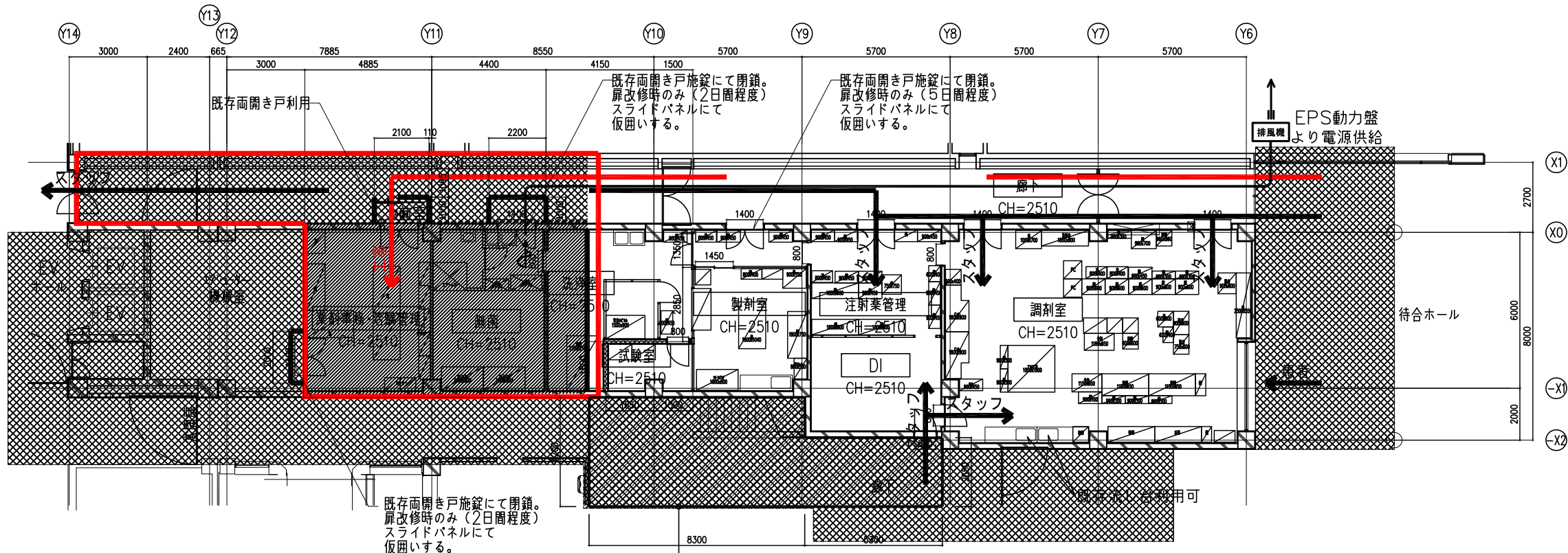


製剤部門機能を改修後の新製剤部門へ  
移転（病院工事）する。

step0（現況）

- 1）薬剤事務・治験管理、無菌、洗浄室、試験室、製剤室から改修後の新製剤部門へ什器・備品・機器を移設（病院工事）する。  
薬剤事務・治験管理の什器・備品については製剤部門の会議室にstep4まで仮置き（病院工事）する。

・病院備品を示す  
（病院側工事にて【移設】又は【撤去】）



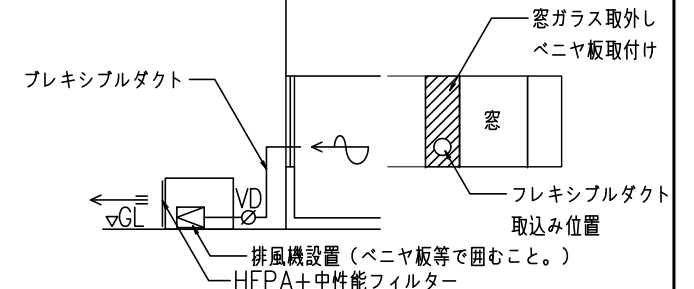
step1

- 設備工事に伴う先行工事（土主体）  
天井撤去、給水管更新（設備工事）後、天井新設

・病院備品を示す  
（病院側工事にて【移設】又は【撤去】）

- 2）図示工事範囲の本体工事（建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備）を行う。  
薬剤部門内廊下、廊下、待合ホールについては居ながら工事とする。

### 排風機設置概略図



給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、改修工事エリアを $-5\text{Pa}$ 陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機（4,000 $\text{CMH}$ ）を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れのないよう十分注意すること。

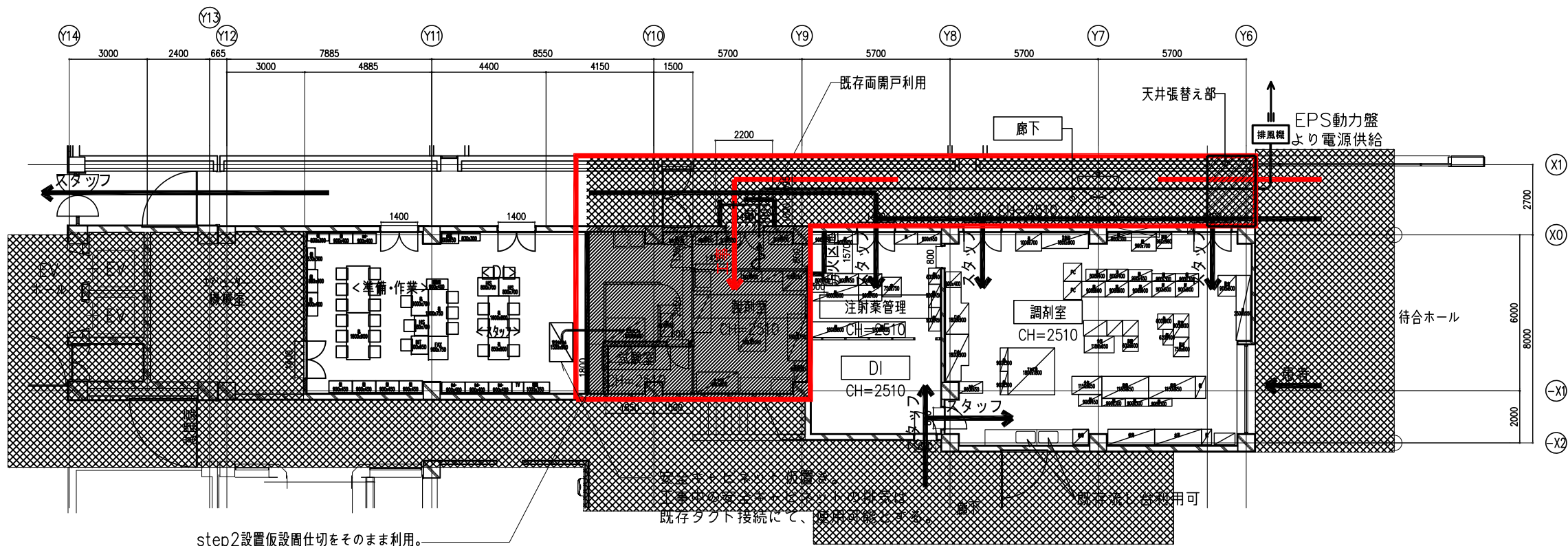
### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
- 搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50 $\text{m} \times 10$ 本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管（16）を20 $\text{m}$ 見込むこと。

### 凡例

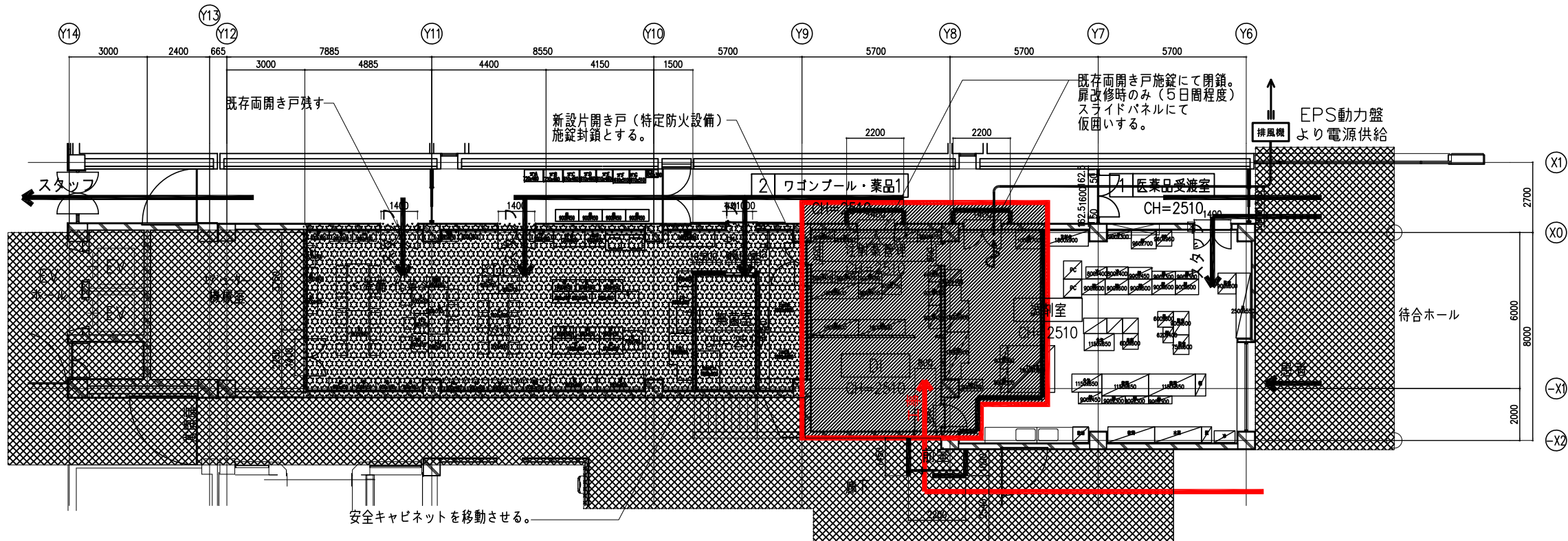
—	仮設圍仕切：LGS90下地+PB $\pm 12.5$ （両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
—	仮設扉：アルミ製片引き戸W900 $\times$ H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片引き戸W900 $\times$ H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切（防火壁）：LGS100下地+PB $\pm 21$ +PB $\pm 21$ （片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
防火区画	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片引き戸W900 $\times$ H2000 工事範囲側にサムターンを設置
防火区画	仮囲い：スライドパネル H=2510
工事範囲	工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲（土日主体）	居ながら工事範囲（土日主体）
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線





step2

2) <準備・作業>へ什器・備品の移設(病院工事)、安全キャビネットの仮移設(病院工事)を行い、図示工事範囲の本体工事を行う。  
薬剤部門内廊下、廊下、待ちホールについては居ながら工事とする。  
(一部天井張替え工事を含む。)



step3

3) step1、2で改修したエリアに朱書きの通りのレイアウトに什器・備品の設置(病院工事)、機器の設置(病院工事)を行い本体工事との接続工事を行い準備・作業、DI、スタッフの仮運用を開始する。  
4) 注射管理、DI、調剤室1/2(一部)の什器・備品・機器の移設(病院工事)を行う。  
仮設間仕切を設置し図示工事範囲の本体工事を行う。  
5) 待ちホールの本体工事(設備更新・天井張り替え)を居ながら工事でこの時期までに完了させる。

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)  
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

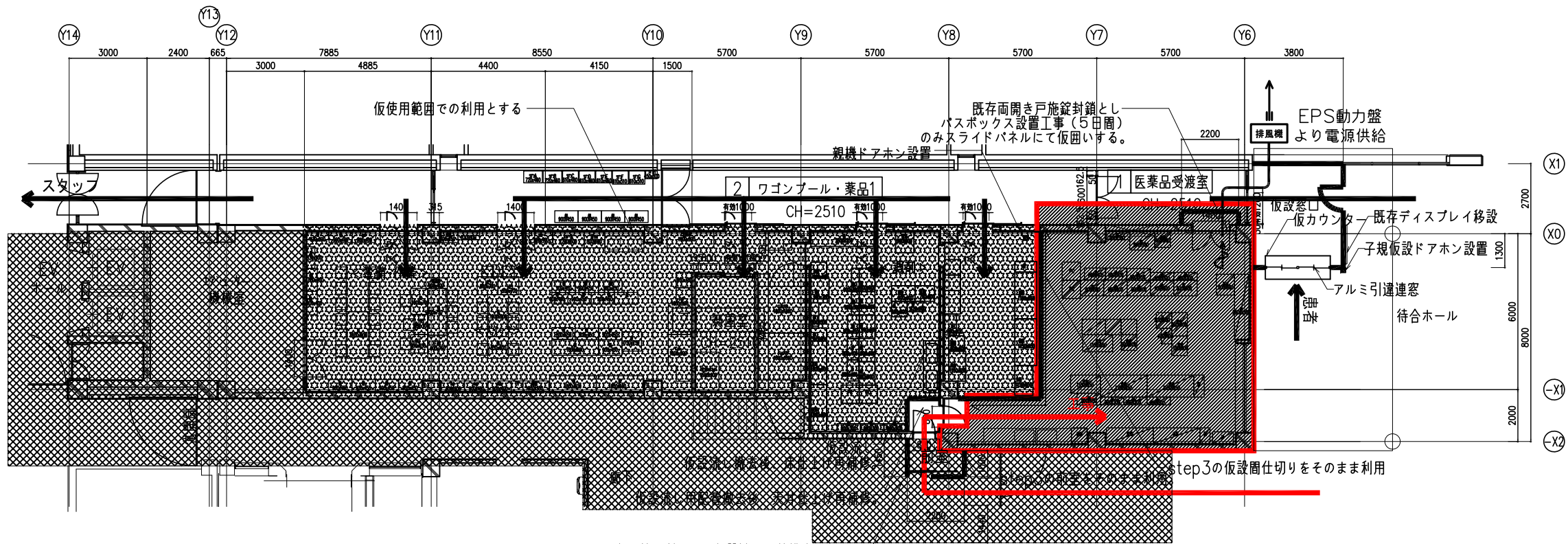
特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。  
搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。  
・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。  
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。  
・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

凡例

—	仮設間仕切: LGS90下地+PB $\pm$ 12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
—	仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設間仕切(防火壁): LGS100下地+PB $\pm$ 21+PB $\pm$ 21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
待防	仮設扉(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
□	仮囲い: スライドパネル H=2510
□	工事範囲
□	移転範囲
□	居ながら工事範囲(土日主体)
□	改修工事中範囲
□	改修済み範囲
□	仮使用範囲
→	工事動線
→	患者動線
→	スタッフ動線

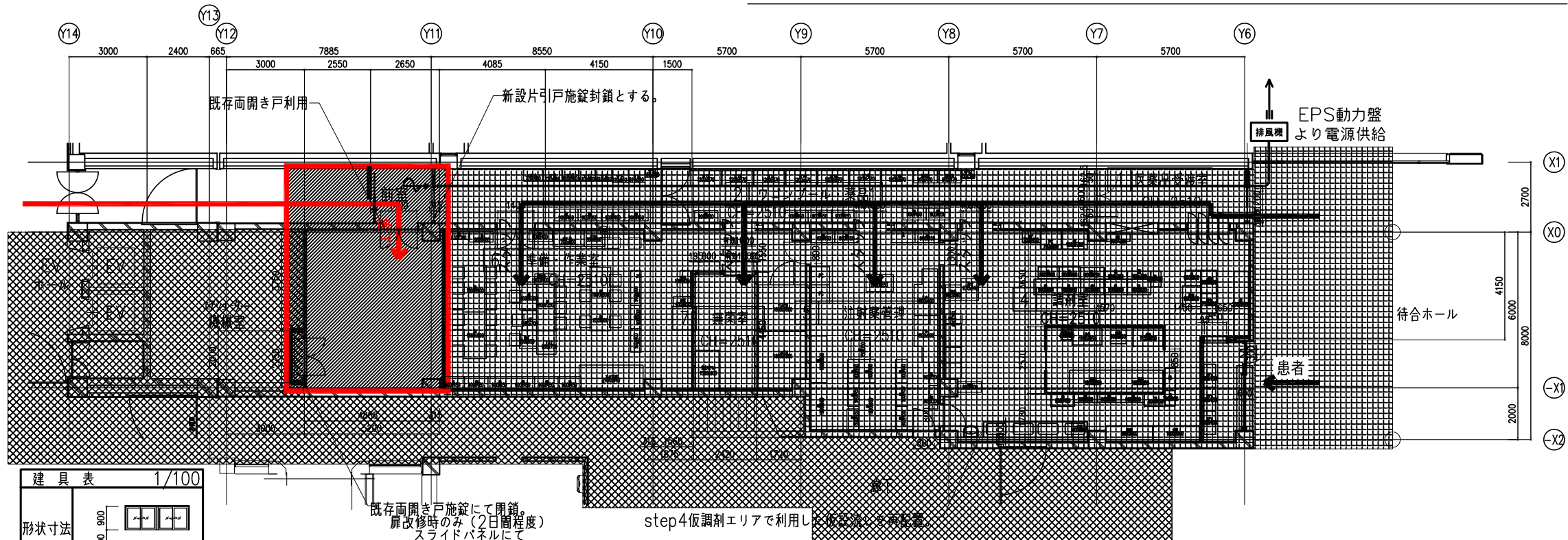




既存配管を利用し、仮設流しの給排水を行う。

step4

- 6) 仮設窓口を設置する。
- 7) step3で改修したエリアに朱書きの通りのレイアウトに什器・備品の配置(病院工事)、機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。  
仮<調剤>エリアに改修後の調剤室に新設する流しを仮設置する。
- 8) 調剤室2/2(一部)を移転(病院工事)し、仮設間仕切りを設置し図示工事範囲の本体工事を行う。工事エリアへは廊下側から出入りする。  
工事完了後、仮<調剤>エリアの仮設流しを撤去し、床仕上げと天井の再補修を行う。



step5

- 9) step4改修エリアの工事完了後、朱書きレイアウトのように什器・備品・機器を設置(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)、仮<調剤>の仮設流しの移設を行い、本体工事との接続工事を行う。
- 10) 仮設窓口を解体し、改修後の窓口の運用を開始する。
- 11) 図示工事範囲に仮設間仕切りを設置し、本体工事を行う。工事エリアへは廊下側から出入りする。
- 12) 廊下の本体工事(設備更新、天井やり替え)を居ながら工事でこの時期までに完成させる。

建具表 1/100	
形状寸法	
形式	アルミ製引連窓(カウンター窓)
設置場所	仮設窓口
W x H	2400 x 900
見込	70
硝子	T+5
仕上	シルバー
錠前類	クレセント

### 排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

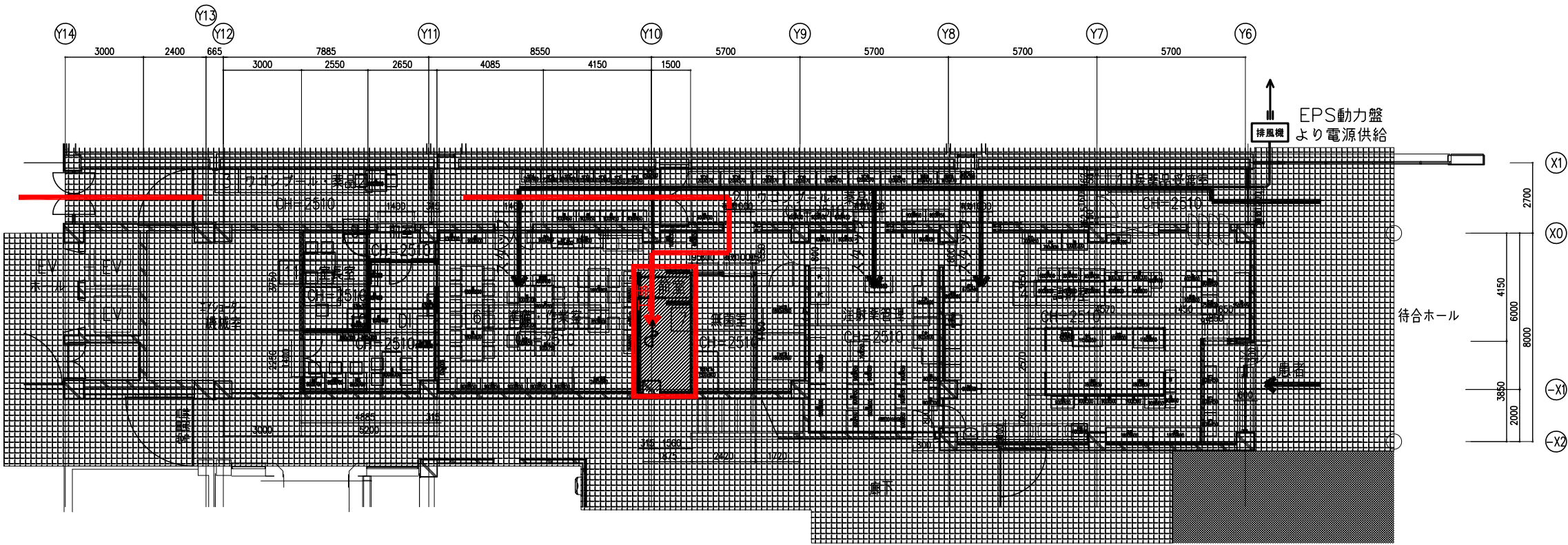
### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
- ・搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

### 凡例

	仮設間仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	防火区画 仮設間仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉(特定防火設備): 鋼製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い: スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線

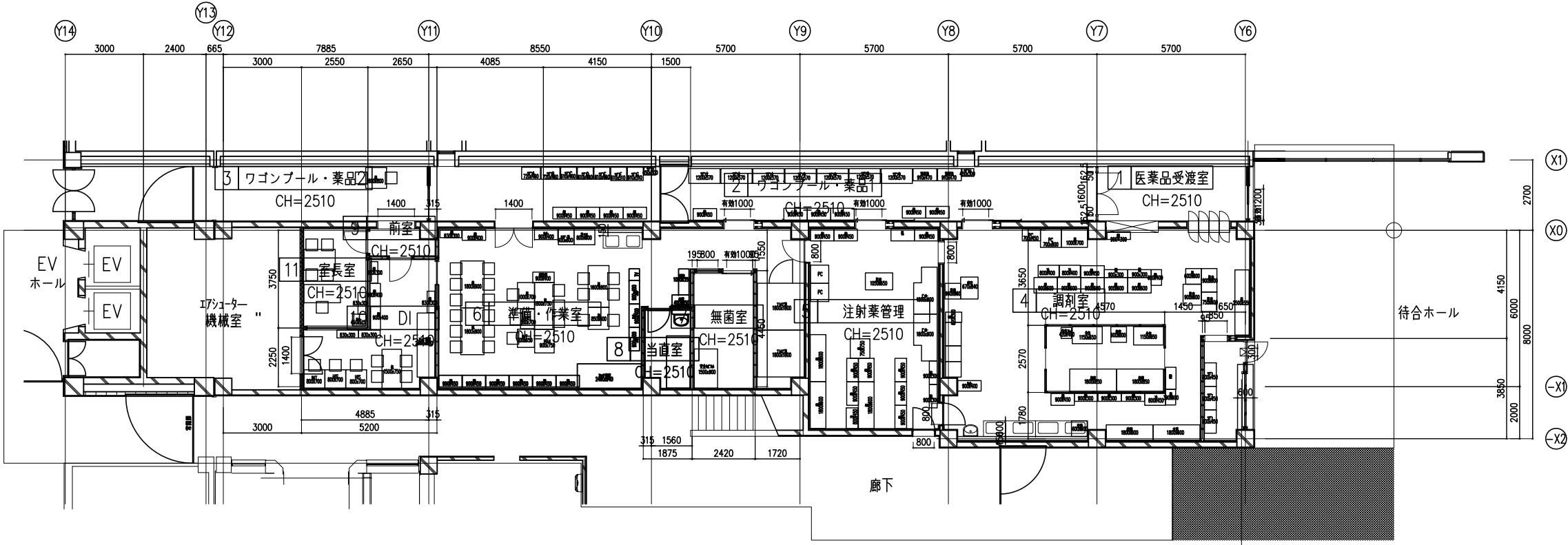




step6

13) 準備作業室の備品・什器の一部移設(病院工事)を行い、仮設間仕切りを設置し  
図示工事範囲の本体工事を行い当直室へ改修する。

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【撤去】)



step6完了後(完成)

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【撤去】)

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)  
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

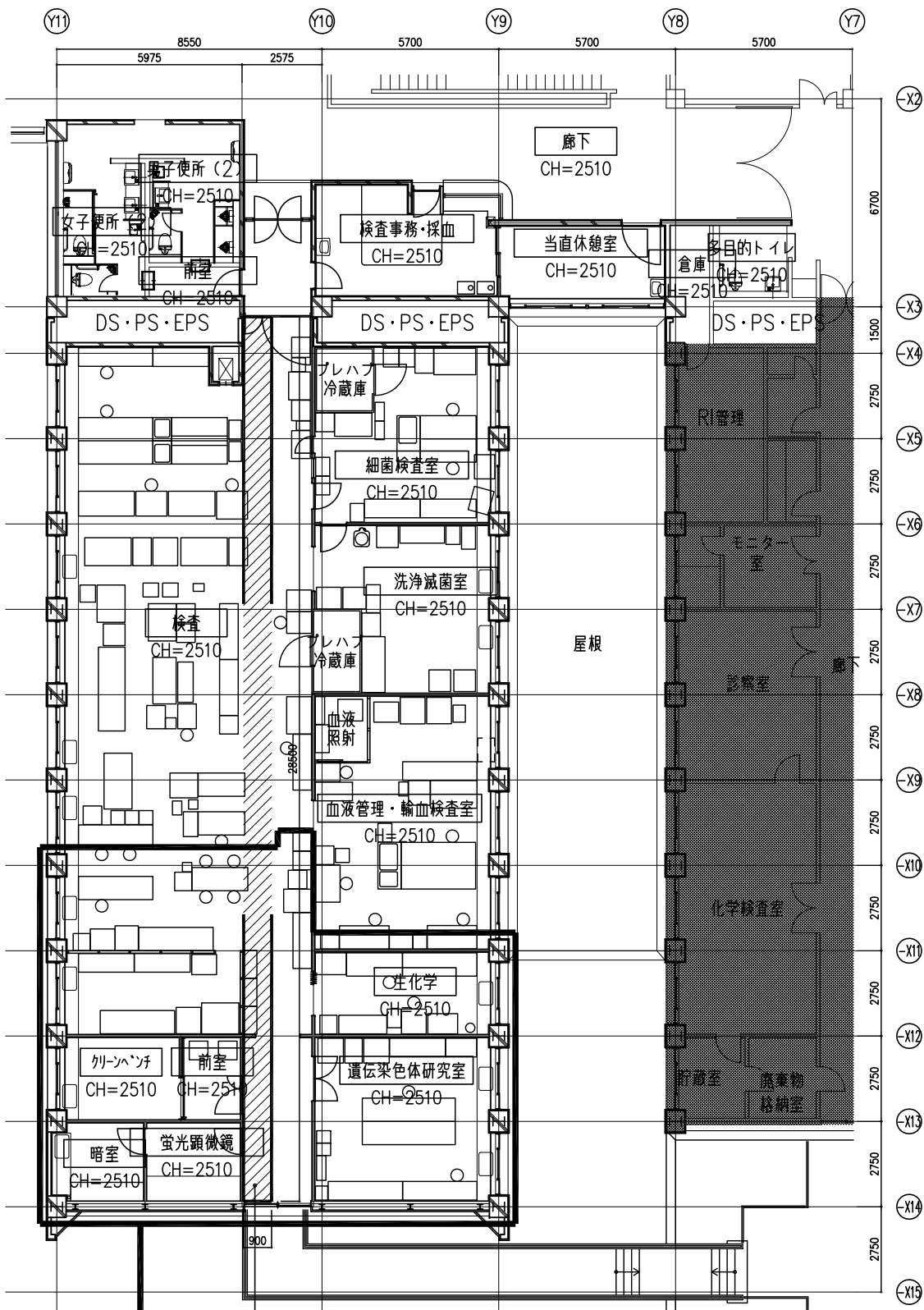
特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により  
必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分  
注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他  
の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまぬ工事は土休日に行うこと。1階  
検査部門の脳液室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動  
をとまぬ工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。  
搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルー  
シート等で養生を行うこと。  
・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りするこ  
と。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、でき  
るだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。  
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2  
次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。  
・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

凡例

—	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
—+—	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
┌┐	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設間仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
寺防	仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
—	仮囲い：スライドパネル H=2510
□	工事範囲
□	移転範囲
▨	居ながら工事範囲(土日主体)
▨	改修工事中範囲
▨	改修済み範囲
▨	仮使用範囲
→	工事動線
→	患者動線
→	スタッフ動線



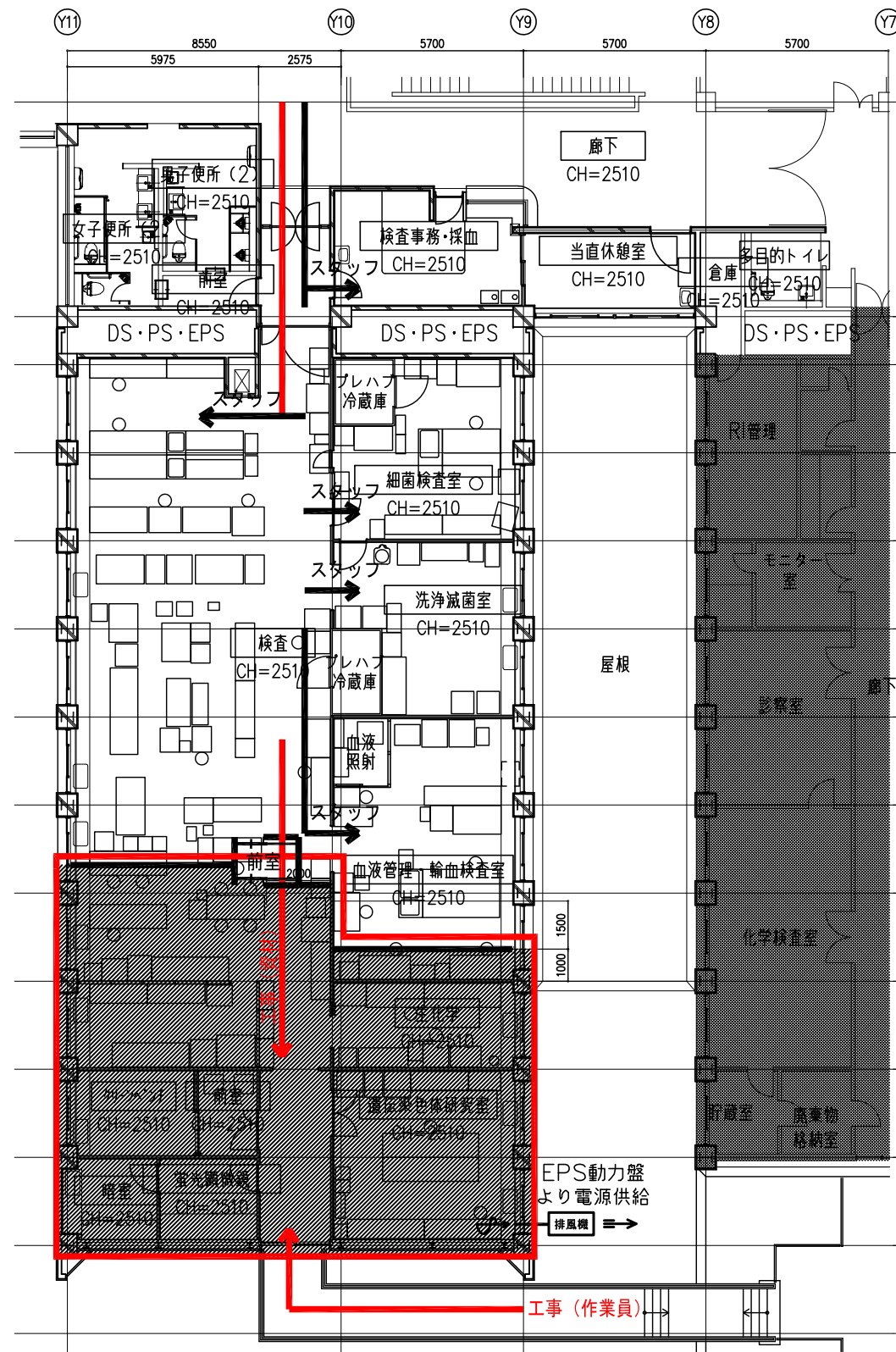


step0 (現況)

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

設備工事に伴う先行工事(土日主体)  
天井撤去、給水管更新(設備工事)後、天井ブルーシートにて仮復旧

- ①・遺伝子→H棟2階に仮移転する。最終的には1階病理棟横に移転する。(病院工事)  
・スぺルギルス→H棟2階に仮移転または一時外注する。(病院工事)  
・アミノ酸→H棟2階に仮移転または一時外注する。(病院工事)



step1

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

- 1) 図示工事範囲の本体工事(建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備)を行う。  
部門内の動線部の天井内の設備更新工事は、先行工事で解体した天井部分を利用し行う。

### 排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

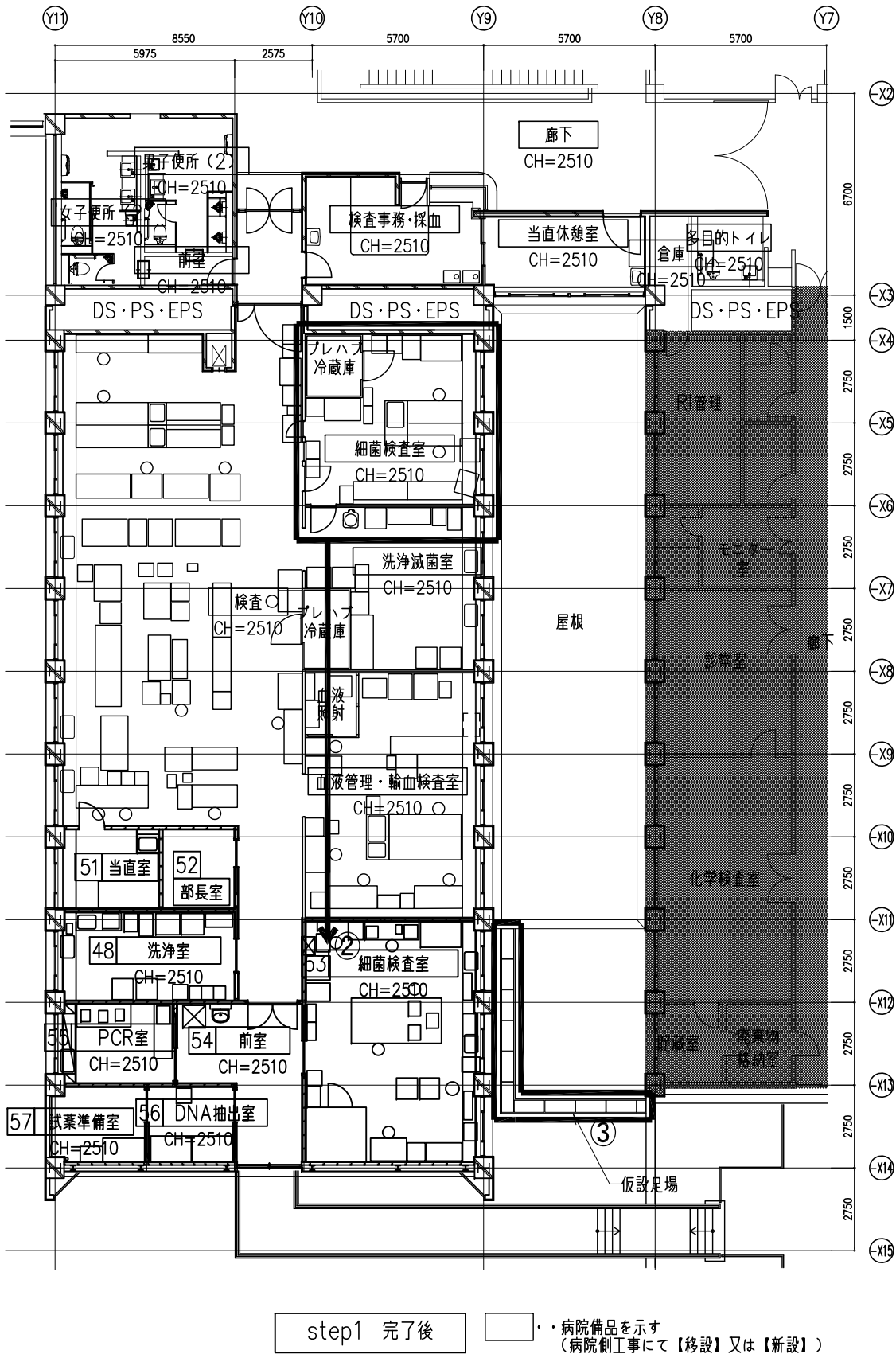
### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまぬ工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳液室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまぬ工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50mm×10mm本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

### 凡例

—	仮設圍仕切: LGS90下地+PB±12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB±21+PB±21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
時防	仮設扉(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
工事	仮囲い: スライドパネル H=2510 工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲(土日主体)	居ながら工事範囲(土日主体)
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線





② 改修後のエリアに朱書きレイアウトの通りに什器・備品・機器の移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

③ 仮設足場を図の通りに設置する。

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置（ベニヤ板等で囲むこと。）

HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを－5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

・排風機用の電源線として、EM－CE3.5－4Cを50m見込むこと。

・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。

・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。

・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。

・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。

・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。

・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳液室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。

・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。

・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。

・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。

・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。

・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0－3C 50m×10本を見込むこと。

・LAN設備の仮設配管としてPFF管（16）を20m見込むこと。

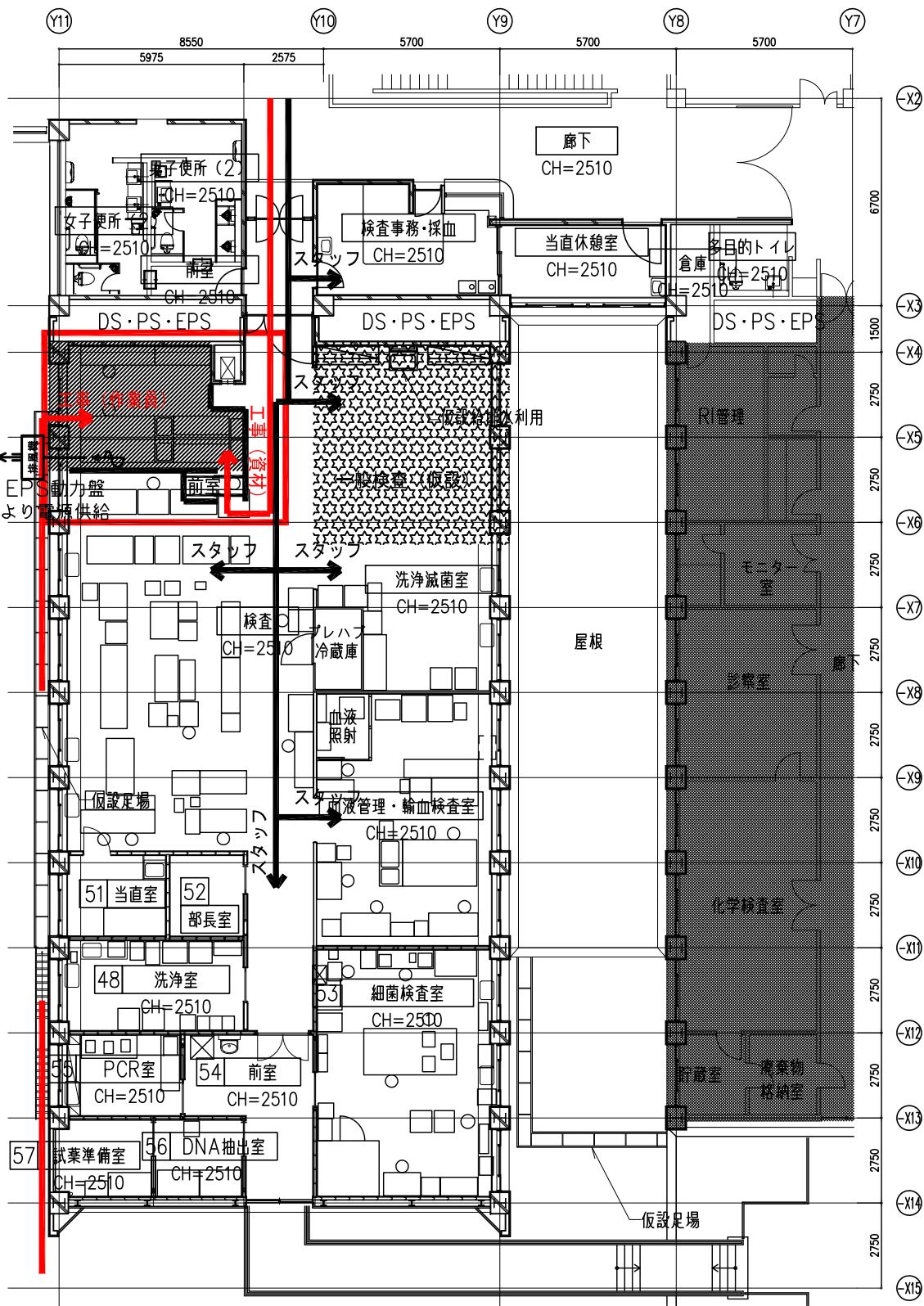
凡例

—	仮設圍仕切：LGS90下地+PB±12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切（防火壁）：LGS100下地+PB±21+PB±21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
時防	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
工	仮囲い：スライドパネル H=2510
工	工事範囲
移	移転範囲
居	居ながら工事範囲（土日主体）
改	改修工事中範囲
改	改修済み範囲
仮	仮使用範囲
工	工事動線
患	患者動線
スタ	スタッフ動線





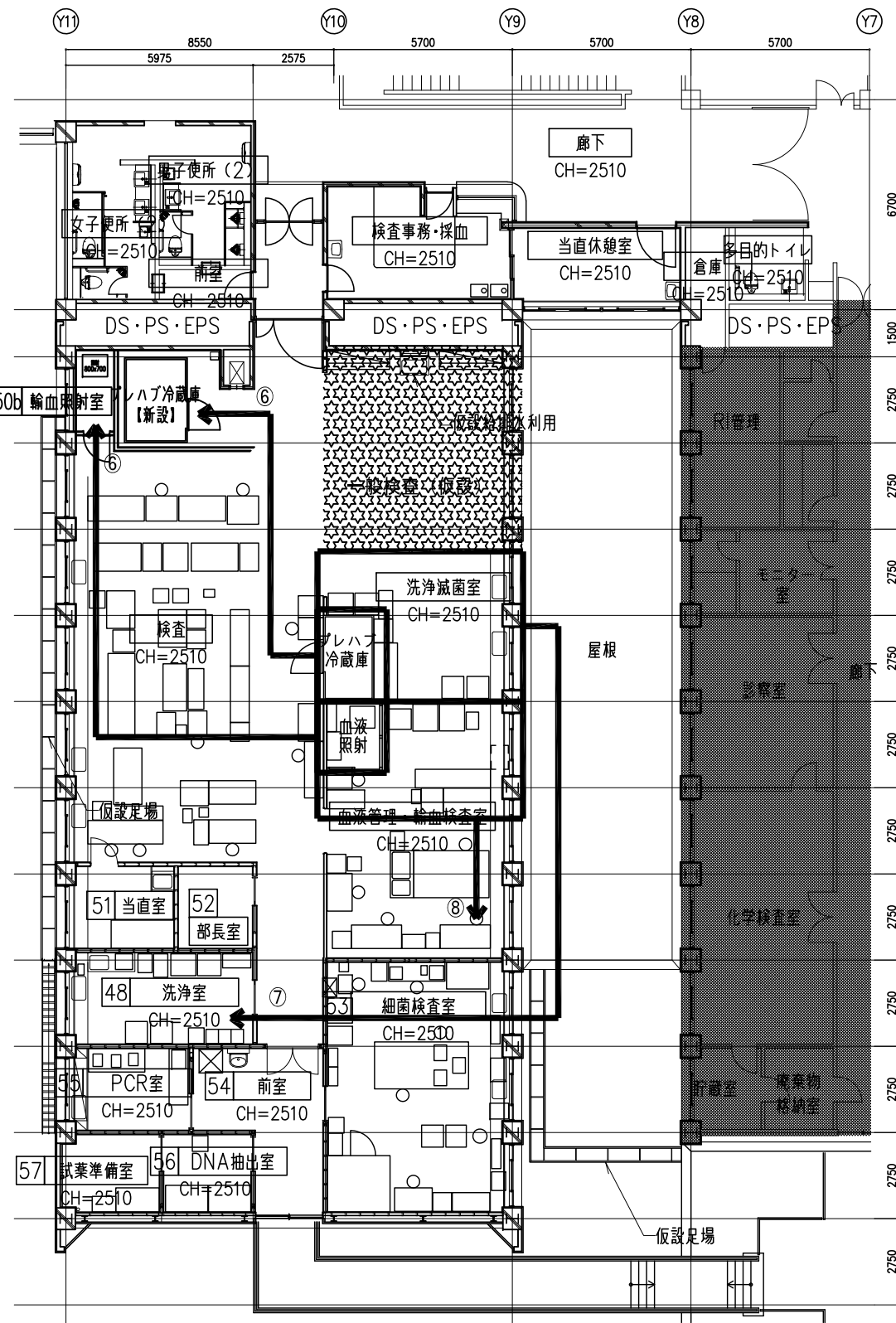




step3

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

- 1) 図示工事範囲の本体工事を行う。  
作業員は屋外から工事エリアに出入りする。  
工事資材は、営業時間外及び休日に限り廊下からの搬出入を可能とする。
- 2) 一般検査を仮設で運用する。



step3完了後

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

- ⑥ 血液照射装置の移転(病院工事)、新設プレハブ冷蔵庫を設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本移動】
- ⑦ 旧洗浄滅菌室から改修後の新洗浄室への什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本移動】
- ⑧ 旧血液管理・輸血検査室の什器・備品・機器の仮移設(病院工事)を行う。

### 排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

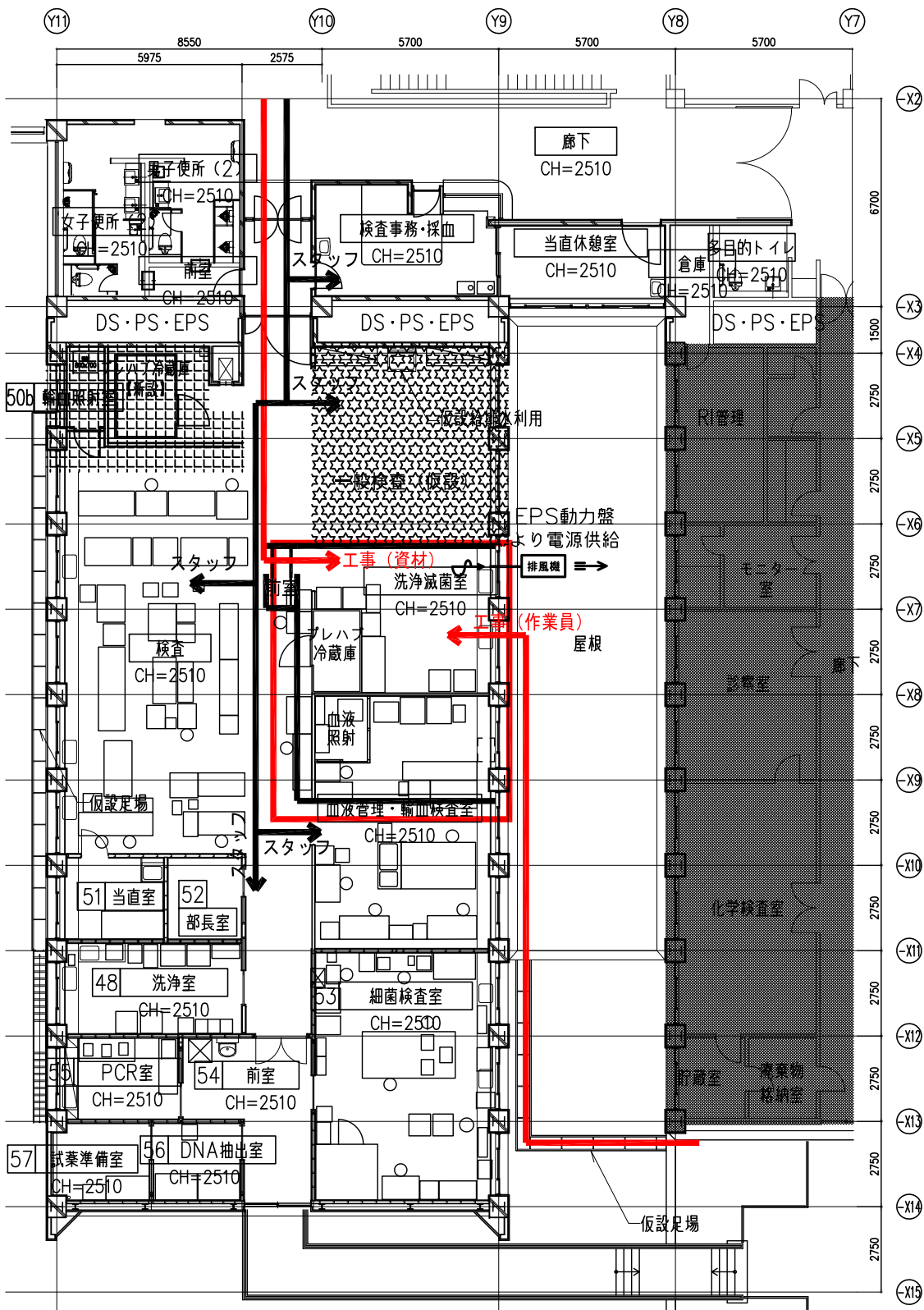
### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50mm×10mm本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

### 凡例

—	仮設囲仕切：LGS90下地+PB $\times$ 12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製引き戸W900 $\times$ H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片開き戸W900 $\times$ H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設囲仕切(防火壁)：LGS100下地+PB $\times$ 21+PB $\times$ 21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
耐火区画	仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900 $\times$ H2000 工事範囲側にサムターンを設置
仮囲い	仮囲い：スライドパネル H=2510
工事範囲	工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲(土日主体)	居ながら工事範囲(土日主体)
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線

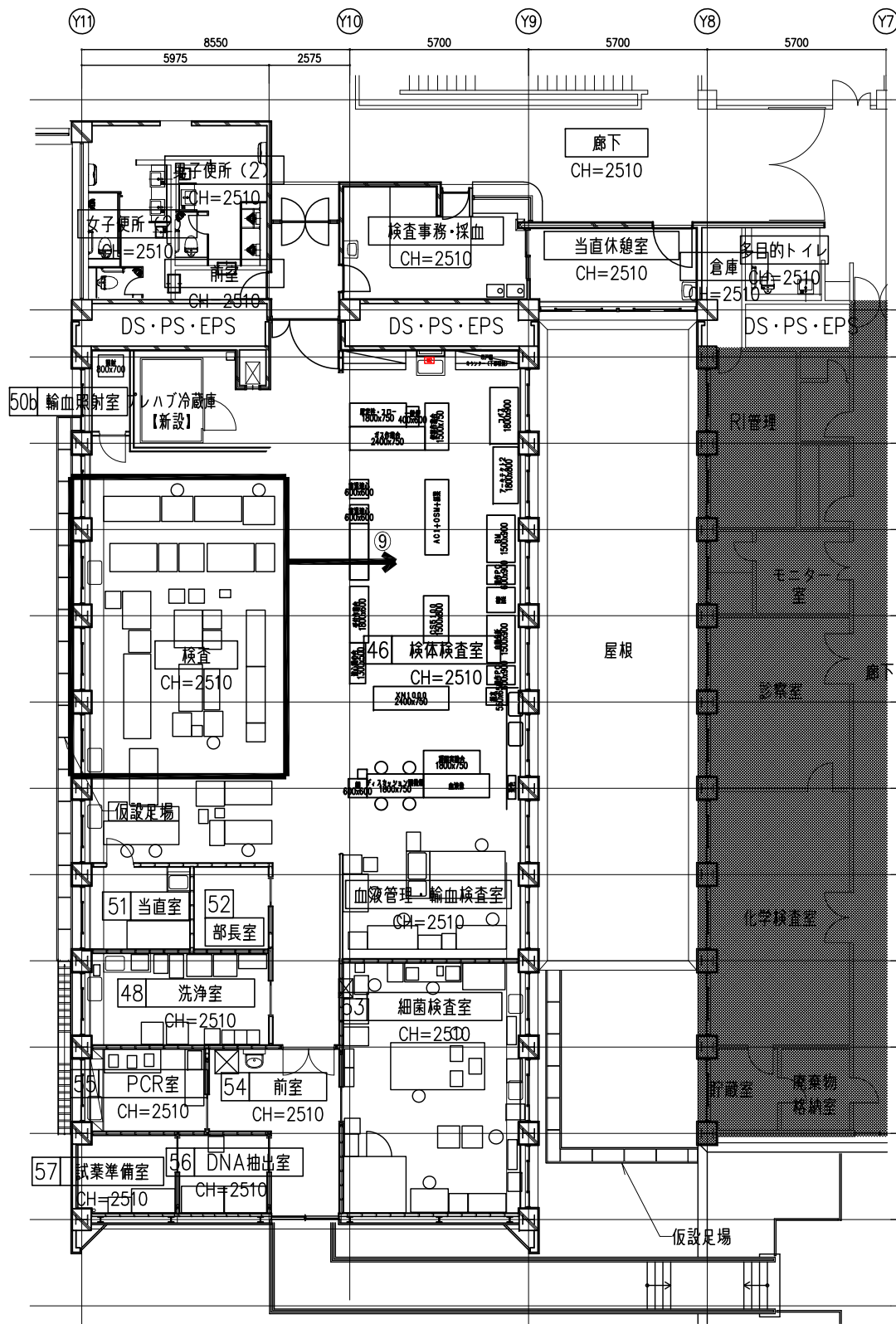




step4

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 図示工事範囲の一般検査2/2の本体工事を行う。



step4完了後

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

⑨ 旧一般検査から改修後の新検体検査室への什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

### 排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

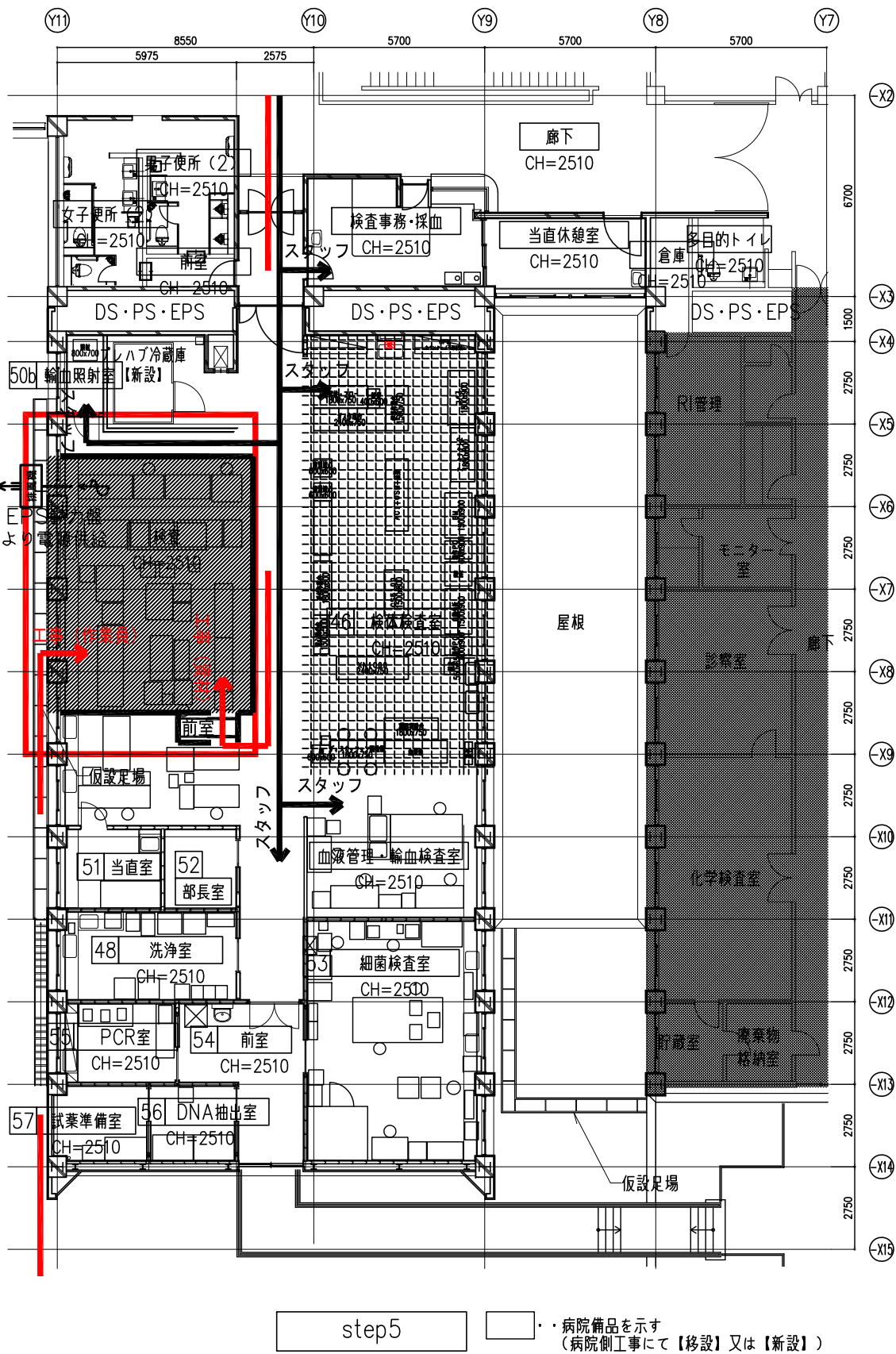
### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切戻し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50mm×10mm本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

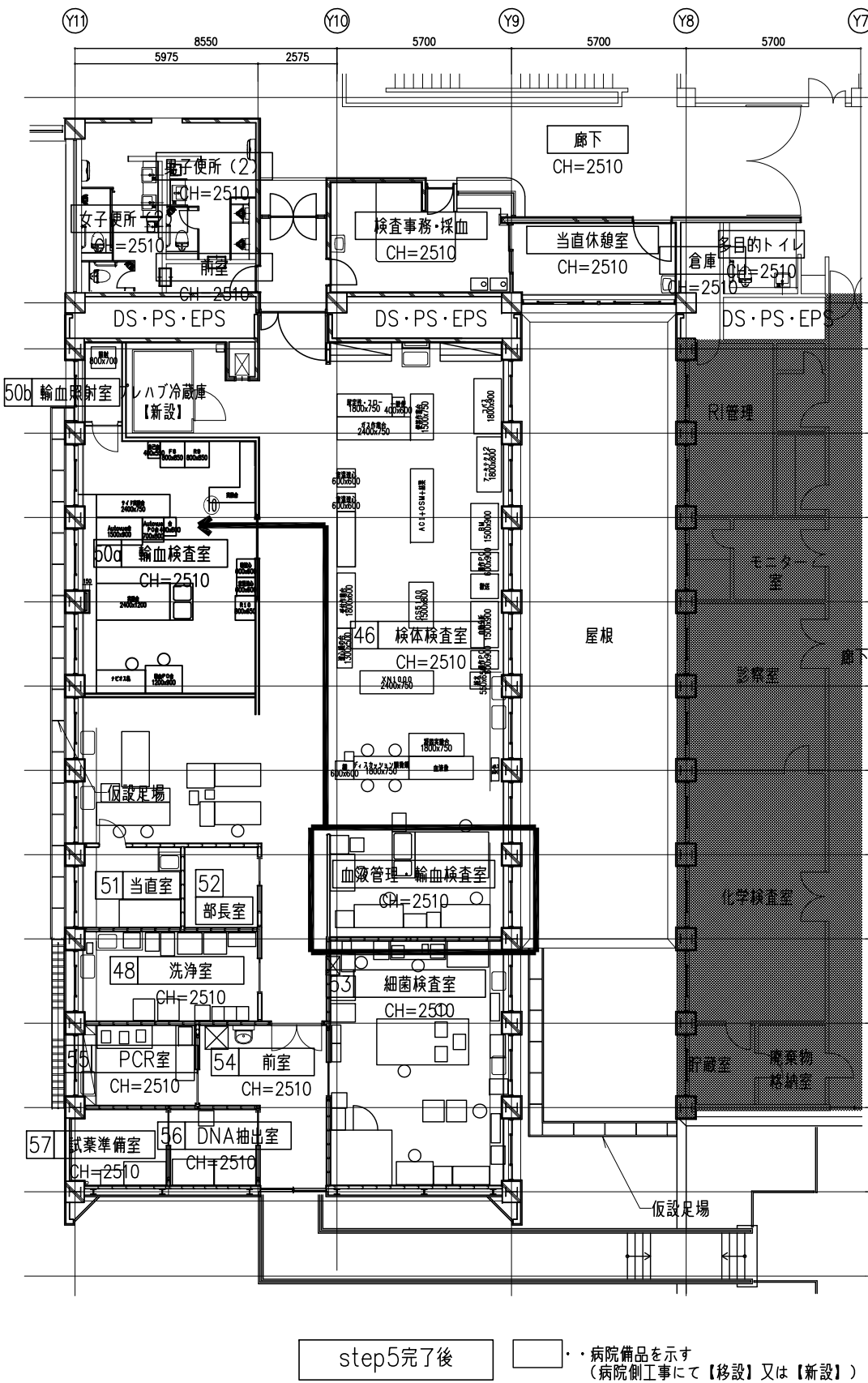
### 凡例

—	仮設圍仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
耐火	仮設圍(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
仮囲い	仮囲い: スライドパネル H=2510
工事範囲	工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲(土日主体)	居ながら工事範囲(土日主体)
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線





- 1) 図示工事範囲の本体工事を行う。
- 2) 工事完了後、血液照射室への動線部分に仮設間仕切りを設置し step5の工事完了とする。



- ⑩ 仮設の血液管理・輸血検査室から改修後の新輸血検査室への什器・備品・機器の移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

### 排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

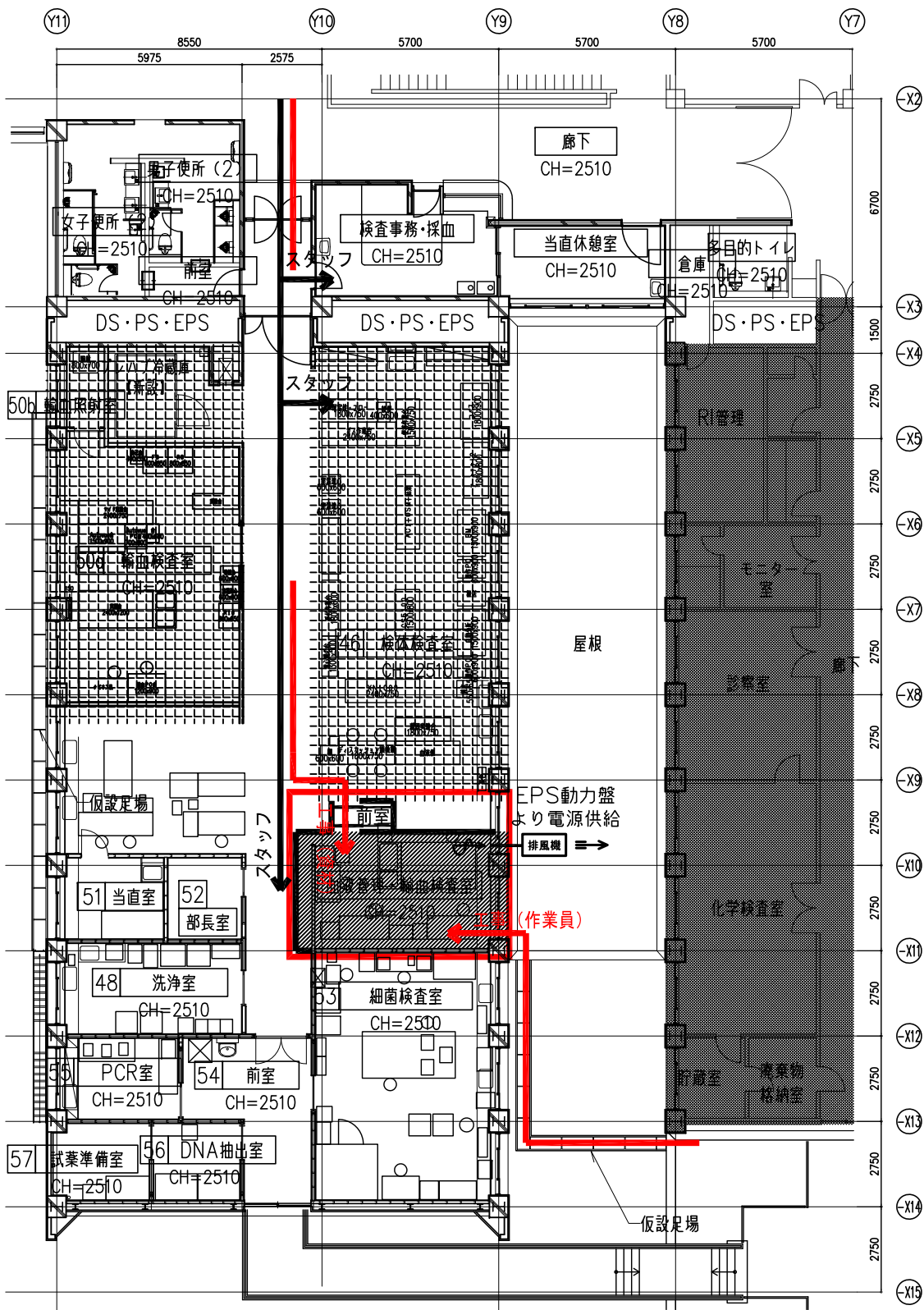
### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切戻し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50mm×10mm本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管（16）を20m見込むこと。

### 凡例

—	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設間仕切（防火壁）：LGS100下地+PB+21+PB+21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
耐火	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
仮囲い	仮囲い：スライドパネル H=2510
工事範囲	工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲（土日主体）	居ながら工事範囲（土日主体）
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線

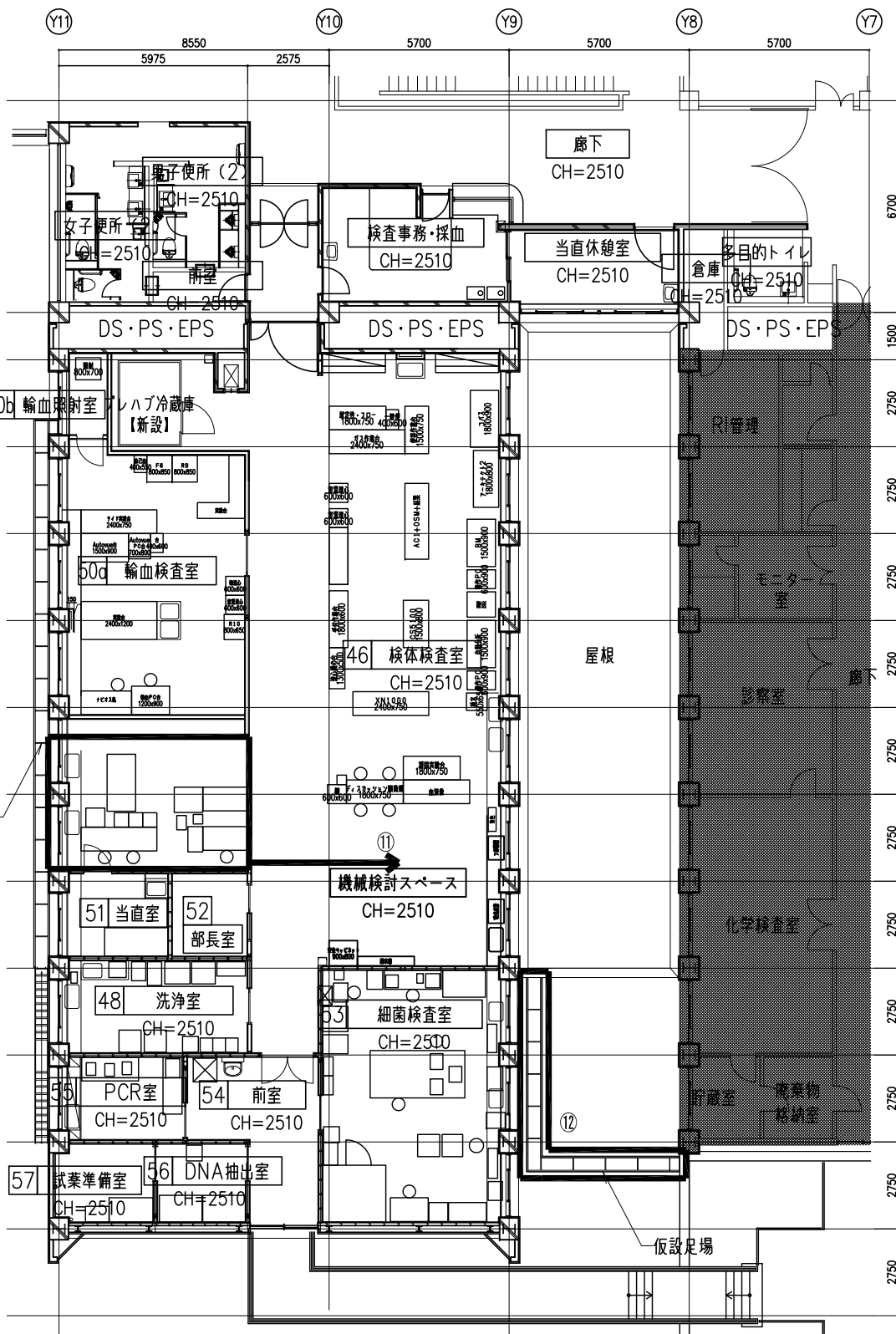




step6

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 図示工事範囲の本体工事を行う。



step6完了後

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

⑪ 旧一般検査室から改修後の新機械検討スペースへ、残りの什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

⑫ Y11通り沿いの仮設足場を撤去する。

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)  
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により  
必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分  
注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその  
場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をともなう工事は土休日に行うこと。1階  
検査部門の脳液室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動  
をともなう工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。  
搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルー  
シート等で養生を行うこと。  
・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りするこ  
と。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、で  
きるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。  
・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2  
次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50mm×10mm本を見込むこと。  
・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

凡例

—

仮設圍仕切：LGS90下地+PB+12.5(両面)  
※壁高さによってはロー100で下地補強すること  
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

—

仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000  
工事範囲側にサムターンを設置  
工事範囲外側は施錠すること

—

仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000  
工事範囲側にサムターンを設置  
工事範囲外側は施錠すること

防火区画

仮設圍仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面)  
※壁高さによってはロー100で下地補強すること  
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

防火区画

仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000  
工事範囲側にサムターンを設置

防火区画

仮囲い：スライドパネル H=2510

工事範囲

工事範囲

移転範囲

移転範囲

居ながら工事範囲(土日主体)

居ながら工事範囲(土日主体)

改修工事中範囲

改修工事中範囲

改修済み範囲

改修済み範囲

仮使用範囲

仮使用範囲

工事

工事動線

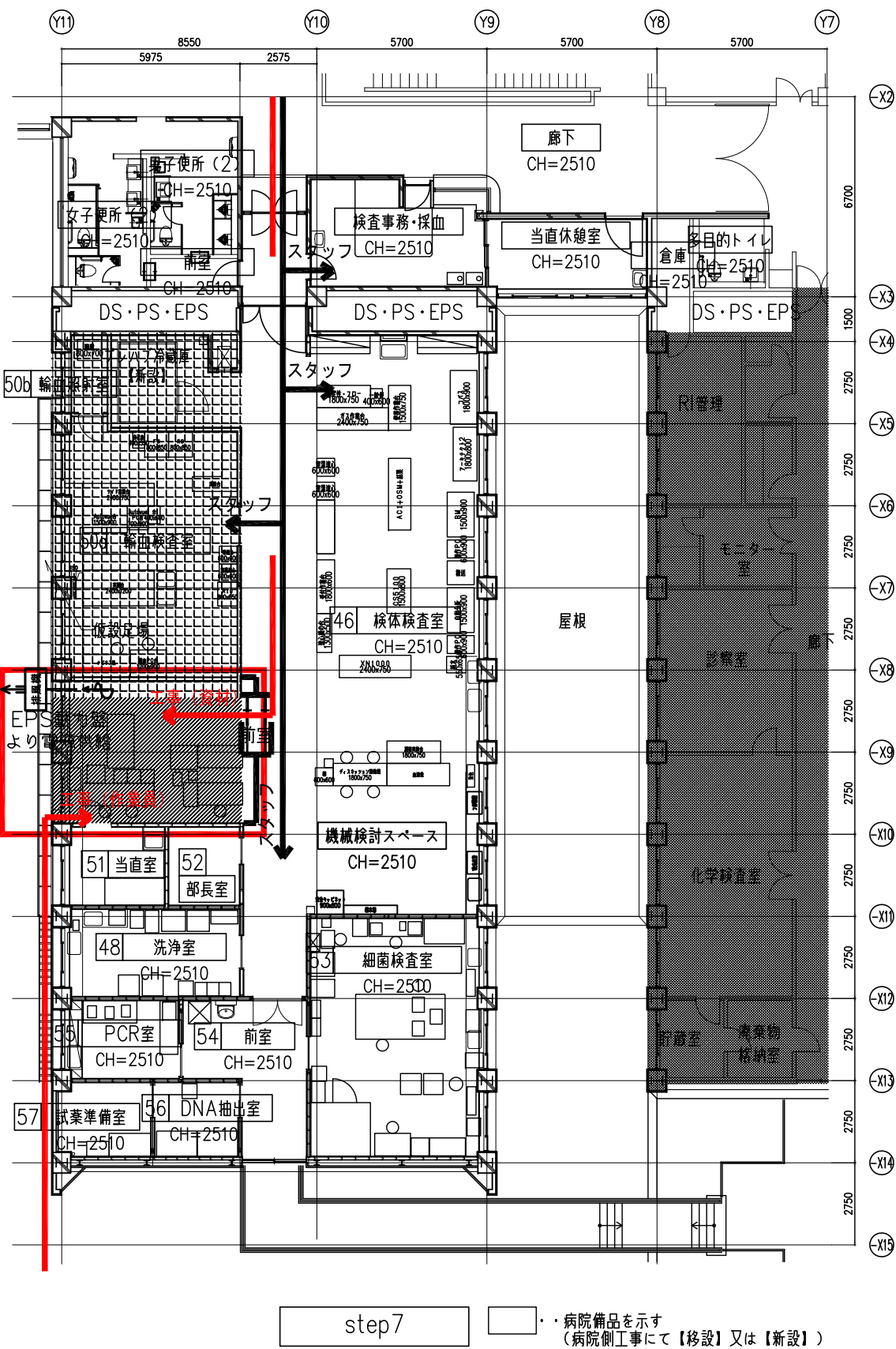
患者

患者動線

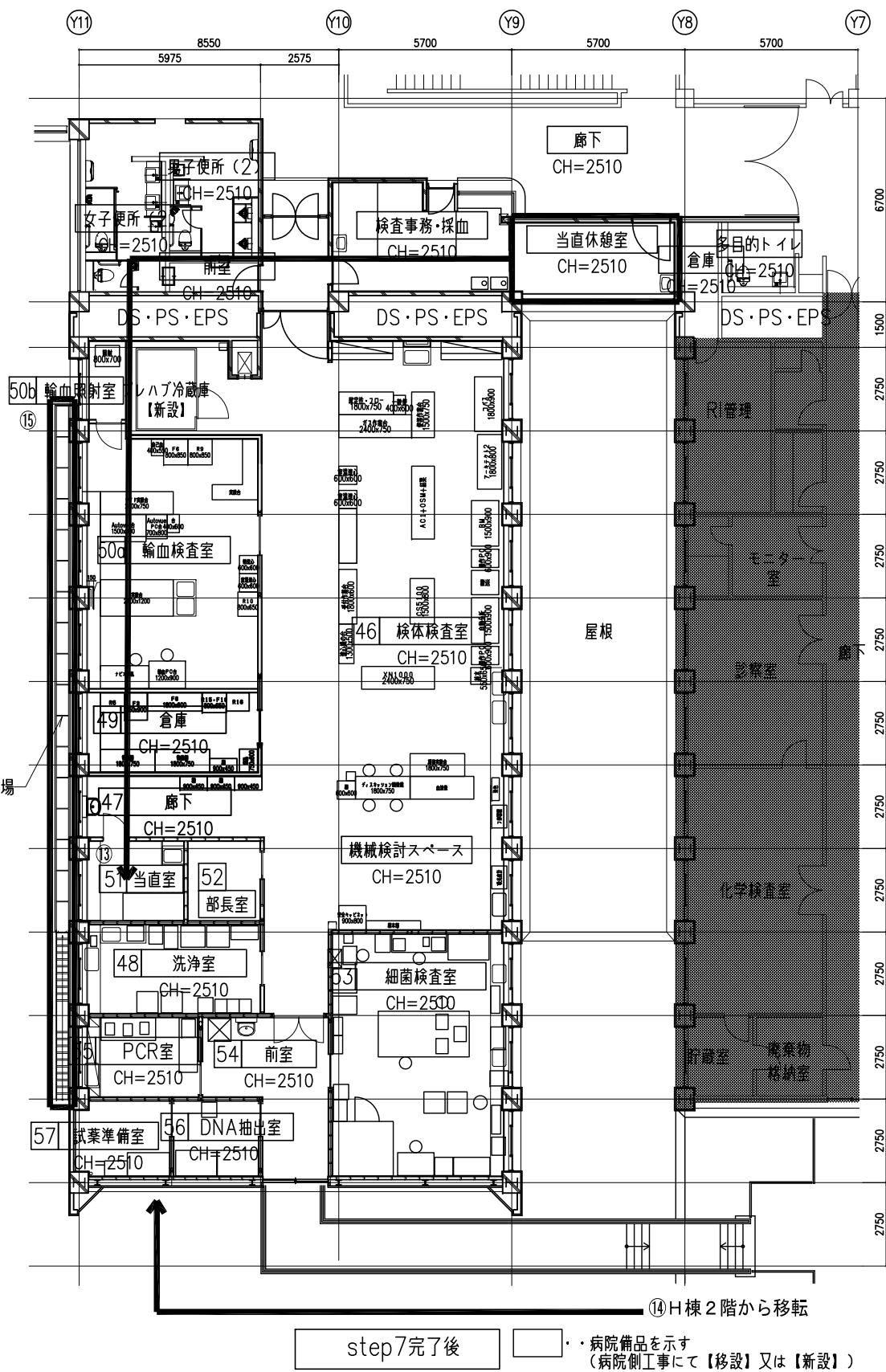
スタッフ

スタッフ動線





1) 図示工事範囲の本体工事を行う。



⑬ 旧当直休憩室から改修後の新当直室への什器・備品の移設（病院工事）を行う。【本移働】

⑭ H棟2階からアスベルギルス、アミノ酸をの什器・備品・機器を移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本移働】（遺伝子は最終的に1階病理横に移転の予定）

⑮ Y11通り沿いの仮設足場を解体する。

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置（ベニヤ板等で囲むこと。）  
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

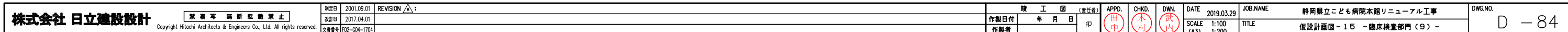
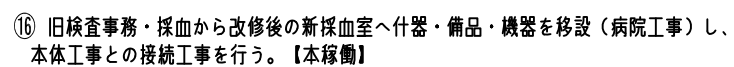
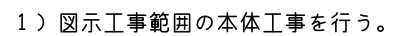
特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。  
・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。  
・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50mm×10mm本を見込むこと。  
・LAN設備の仮設配管としてPFF管（16）を20m見込むこと。

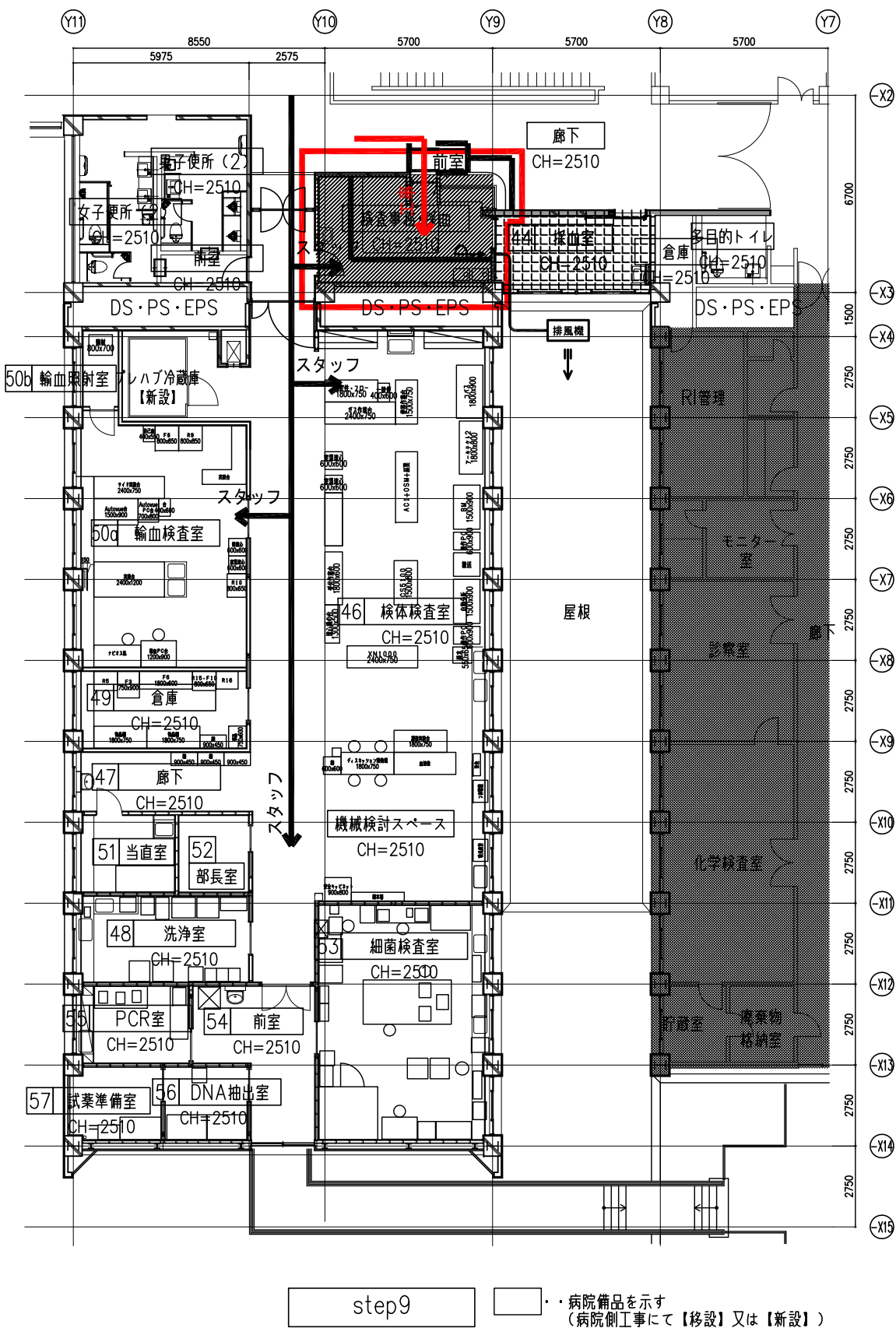
凡例

—	仮設圍仕切：LGS90下地+PB±12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切（防火壁）：LGS100下地+PB±21+PB±21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
時防	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲	仮囲い：スライドパネル H=2510
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲（土日主体）	居ながら工事範囲（土日主体）
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線

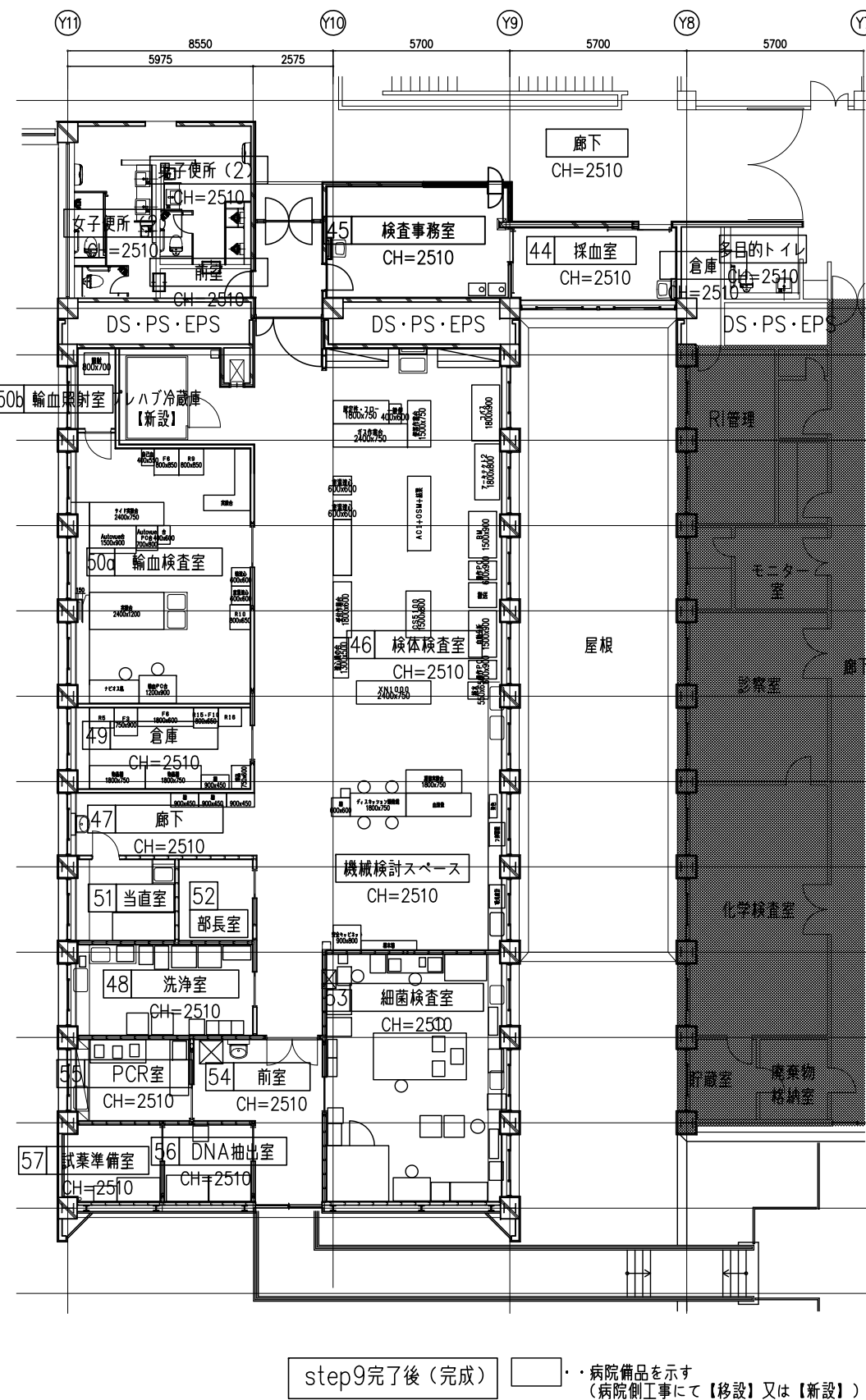








1) 図示工事範囲の本体工事を行う。  
エアシューターの頻繁利用や固定ハブがあるため、壁改修をする  
範囲を仮設間仕切りで囲い、アスベルギルス対策を行う。



排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置（ベニヤ板等で囲むこと。）  
HEPA+中性能フィルター

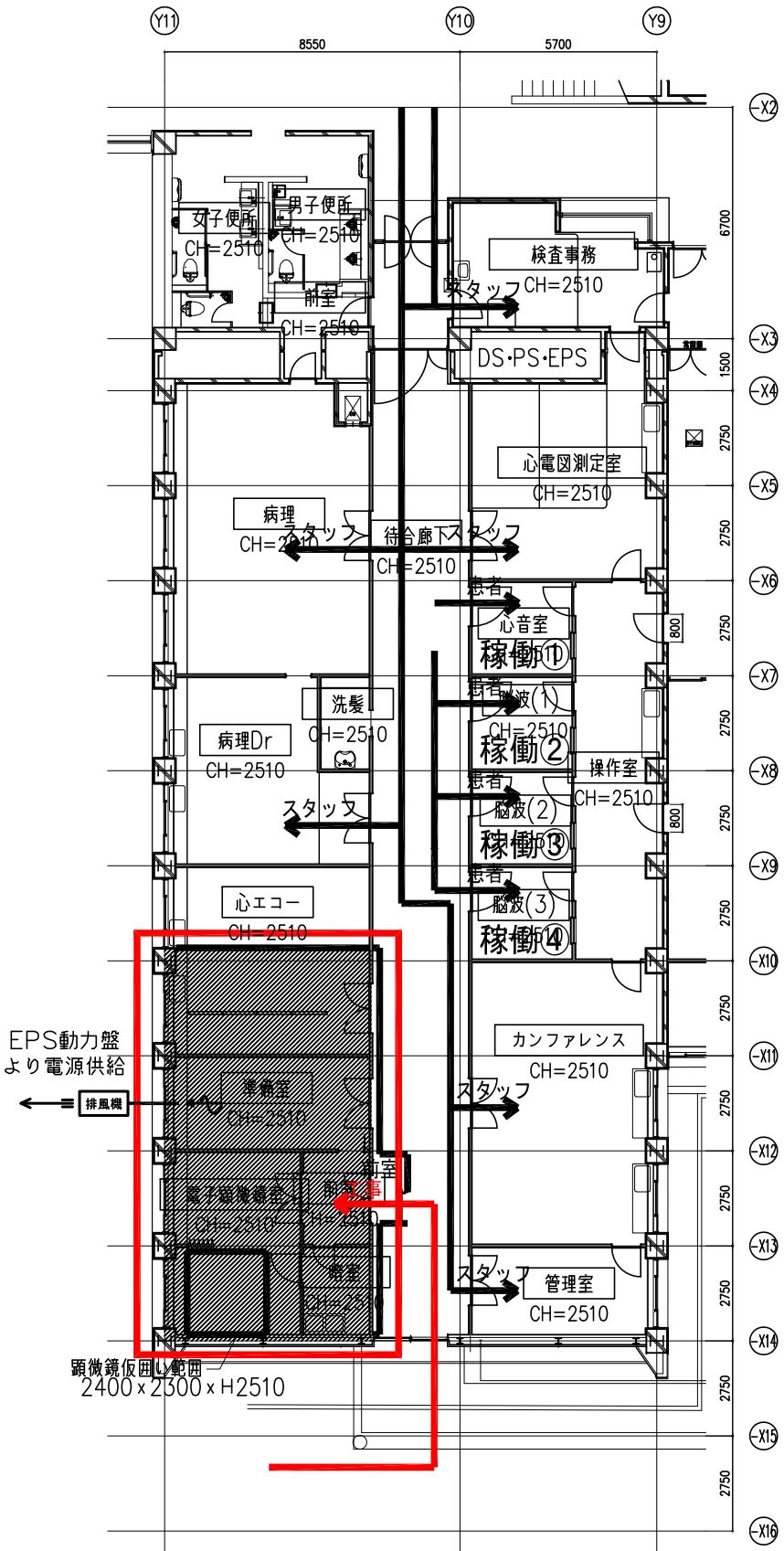
給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により  
必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分  
注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその  
の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階  
検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動  
をとまう工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。  
搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルー  
シート等で養生を行うこと。  
・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りするこ  
と。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、で  
きるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。  
・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2  
次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50mm×10mm本を見込むこと。  
・LAN設備の仮設配管としてPFF管（16）を20m見込むこと。

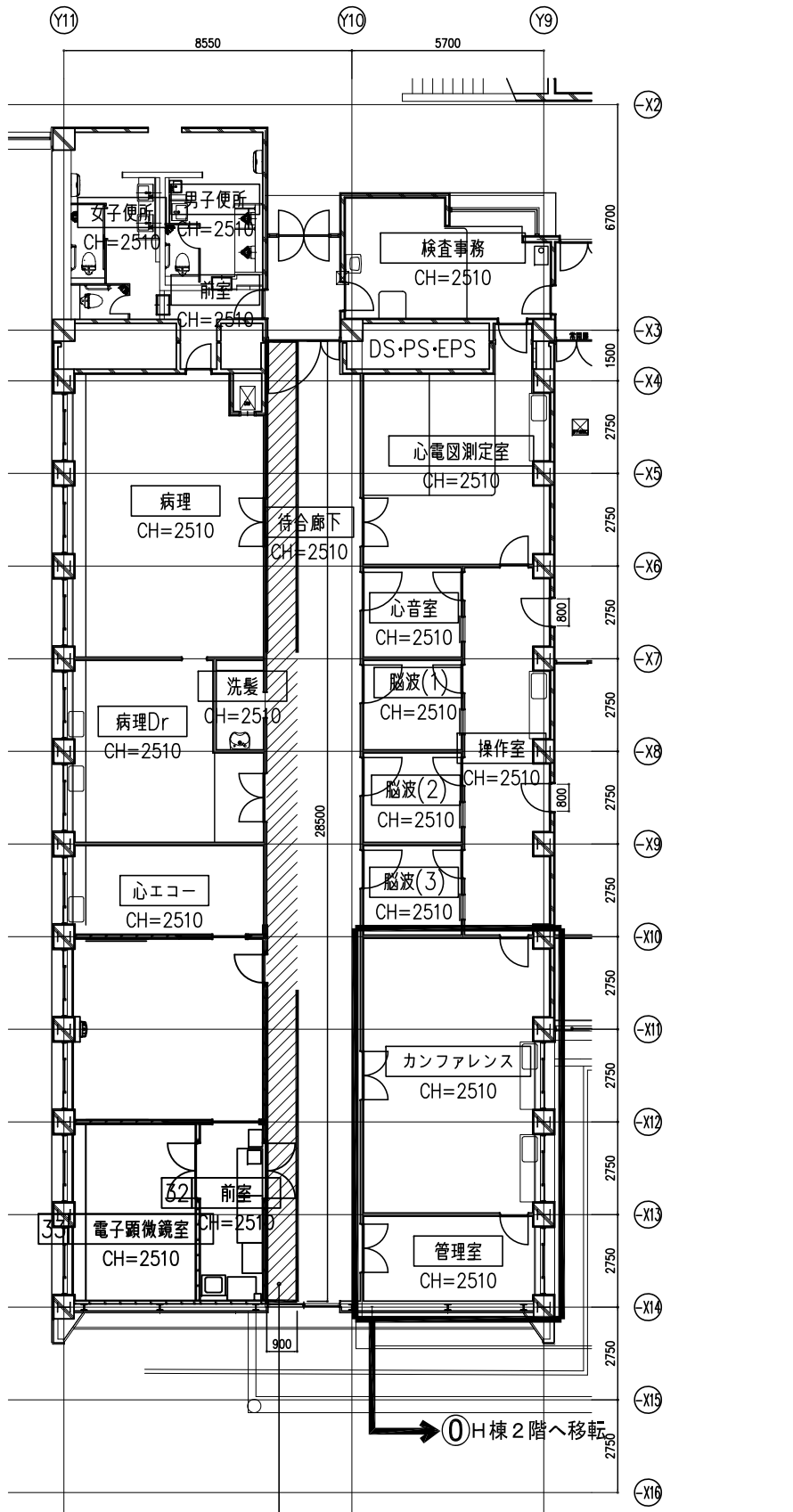
凡例

—	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設間仕切（防火壁）：LGS100下地+PB+21+PB+21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
時防	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲	仮囲い：スライドパネル H=2510 工事範囲
移動範囲	移動範囲
居ながら工事範囲（土日主体）	居ながら工事範囲（土日主体）
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線



step0 (先行工事) □ 病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 準備室、電子顕微鏡室、前室、暗室の工事を2階臨床検査部門の工事と同時期に行う。  
電子顕微鏡室は空調機の更新に伴う天井チャンパー塞ぎ工事のみ行う。  
その際、電子顕微鏡室内の顕微鏡を2300×2400×H2510の範囲で仮囲いする。



step0 (現況) □ 病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

設備工事に伴う先行工事(土日主体)  
天井撤去、給水管更新(設備工事)後、  
天井ブルーシートにて仮復旧

① カンファレンス、管理室の什器・備品をH棟2階に仮移設(病院工事)する。

### 排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

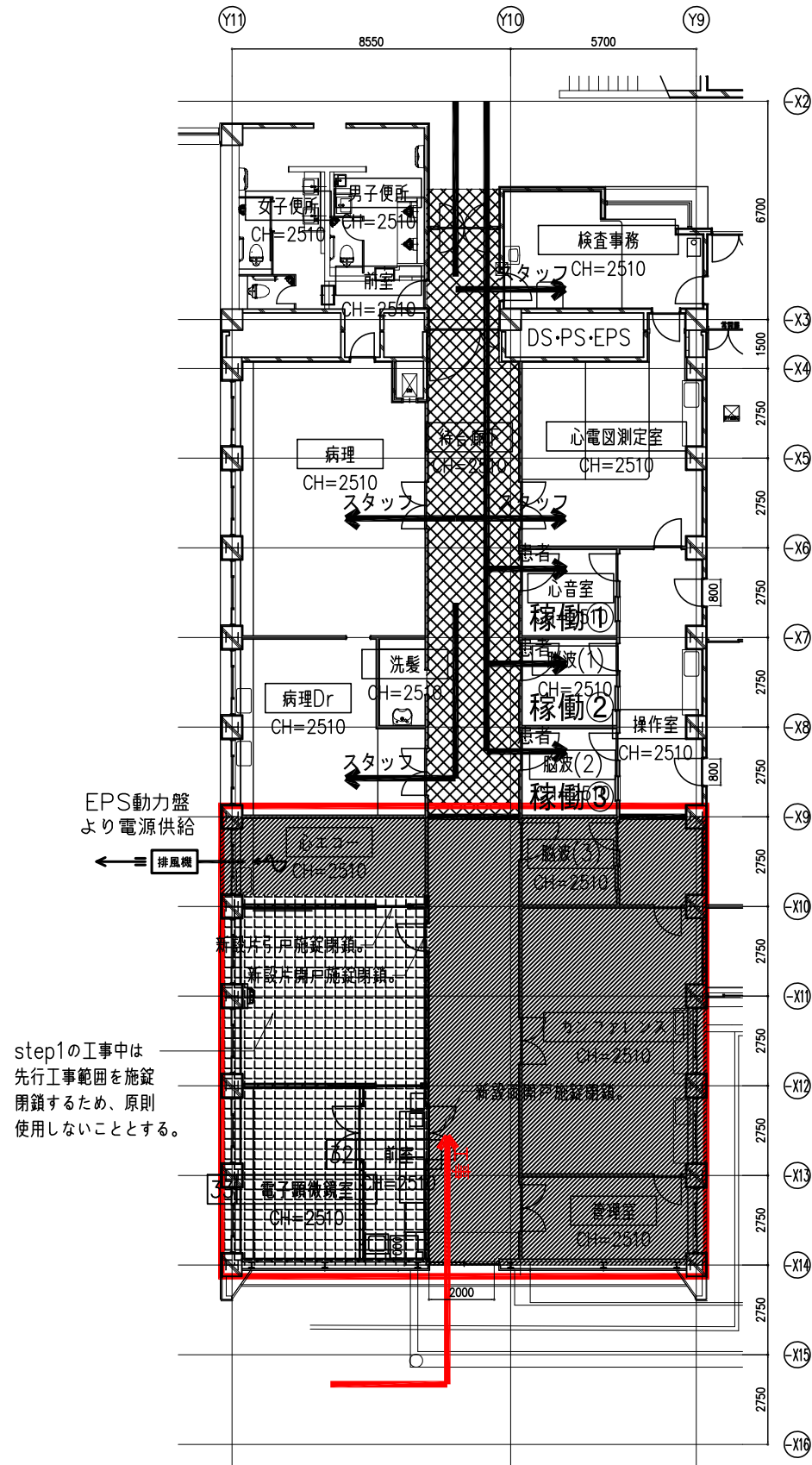
### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
- ・搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事は作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

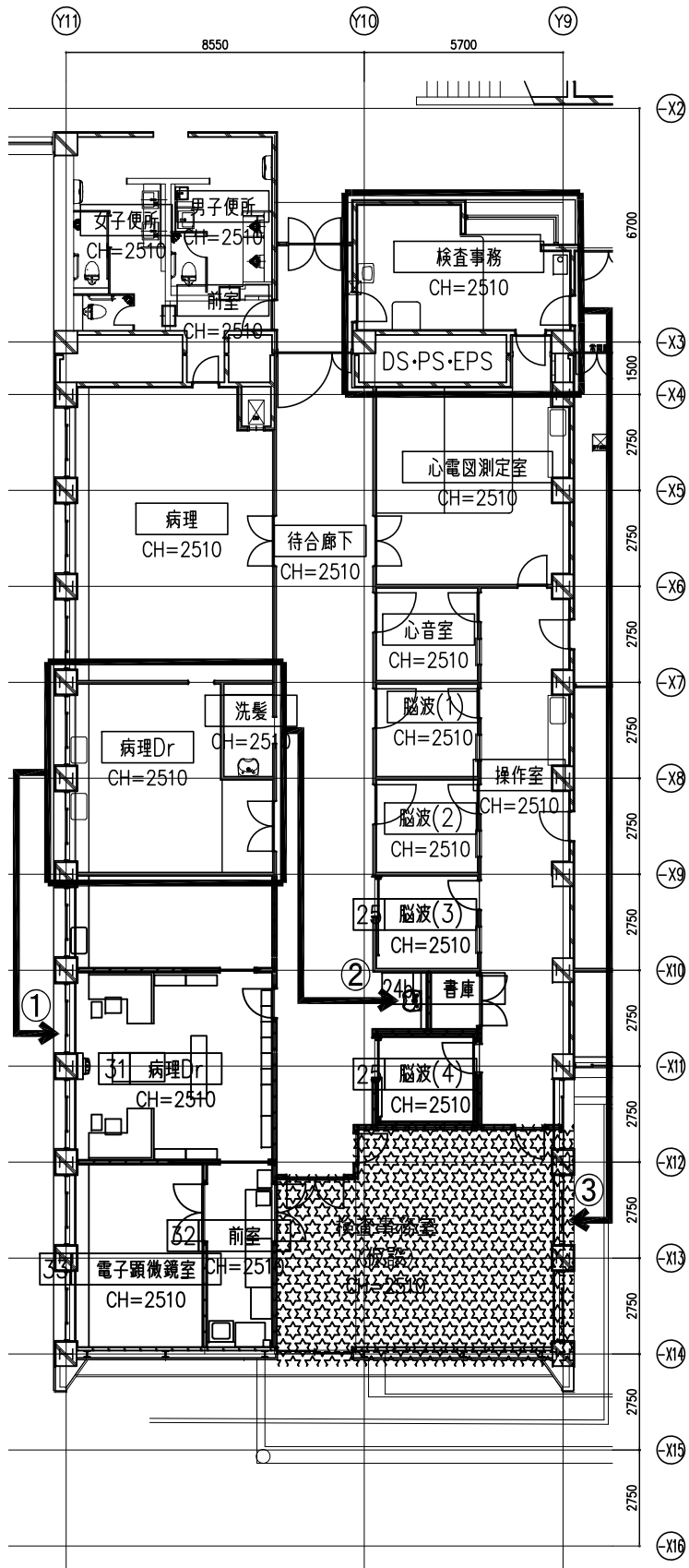
### 凡例

—	仮設圍仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
—	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
—	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
防火区画	仮設圍仕切(特定防火設備): 鋼製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
仮囲い	仮囲い: スライドパネル H=2510
工事範囲	工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲(土日主体)	居ながら工事範囲(土日主体)
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線





- 1) 旧心エコー・準備室の本体工事（建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備）を行い病理Dr室に改修する。
- 2) 検査事務室を仮設運用する際に、改修後のカンファレンスと管理室を一体使用するため、Y10通り沿いの壁はこの段階では作らない。



- ① 病理Drの什器・備品を移設（病院工事）する。【本稼働】
- ② 洗髪を本稼働する。
- ③ 旧検査事務の什器・備品・機器を仮設検査事務室に仮移設（病院工事）する。

### 排風機設置概略図

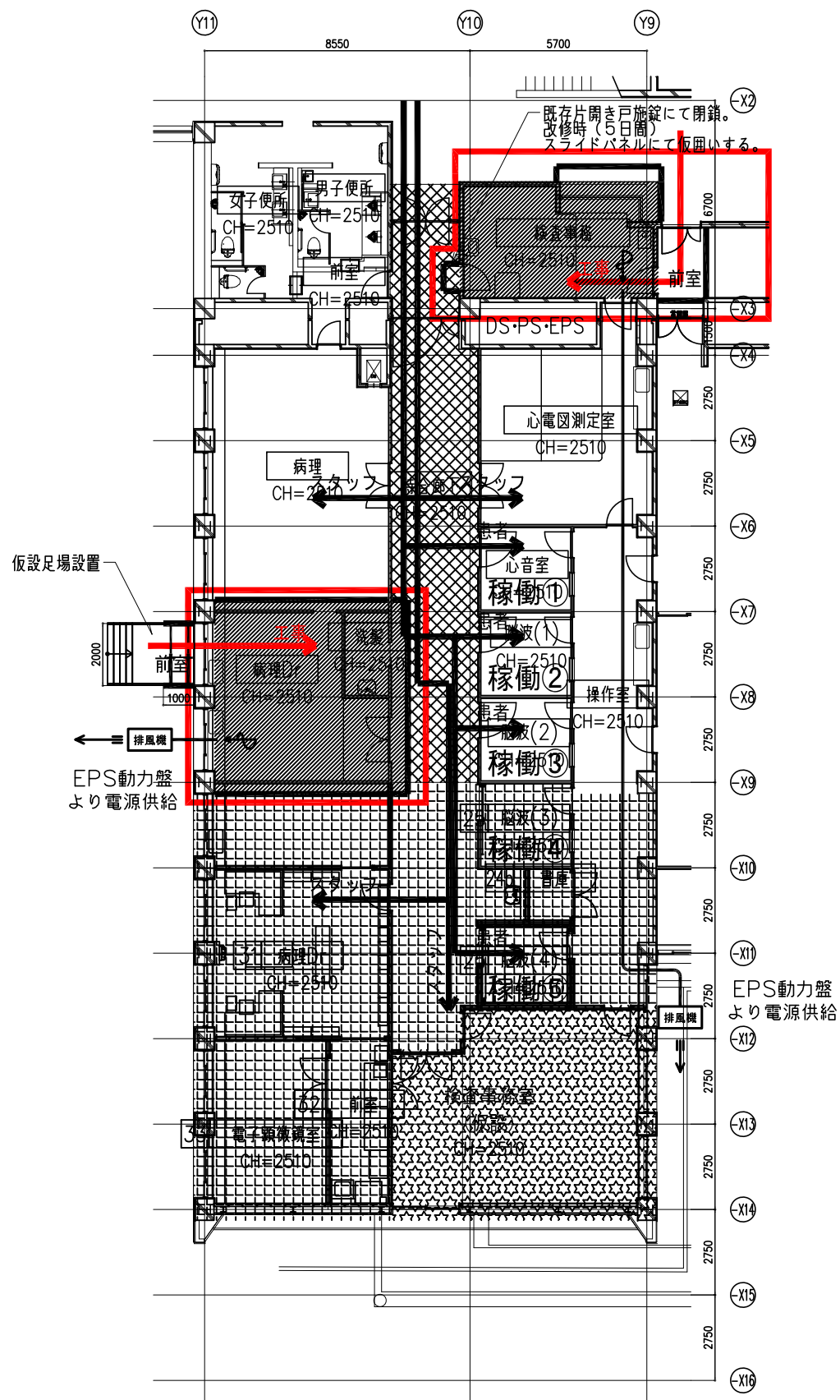
給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

### 特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに入出すること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修を含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPFF管（16）を20m見込むこと。

### 凡例

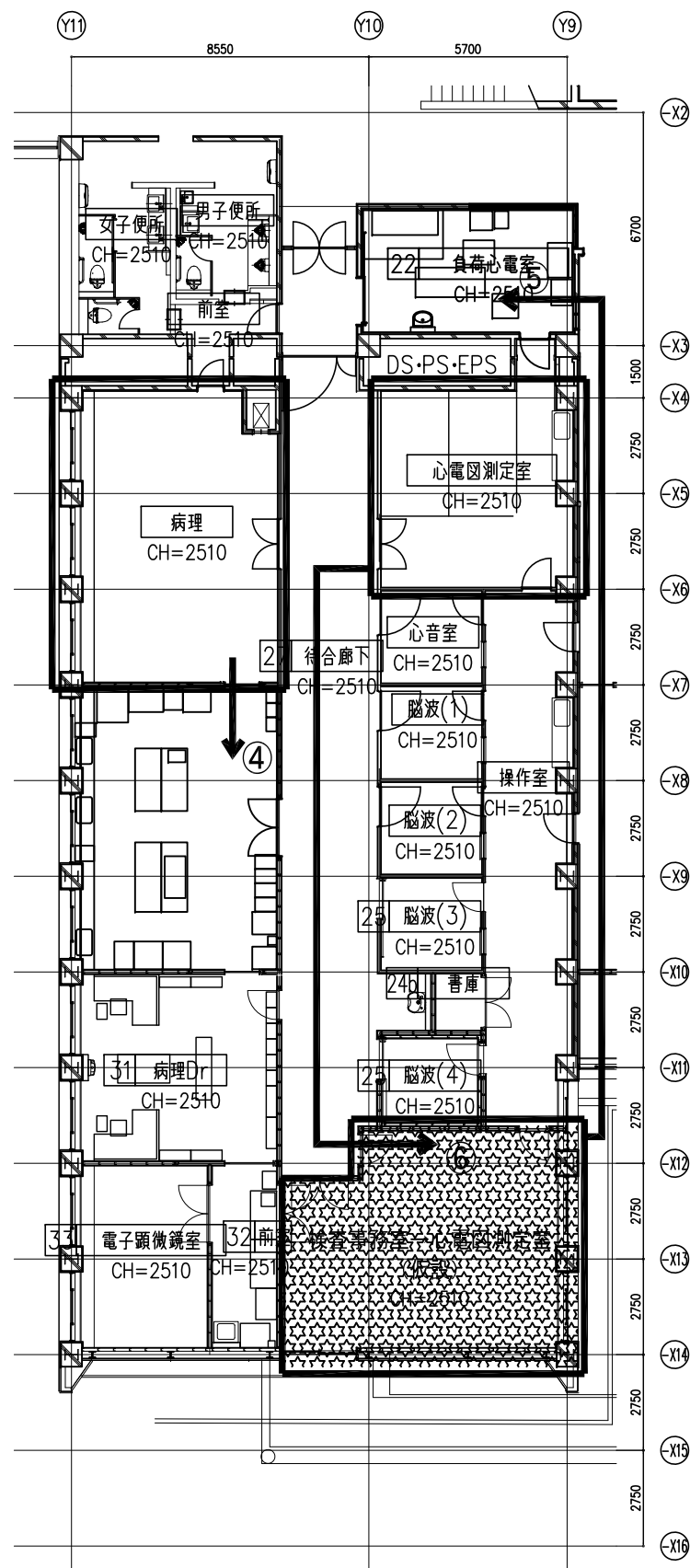
—	仮設圍仕切：LGS90下地+PB+12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
—	仮設扉：アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
—	仮設扉：アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切（防火壁）：LGS100下地+PB+21+PB+21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
防火区画	仮設圍仕切（特定防火設備）：鋼製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
防火区画	仮囲い：スライドパネル H=2510
工事範囲	工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲（土日主体）	居ながら工事範囲（土日主体）
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線



step2

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

- 1) 病理Dr 移転後、図示工事範囲のX9通りの壁を撤去し、本体工事を  
行い仮設病理に改修する。
- 2) 図示工事範囲の検査事務室の本体工事を行う。



step2完了後

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

- ④ 病理の什器・備品・機器を仮移設(病院工事)する。
- ⑤ 仮設検査事務室から改修後の新負荷心電への什器・備品・機器を移設(病院工事)、  
新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】
- ⑥ 旧心電図測定室の什器・備品・機器を仮設心電図測定室に仮移設(病院工事)する。

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

プレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)  
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・プレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

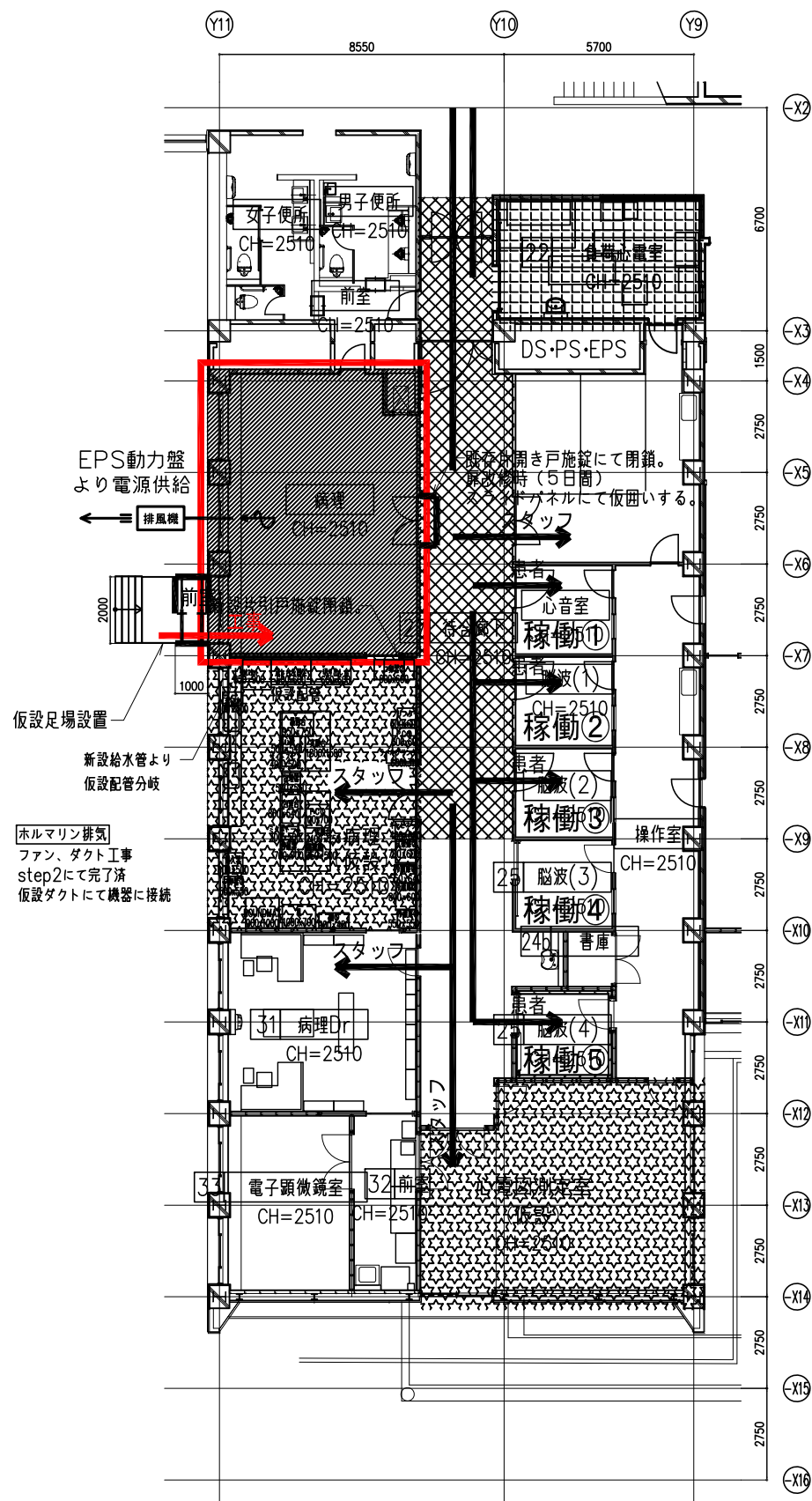
特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により  
必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分  
注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他  
の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階  
検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動  
をとまう工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。  
搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルー  
シート等で養生を行うこと。  
・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りするこ  
と。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、でき  
るだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。  
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2  
次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。  
・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

凡例

—	仮設圍仕切: LGS90下地+PB±12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB±21+PB±21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
寺防	仮設圍(特定防火設備): 鋼製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
工	仮囲い: スライドパネル H=2510
工	工事範囲
移	移転範囲
居	居ながら工事範囲(土日主体)
改	改修工事中範囲
改	改修済み範囲
仮	仮使用範囲
工	工事動線
患	患者動線
ス	スタッフ動線

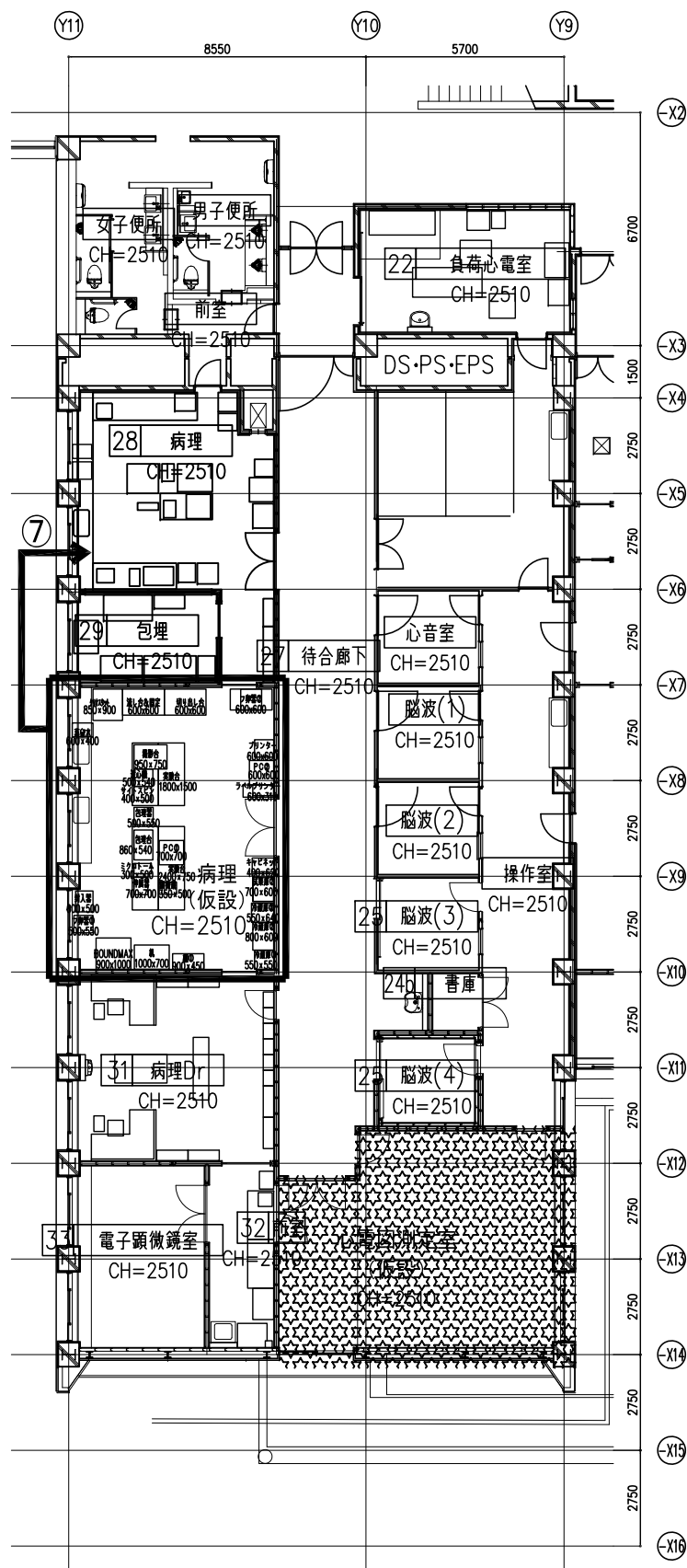




step3

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 病理を仮移転後、図示工事範囲の本体工事を行い包理に改修する。



step3完了後

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

⑦ 仮設病理から改修後の新病理への什器・備品・機器の移設  
(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事  
との接続工事を行う。【本稼働】

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)  
HEPA+中性能フィルター

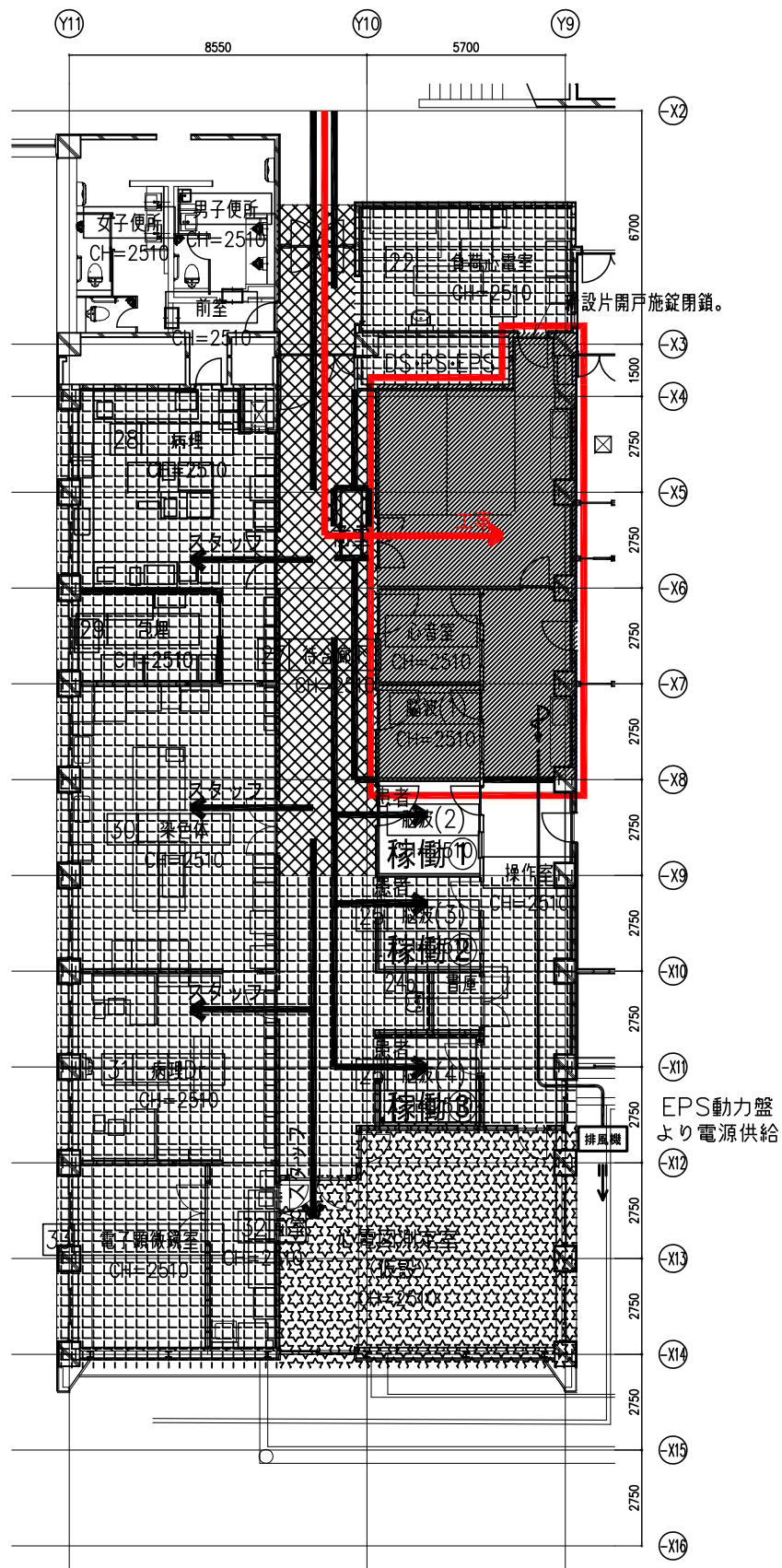
給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により  
必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。  
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分  
注意すること。  
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその  
場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。  
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階  
検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動  
をとまう工事は行えないものとする。  
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。  
・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。  
搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルー  
シート等で養生を行うこと。  
・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。  
外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、でき  
るだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。  
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。  
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2  
次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。  
・LAN設備の仮設配管としてPFF管(16)を20m見込むこと。

凡例

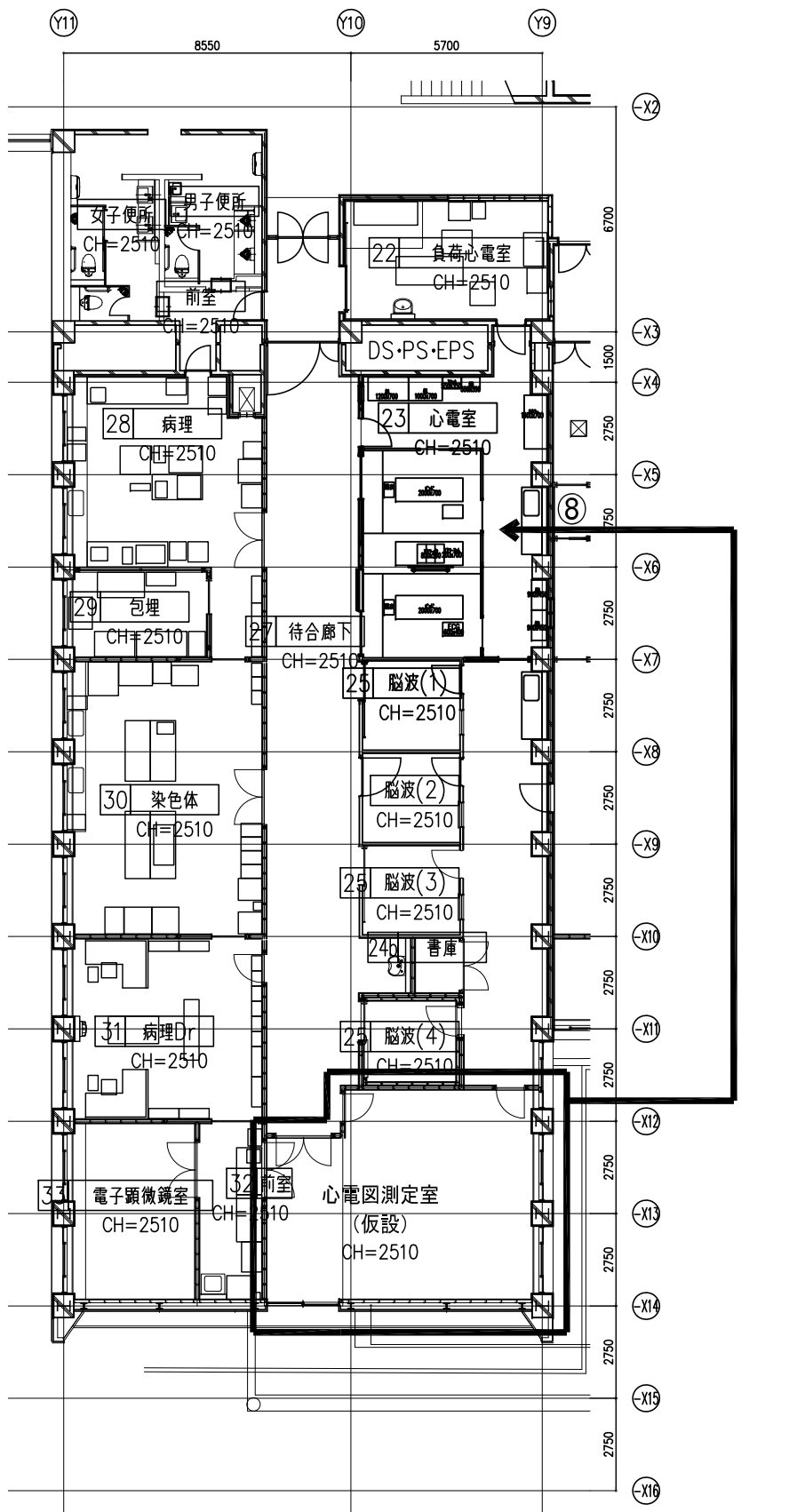
—	仮設圍仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
時防	仮設扉(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲	仮囲い: スライドパネル H=2510
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲(土日主体)	居ながら工事範囲(土日主体)
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線



step4

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 図示工事範囲(心電図測定室、心音室、脳波(1))の本体工事を行う。



step4完了後

・病院備品を示す  
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

⑧ 仮設心電図測定室から改修後の新心電室への什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

プレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)

HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。

・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。

・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。

・プレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。

・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。

・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。

・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。

・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。

・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。

搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。

・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。

・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。

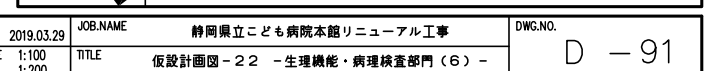
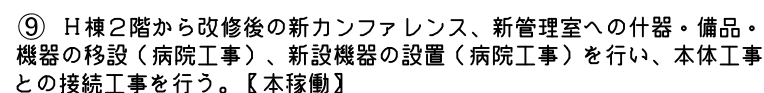
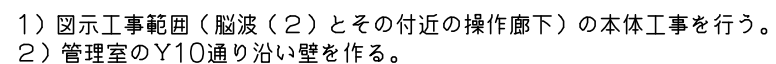
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。

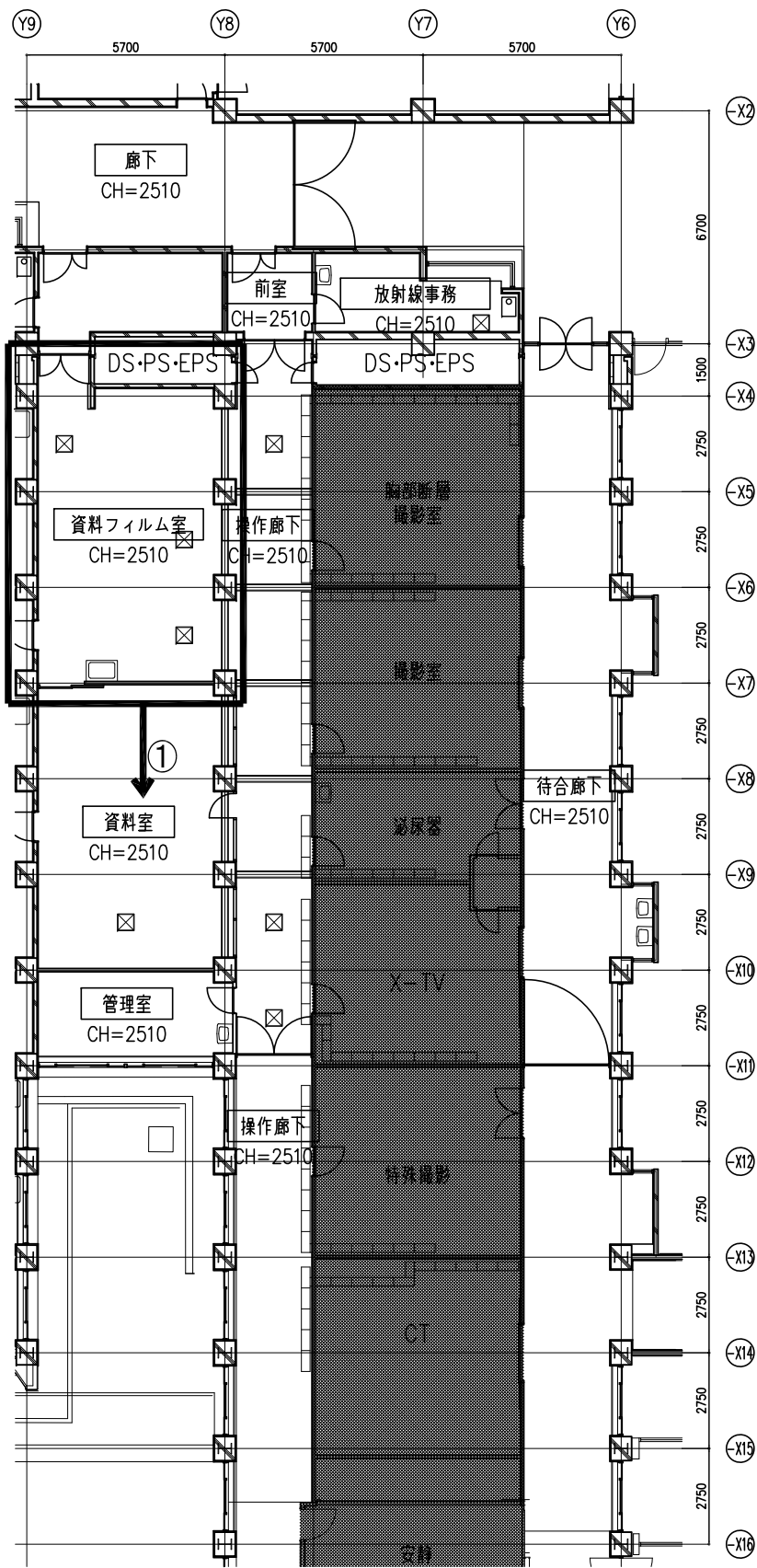
・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

	仮設圍仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉: アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	防火区画 仮設圍仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	防火区画 仮設圍仕切(特定防火設備): 鋼製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	防火区画 仮囲い: スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線

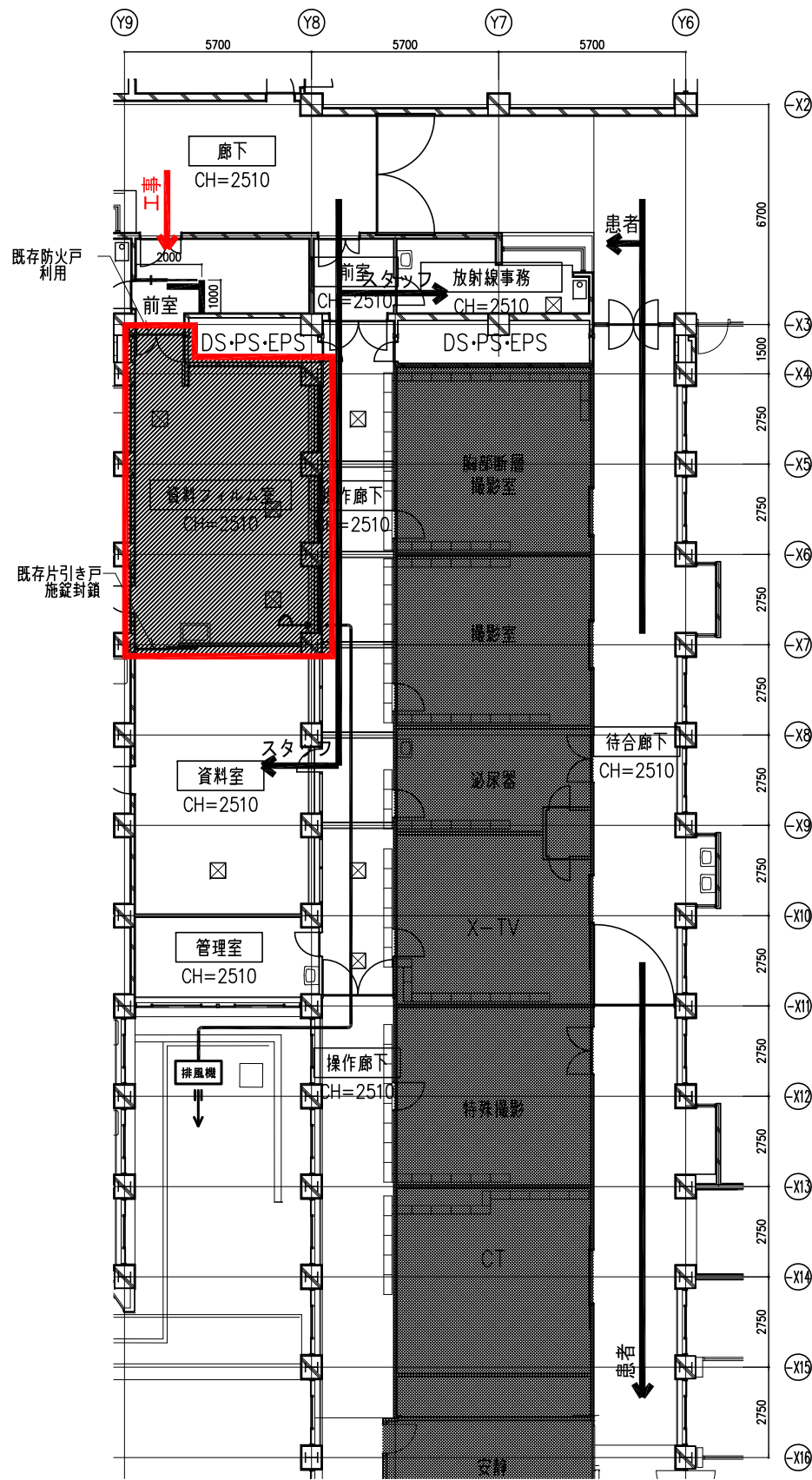






step0 (現況) □ 病院備品を示す (病院側工事に【移設】又は【新設】)

① 旧資料フィルム室の什器・備品を資料室に仮置き（病院工事）し、書庫を撤去（病院工事）する。



step1 □ 病院備品を示す (病院側工事に【移設】又は【新設】)

1) 図示工事範囲の本体工事（建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備）を行う。

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し  
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト  
取込み位置

排風機設置（ベニヤ板等で囲むこと。）  
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、  
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。  
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。  
・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。  
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。  
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに  
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。

・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。

・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。

・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。

・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。

・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。

搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。

・工作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。

凡例

—	仮設圍仕切：LGS90下地+PB±12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設圍仕切（防火壁）：LGS100下地+PB±21+PB±21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
寺防	仮設圍（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
—	仮囲い：スライドパネル H=2510
□	工事範囲
□	移転範囲
□	居ながら工事範囲（土日主体）
□	改修事中範囲
□	改修済み範囲
□	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線



